

Gen10 Service Pack for ProLiantリリースノート, v2022.09.01.00

[BIOS - システムROM](#)

[BIOS\(ログインが必要\)- システムROM](#)

[ドライバー - チップセット](#)

[ドライバー - Lights-Outマネジメント](#)

[ドライバー - ネットワーク](#)

[ドライバー - ストレージ](#)

[ドライバー - ストレージコントローラー](#)

[ドライバー - ストレージ ファイバーチャネルおよびファイバーチャネルオーバーイーサネット](#)

[ドライバー - システム](#)

[ドライバー - システムマネジメント](#)

[ドライバー - ビデオ](#)

[ファームウェア - Lights-Outマネジメント](#)

[ファームウェア - ネットワーク](#)

[ファームウェア - NVDIMM](#)

[ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク](#)

[ファームウェア - パワーマネジメント](#)

[ファームウェア - SASストレージ ディスク](#)

[ファームウェア - SATAストレージ ディスク](#)

[ファームウェア - ストレージコントローラー](#)

[ファームウェア - ストレージ ファイバーチャネル](#)

[ファームウェア - システム](#)

[オペレーティングシステム - 拡張](#)

[ソフトウェア - Lights-Outマネジメント](#)

[ソフトウェア - マネジメント](#)

[ソフトウェア - ストレージコントローラー](#)

[ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル](#)

[ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネルHBA](#)

[ソフトウェア - システムマネジメント](#)

BIOS - システムROM

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー

バージョン:1.60_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp052432.compsig; cp052432.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 PlusシステムROM - U60

リリースバージョン:

1.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

1.58_04-18-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正**重要な注意:**

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2 (U64) サーバー

バージョン: 1.60_06-30-2022 (推奨)

ファイル名: cp051256.compsig; cp051256.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2システムROM - U64

リリースバージョン:

1.60_06-30-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

バージョン:1.60_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp052435.compsig; cp052435.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10 PlusシステムROM - U61

リリースバージョン:

1.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

1.58_04-18-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

BIOS(ログインが必要)- システムROM

先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u38-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u38-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170/XL190 Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリリース:

2.68_07-14-2022

以前のリリース:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL420 Gen10 Plus(U50)サーバー

バージョン:1.64_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u50-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

RPMS/x86_64/firmware-system-u50-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64_part1.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u50-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL420 Gen10 PlusシステムROM - U50

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_05-12-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデー

この最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u39-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u39-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u40-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u40-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus (A48)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a48-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL645d/XL215n Gen10 PlusシステムROM - A48

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus (A47)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64_part1.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/ProLiant XL675d Gen10 PlusシステムROM - A47

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれてい

ます。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u45-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u45-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL270d Gen10システムROM - U45

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生し

てシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE DL110 Gen10 Plus Telco(U56)サーバー

バージョン:1.64_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u56-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

RPMS/x86_64/firmware-system-u56-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64_part1.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u56-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL110 Gen10 PlusシステムROM - U56

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_05-12-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10(U31)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u31-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u31-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれてい

ます。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL20 Gen10 (U43) サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u43-2.60_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u43-2.60_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱

性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL20 Gen10 Plus サーバー

バージョン:1.60_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u60-1.60_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u60-1.60_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 PlusシステムROM - U60

リリースバージョン:

1.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

1.58_04-18-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

サーバー

バージョン:2.58_06-16-2022 (B) (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a41-2.58_2022_06_16-2.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-a41-2.58_2022_06_16-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.58_06-16-2022

最新の推奨またはクリティカルリリース:

2.58_06-16-2022

以前のリリース:

2.56_02-10-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リリースが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

修正

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64_part1.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリリース:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリリースには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリリースが含まれています。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリリースには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリリースが含まれています。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)

サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u32-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u32-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL360/DL380 Gen10 Plus(U46)サーバー

バージョン:1.64_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u46-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

RPMS/x86_64/firmware-system-u46-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64_part1.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u46-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL360 Gen10 Plus/DL380 Gen10 PlusシステムROM - U46

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_06-01-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされ

る問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64_part1.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL365 Gen10 Plus/DL385 Gen10 Plus/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL380 Gen10 (U30) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u30-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u30-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL385 Gen10 (A40) サーバー

バージョン:2.58_06-16-2022 (B) (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a40-2.58_2022_06_16-2.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-a40-2.58_2022_06_16-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.58_06-16-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.58_06-16-2022

以前のリビジョン:

2.56_02-10-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10(U34)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u34-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

重要な注意!**重要な注意:**

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u48-2.60_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u48-2.60_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE MicroServer Gen10 PlusシステムROM - U48

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱

性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2 (U64)サーバー

バージョン:1.60_06-30-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u64-1.60_2022_06_30-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u64-1.60_2022_06_30-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2システムROM - U64

リリースバージョン:

1.60_06-30-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

改良点:

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u33-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u33-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML30 Gen10 (U44) サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u44-2.60_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u44-2.60_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

バージョン:1.60_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u61-1.60_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u61-1.60_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10 PlusシステムROM - U61

リリースバージョン:

1.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

1.58_04-18-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u41-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u41-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant XL220n/XL290n Gen10 Plus 1Uノードおよび2Uノード受注構成サーバー(U47)

バージョン:1.64_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u47-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

RPMS/x86_64/firmware-system-u47-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64_part1.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u47-1.64_2022_08_11-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_USを参照してください

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL220n Gen10 Plus 1U/XL290n Gen10 Plus 2UノードCTOサーバーシステムROM - U47

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_05-12-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_USを参照してください

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64.rpm;

RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64_part1.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.60_2022_08_11-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL225n Gen10 PlusシステムROM - A46

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u37-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u37-2.68_2022_07_14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp052682.compsig; cp052682.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170/XL190 Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL420 Gen10 Plus(U50)サーバー

バージョン:1.64_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: cp054056.exe; cp054056_part1.compsig; cp054056_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL420 Gen10 PlusシステムROM - U50

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_05-12-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれてい

ます。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp052508.compsig; cp052508.exe

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052511.compsig; cp052511.exe

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus (A48)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: cp053901.exe; cp053901_part1.compsig; cp053901_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL645d/XL215n Gen10 PlusシステムROM - A48

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus (A47)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: cp053897.exe; cp053897_part1.compsig; cp053897_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/ProLiant XL675d Gen10 PlusシステムROM - A47

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052699.compsig; cp052699.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL270d Gen10システムROM - U45

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

Gen10/DL180 Gen10 (U31)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052474.compsig; cp052474.exe

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen10 (U43) サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp052452.compsig; cp052452.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリリース:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱

性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL325 Gen10 (A41) サーバー

バージョン:2.58_06-16-2022 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp053621.compsig; cp053621.exe

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.58_06-16-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.58_06-16-2022

以前のリビジョン:

2.56_02-10-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リリースが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: cp053865.exe; cp053865_part1.compsig; cp053865_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp052486.compsig; cp052486.exe

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant

DL360/DL380 Gen10 Plus(U46)サーバー

バージョン:1.64_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: cp054060.exe; cp054060_part1.compsig; cp054060_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL360 Gen10 Plus/DL380 Gen10 PlusシステムROM - U46

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_06-01-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されてい

るBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: cp053873.exe; cp053873_part1.compsig; cp053873_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL365 Gen10 Plus/DL385 Gen10 Plus/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen10 (U30)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052480.compsig; cp052480.exe

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正**重要な注意:**

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL385 Gen10 (A40) サーバー

バージョン:2.58_06-16-2022 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp053618.compsig; cp053618.exe

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.58_06-16-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.58_06-16-2022

以前のリビジョン:

2.56_02-10-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10 (U34)サーバー

バージョン: 2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052468.compsig; cp052468.exe

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product BinariesページにあるリリースドキュメントU34_2.72_07_29_2022を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp052716.compsig; cp052716.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE MicroServer Gen10 PlusシステムROM - U48

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052493.compsig; cp052493.exe

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen10 (U44) サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052444.compsig; cp052444.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052719.compsig; cp052719.exe

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant XL220n/XL290n Gen10 Plus 1Uノードおよび2Uノード受注構成サーバー(U47)

バージョン:1.64_08-11-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp054117.exe; cp054117_part1.compsig; cp054117_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_USを参照してください

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL220n Gen10 Plus 1U/XL290n Gen10 Plus 2UノードCTOサーバーシステムROM - U47

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_05-12-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザーおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザーINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザーおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザーINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_USを参照してください

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: cp053900.exe; cp053900_part1.compsig; cp053900_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL225n Gen10 PlusシステムROM - A46

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: cp052675.compsig; cp052675.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U38_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170/XL190 Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL420 Gen10 PlusシステムROM - U50

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_05-12-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最

新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: U39_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれてい

ます。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: U40_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: U45_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL270d Gen10システムROM - U45

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL110 Gen10 PlusシステムROM - U56

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_05-12-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最

新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 (U31)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: U31_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれてい

ます。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL20 Gen10(U43)サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: U43_2.60_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL20 Gen10 Plus サーバー

バージョン:1.60_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: U60_1.60_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 PlusシステムROM - U60

リリースバージョン:

1.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

1.58_04-18-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL325 Gen10(A41)サーバー

バージョン:2.58_06-16-2022 (B) (**推奨**)

ファイル名: A41_2.58_06_16_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.58_06-16-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.58_06-16-2022

以前のリビジョン:

2.56_02-10-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL360 Gen10(U32)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U32_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL380 Gen10(U30)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (**推奨**)

ファイル名: U30_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL385 Gen10(A40)サーバー

バージョン:2.58_06-16-2022 (B) (**推奨**)

ファイル名: A40_2.58_06_16_2022.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.58_06-16-2022

最新の推奨またはクリティカルリリース:

2.58_06-16-2022

以前のリリース:

2.56_02-10-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リリースが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャンネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャンネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

バージョン2.58_06-16-2022(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.58_06-16-2022と同等です。ファームウェアをバージョン2.58_06-16-2022にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778およびCVE-2022-1292として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するopensslの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-CVE-2019-7317として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibPngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)の言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

AMD第1世代EPYCプロセッサを使用するシステムが、異なるチャンネルからの訂正可能DIMMエラーを誤って1つのチャンネルにカウントするため、訂正可能メモリエラーしきい値超過エラーが誤って発生する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10(U34)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U34_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U48_2.60_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE MicroServer Gen10 PlusシステムROM - U48

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱

性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2 (U64)サーバー

バージョン:1.60_06-30-2022 (推奨)

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2システムROM - U64

リリースバージョン:

1.60_06-30-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

改良点:

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML110 Gen10(U33)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U33_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML30 Gen10(U44)サーバー

バージョン:2.60_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U44_2.60_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.58_04-14-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)、CVE-2022-1292(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)、およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1292>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2019-7317(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2019-7317>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するLibpngライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このプラットフォームのROMではサポートされていないため、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)内のPCIe分岐オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

バージョン: 1.60_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U61_1.60_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10 PlusシステムROM - U61

リリースバージョン:

1.60_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.60_07-14-2022

以前のリビジョン:

1.58_04-18-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2018-25032として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するzlibライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムがUEFIブートおよび最適化ブートモードでOpenShiftコンテナプラットフォームをブートできない問題に対処しました。

RBSUの言語設定が英語以外の場合に、システムROMにストレージコントローラーの製品名が表示されない問題に対処しました。

PCIe分岐後に再起動テストを実行した場合にシステムが再起動しない問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML350 Gen10(U41)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U41_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL220n/XL290n Gen10 Plus 1Uノードおよび2Uノード受注構成サーバー(U47)

バージョン:1.64_08-11-2022 (**推奨**)

ファイル名: U47_1.64_08_11_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_USを参照してください

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL220n Gen10 Plus 1U/XL290n Gen10 Plus 2UノードCTOサーバーシステムROM - U47

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_05-12-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docLocale=en_USを参照してください

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: A46_2.60_08_11_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL225n Gen10 PlusシステムROM - A46

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL230k Gen10(U37)サーバー

バージョン:2.68_07-14-2022 (推奨)

ファイル名: U37_2.68_07_14_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.68_07-14-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.68_07-14-2022

以前のリビジョン:

2.66_05-17-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、およびCVE-2022-27406として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リビジョンが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ユーザーが[ファームウェアアップデート]ページでNVMeデバイスの[イメージの説明]の選択肢を切り替えようとしたときに、ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でRed Screen of Death(RSOD)が発生してシステムがハングする問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Intel Gen10システムでのBroadcom MRコントローラーシリーズに対するOne-buttonセキュア消去(OBSE)と暗号化のサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus(A48) サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: A48_2.60_08_11_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL645d/XL215n Gen10 PlusシステムROM - A48

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレートのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレートのサポートを追加しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus(A47) サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (**推奨**)

ファイル名: A47_2.60_08_11_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/ProLiant XL675d Gen10 PlusシステムROM - A47

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL325/DL325

v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン: 2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: A43_2.60_08_11_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_08-11-2022

以前のリビジョン:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopenSSLの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL360/DL380 Gen10 Plus(U46)サーバー

バージョン:1.64_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: U46_1.64_08_11_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL360 Gen10 Plus/DL380 Gen10 PlusシステムROM - U46

リリースバージョン:

1.64_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.64_08-11-2022

以前のリビジョン:

1.60_06-01-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

v1.62 7/14/2022 ROMに既にアップグレードしているお客様は、システムにIntel Optane Persistent Memory 200シリーズをインストールしている場合、このバージョンv1.64にアップグレードすることを強くお勧めします。

HPE Smart Update Manager (SUM) 8.9.5以前をインストールしたときに、SHA-384署名付きコンポーネントに対して"Component Not Signed"という警告メッセージが表示されることがあります。この問題は、SUMの将来のバージョンで解決される予定です。詳しくは、

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00125612en_usを参照してください。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Intel Optane Persistent Memory 200シリーズを搭載したシステムがOSの下に表示されないことがある、以前に公開されたROMリリースv1.62 7/14/2022の問題に対処しました。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2022-21233として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対するインテルの緩和策を提供するインテルIPU 2022.2マイクロコードアップデートの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00657に文書化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-33060として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリINTEL-SA-00686に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-0778(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-0778>)およびCVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を緩和するopensslの最新リリースが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2022-27405(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-27405>)として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するFreeTypeライブラリの最新リリースが含まれています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

TPMが存在しない場合にMicrosoft Secured-coreがグレー表示にならない問題に対処しました。

ROMベースセットアップメニュー内のQRコードが廃止されたサイトにリンクしていた問題に対処しました。

イベントハンドラーが動作する前にホットプラグイベントが発生すると、ESXiカーネルがデバイスからのホットプラグステータスを待機する例外を呼び出し、PSOD(Purple Screen Of Death)でASSERTがトリガーされる問題に対処しました。

インテルの最新のATS-M GPUカードのFWバージョンの表示に関する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン:2.60_08-11-2022 (推奨)

ファイル名: A42_2.60_08_11_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL365 Gen10 Plus/DL385 Gen10 Plus/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.60_08-11-2022

最新の推奨またはクリティカルリリース:

2.60_08-11-2022

以前のリリース:

2.58_06-09-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、AMD第2世代EPYCプロセッサ用のAMD参照コードのアップデートされたリビジョンが含まれています。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2022-2068(<https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-2068>)として文書化されているBIOSセキュリティ脆弱性を軽減するopensslの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

ROMベースのセットアップメニュー(RBSU)のQRコードが有効でなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のHPE UBM6バックプレーンのサポートを追加しました。

ドライバー - チップセット

[先頭](#)

Microsoft Windows用AMD EPYCプロセッサの識別子

バージョン:4.2.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp053109.compsig; cp053109.exe

拡張

- SHA384署名を追加

Microsoft Windows用インテルXeon E-22xxプロセッサの識別子

バージョン:10.1.18807.8279 (B) (オプション)
ファイル名: cp053106.compsig; cp053106.exe

拡張

- SHA384署名を追加

Microsoft Windows用インテルXeon E-23xxプロセッサの識別子

バージョン:10.1.18807.8279 (B) (オプション)
ファイル名: cp052730.compsig; cp052730.exe

拡張

- HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2サーバーのサポートを追加します。

Microsoft Windows用インテルXeonスケーラブルプロセッサ(第1および第2世代)識別子

バージョン:10.1.18807.8279 (C) (オプション)
ファイル名: cp052104.compsig; cp052104.exe

拡張

- HPE ProLiant e910/e910tサーバーブレードのサポートを追加しました

Microsoft Windows用インテルXeonスケーラブルプロセッサ(第3世代)識別子

バージョン:10.1.18807.8279 (B) (オプション)
ファイル名: cp053107.compsig; cp053107.exe

拡張

- SHA384署名を追加

ドライバー - Lights-Outマネジメント

先頭

HPE iLOネイティブドライバーfor ESXi 7.0

バージョン:10.8.0 (推奨)
ファイル名:ilo-driver_700.10.8.0.6-1OEM.700.1.0.15843807_20300719.zip

修正

- hponcfgのようなユーザー環境のアプリがiLOと通信できない原因となる、4GB未満の隣接する物理メモリの取得にiLOドライバーが失敗する問題を修正しました。

拡張

- vSphere 8.0 のサポートを追加しました

ドライバー - ネットワーク

先頭

Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン:222.0.126.0 (B) (推奨)
ファイル名: cp051518.compsig; cp051518.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、BCM5741xおよびBCM5750xアダプター用のBroadcomファームウェアパッケージ、バージョン222.1.68.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、VF VLANの変更時にデフォルトVNICのCFAフィルターを削除して再作成する VFドライバーの問題を修正します。

拡張

- この製品は、動的引数を含むいくつかのイベント ログ メッセージの改善をサポートするようになりました。
- この製品は、NDIS Inboxのcat/pdb/sysファイルをサポートしなくなりました。
- この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Broadcom NetXtreme-E ドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:222.0.126.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp051519.compsig; cp051519.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、BCM5741xおよびBCM5750xアダプター用のBroadcom ファームウェアパッケージ、バージョン222.1.68.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、VF VLANの変更時にデフォルトVNICのCFAフィルターを削除して再作成する VFドライバーの問題を修正します。

拡張

- この製品は、動的引数を含むいくつかのイベント ログ メッセージの改善をサポートするようになりました。
- この製品は、NDIS Inboxのcat/pdb/sysファイルをサポートしなくなりました。
- この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Broadcom NetXtreme-E ドライバーfor Windows Server 2016

バージョン:218.0.32.0 (オプション)

ファイル名: cp045254.compsig; cp045254.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、致命的でないエラーの後でシステムが回復するときにシステムがフリーズして再起動する問題を修正します。
- この製品は、WindowsがホストOSである場合に、特定の仮想OSでVFがロードされない問題を修正します。
- この製品は、IRP SystemBufferアクセスの競合状態によって引き起こされるユーザーモードRDMAのBSoD(Blue Screen of Death)の問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stop Error BSoD(Blue Screen of Death)を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン:221.0.4.0 (推奨)

ファイル名: cp051465.compsig; cp051465.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Windows Server x64 Editions*、バージョン5.3.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、NDISTest 6.5 OffloadMisc OffloadChecksum OffloadLSO テストが Win2019 で失敗する問題に対処します。
- この製品は、5719の4ポートパフォーマンスの問題が推奨されるオートネゴシエートモードで10 Mb/S リンクレートで発生する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-Tアダプターfor HPE
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-T OCP3アダプターfor HPE
- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:222.0.126.0 (推奨)

ファイル名: cp051497.compsig; cp051497.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*BCM5741x*アダプター用の*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアパッケージ、バージョン218.0.303000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、別のサブネットへのRDMA接続を作成し、NDIS機能の正しい場所から NetworkDirectGlobalFlagsを読み取る問題に対処します。
- この製品は、デフォルトのRXバッファ数が7500から1000に変更され、時間がかかる可能性がある BSODの問題に対処します。
- この製品は、VF VLANの変更時にデフォルトVNICのCFAフィルターを削除して再作成する VFドライバーの問題を修正します。

拡張

- この製品は、FirmwareW Time Settingに対応しました。
- 本製品では、DPCタイムアウトを回避するために、DPCで制限送信完了処理をサポートするようになりました。
- この製品は、動的引数を含むいくつかのイベント ログ メッセージの改善をサポートするようになりました。
- この製品は、非推奨の ExAllocatePoolWithTag() API をサポートしなくなりました。
- この製品は、NDIS Inboxのcat/pdb/sysファイルをサポートしなくなりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:222.0.126.0 (推奨)

ファイル名: cp051498.compsig; cp051498.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、BCM5741xアダプター用のHPE Broadcom NetXtreme-E ファームウェアパッケージ、バージョン218.0.303000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、別のサブネットへのRDMA接続を作成し、NDIS機能の正しい場所から NetworkDirectGlobalFlagsを読み取る問題に対処します。
- この製品は、デフォルトのRXバッファ数が7500から1000に変更され、時間がかかる可能性がある BSODの問題に対処します。
- この製品は、VF VLANの変更時にデフォルトVNICのCFAフィルターを削除して再作成する VFドライバーの問題を修正します。

拡張

- この製品は、FirmwareW Time Settingに対応しました。
- 本製品では、DPCタイムアウトを回避するために、DPCで制限送信完了処理をサポートするようになりました。
- この製品は、動的引数を含むいくつかのイベント ログ メッセージの改善をサポートするようになりました。
- この製品は、非推奨の ExAllocatePoolWithTag() API をサポートしなくなりました。
- この製品は、NDIS Inboxのcat/pdb/sysファイルをサポートしなくなりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:1.10.2-222.0.142.0 (B) (推奨)

ファイル名: kmod-bnxt_en-1.10.2-222.0.142.0.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-222.0.142.0.rhel8u5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.303000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、トラフィックの受信中にドライバーをアンロードしてロードした後のシステムの安定性に対処します。
- この製品は、nPARパーティションにVFを作成するためのシステムの安定性に対処します。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:1.10.2-222.0.142.0 (B) (推奨)

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_120-222.0.142.0.sles12sp5.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_120-222.0.142.0.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.303000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、トラフィックの受信中にドライバーをアンロードしてロードした後のシステムの安定性に対処します。
- この製品は、nPARパーティションにVFを作成するためのシステムの安定性に対処します。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:1.10.2-222.0.142.0 (B) **(推奨)**

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_57-222.0.142.0.sles15sp3.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_57-222.0.142.0.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.303000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、トラフィックの受信中にドライバーをアンロードしてロードした後のシステムの安定性に対処します。
- この製品は、nPARパーティションにVFを作成するためのシステムの安定性に対処します。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.10.12 (推奨)

ファイル名: cp051496.compsig; cp051496.zip

重要な注意!

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.303000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、最大量のVFを起動できない問題を修正します。
- この製品は、rxリングサイズが256未満または正確に128の場合にPSODが発生する問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのリロード中にvxlanトンネルポートの構成エラーの症状が発生する問題を修正します。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン:222.0.142.0 (推奨)

ファイル名: libbnxt_re-222.0.142.0-rhel8u5.x86_64.compsig; libbnxt_re-222.0.142.0-rhel8u5.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux* 8、バージョン1.10.2-222.0.142.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン:222.0.142.0 (**推奨**)

ファイル名: libbnxt_re-222.0.142.0-sles12sp5.x86_64.compsig; libbnxt_re-222.0.142.0-sles12sp5.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.2-219.0.48.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、イーサネットインターフェイスのダウン状態でファームウェアがリセットされたときにハードウェアリソースマネージャー(HWRM)タイムアウトが発生する問題に対応しています。
- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP3用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン:222.0.142.0 (推奨)

ファイル名: libbnxt_re-222.0.142.0-sles15sp3.x86_64.compsig; libbnxt_re-222.0.142.0-sles15sp3.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン1.10.2-222.0.142.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbsおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、イーサネットインターフェイスのダウン状態でファームウェアがリセットされたときにハードウェアリソースマネージャー(HWRM)タイムアウトが発生する問題に対応しています。
- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン:221.0.4.0 (推奨)

ファイル名: cp051378.compsig; cp051378.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.3.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、Win2019 で失敗する NDISTest 6.5 OffloadMisc OffloadChecksum OffloadLSO テストを修正する問題を修正します。
- この製品は、5719の4ポートパフォーマンスの問題が推奨されるオートネゴシエートモードで10 Mb/S リンクレートで発生する問題を修正します。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 3.139e-1 (**推奨**)

ファイル名: kmod-tg3-3.139e-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139e-1.rhel8u5.x86_64.rpm;

README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.29.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、新機能の受信パケットステアリングのサポートに対処しています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-Tアダプターfor HPE
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-T OCP3アダプターfor HPE
- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.139e-2 (**推奨**)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.139e_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; tg3-kmp-

default-3.139e_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.29.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、新機能の受信パケットステアリングのサポートに対処しています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-Tアダプターfor HPE
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-T OCP3アダプターfor HPE
- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 3.139e-2 (推奨)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.139e_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139e_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.29.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、新機能の受信パケットステアリングのサポートに対処しています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-Tアダプターfor HPE
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-T OCP3アダプターfor HPE
- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン:12.0.1195.0 (D) (推奨)

ファイル名: cp052357.compsig; cp052357.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Emulexコンバインドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE ドライバー for Windows Server 2019

バージョン:12.0.1195.0 (D) (推奨)

ファイル名: cp052358.compsig; cp052358.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSI ドライバー for Windows Server 2016

バージョン:12.0.1171.0 (D) (推奨)

ファイル名: cp052359.compsig; cp052359.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSI ドライバー for Windows Server 2019

バージョン:12.0.1171.0 (D) (推奨)

ファイル名: cp052360.compsig; cp052360.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HP Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン:12.0.1342.0-1 (B) (推奨)

ファイル名: kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:12.0.1342.0-1 (B) (推奨)

ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HP Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン:12.0.1342.0-1 (B) (推奨)

ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:12.0.1342.0-1 (B) (推奨)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Intel補助ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:1.0.2 (B) (推奨)

ファイル名: kmod-hpe-auxiliary-1.0.2-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hpe-auxiliary-1.0.2-1.rhel8u4.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 MCLKアダプターfor HPE

HPE Intel補助ドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン:1.0.2 (推奨)

ファイル名: hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、errataカーネルでiceおよびiavfドライバーのロードが失敗する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE

- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Intel i40eドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:1.0.2 (推奨)

ファイル名: hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm;
README

修正

この製品は、errataカーネルでiceおよびiavfドライバーのロードが失敗する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Intel E1Rドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:12.18.13.0 (推奨)

ファイル名: cp051857.compsig; cp051857.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリe1rmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター

- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:13.0.13.0 (推奨)

ファイル名: cp051861.compsig; cp051861.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリe1rmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター

HPE Intel i40eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:2.19.3-2 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-i40e-2.19.3-2.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.19.3-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.19.3-2.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.19.3-2.rhel8u5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、RPMメタデータでドライバーソース情報が欠落している問題に対処します。
- この製品は、VLANインターフェイスをVLANポートに追加するときにdmesgにエラーメッセージが表示される問題に対処します。
- この製品は、イーサネットインターフェイスがMSI割り込み(MSI-X なし)で開始する問題に対処します。
- この製品は、ジャンボ フレームの統計がドロップする問題に対処します
- この製品は、VM上でVFのMACアドレスが変更される問題に対処します。
- この製品は、ethtool -p を実行したときのLEDの動作の問題に対処します。

拡張

- この製品は、UDP セグメンテーション オフロードのサポートをサポートするようになりました
- この製品は、ethtool によって制御できるVLANブルーニングフラグをサポートするようになりました。
- この製品では、補助バスがサポートされるようになりました。-カーネルでサポートされていない場合は、out-of-tree補助ドライバーをインストールする必要があります。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

HPE Intel i40eドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:2.19.3-2 (推奨)

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、RPMメタデータでドライバーソース情報が欠落している問題に対処します。
- この製品は、VLANインターフェイスをVLANポートに追加するときにdmesgにエラーメッセージが表示される問題に対処します。
- この製品は、イーサネットインターフェイスがMSI割り込み(MSI-X なし)で開始する問題に対処します。
- この製品は、ジャンボ フレームの統計がドロップする問題に対処します
- この製品は、VM上でVFのMACアドレスが変更される問題に対処します。
- この製品は、ethtool -p を実行したときのLEDの動作の問題に対処します。

拡張

- この製品は、UDP セグメンテーション オフロードのサポートをサポートするようになりました
- この製品は、ethtool によって制御できるVLANブルーニングフラグをサポートするようになりました。
- この製品では、補助バスがサポートされるようになりました。-カーネルでサポートされていない場合は、out-of-tree補助ドライバーをインストールする必要があります。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

HPE Intel i40eドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:2.19.3-2 (推奨)

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm;

README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、RPMメタデータでドライバーソース情報が欠落している問題に対処します。
- この製品は、VLANインターフェイスをVLANポートに追加するときにdmesgにエラーメッセージが表示される問題に対処します。
- この製品は、イーサネットインターフェイスがMSI割り込み(MSI-X なし)で開始する問題に対処します。
- この製品は、ジャンボ フレームの統計がドロップする問題に対処します
- この製品は、VM上でVFのMACアドレスが変更される問題に対処します。
- この製品は、ethtool -p を実行したときのLEDの動作の問題に対処します。

拡張

- この製品は、UDP セグメンテーション オフロードのサポートをサポートするようになりました
- この製品は、ethtool によって制御できるVLANブルーニングフラグをサポートするようになりました。
- この製品では、補助バスがサポートされるようになりました。-カーネルでサポートされていない場合は、out-of-tree補助ドライバーをインストールする必要があります。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

HPE Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:1.16.202.0 (推奨)

ファイル名: cp051852.compsig; cp051852.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、パフォーマンステスト中にドロップする可能性がある問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+ アダプター

HPE Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:1.16.202.0 (推奨)

ファイル名: cp051862.compsig; cp051862.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、パフォーマンステスト中にドロップする可能性がある問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+ アダプター

HPE Intel i40ebドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:1.16.202.0 (推奨)

ファイル名: cp051853.compsig; cp051853.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、パワーサイクルストレス中にBSOD 0x50が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:1.16.202.0 (推奨)

ファイル名: cp051863.compsig; cp051863.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、パワーサイクルストレス中にBSOD 0x50が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40enドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp051854.compsig; cp051854.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.17.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、様々なシナリオでFWデバッグデータの収集機能を拡張します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

HPE Intel iavfドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:1.13.8.0 (推奨)

ファイル名: cp051868.compsig; cp051868.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.16.202.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+ アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel iavfドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:1.13.8.0 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp051864.compsig; cp051864.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.16.202.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+ アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel iavfドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン:4.2.7-1 (**推奨**)

ファイル名:kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u8.x86_64.rpm;
kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します

- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavf ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:4.4.2.1-2 (**推奨**)

ファイル名: kmod-hp-iavf-4.4.2.1-2.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.4.2.1-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.4.2.1-2.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.4.2.1-2.rhel8u5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン 1.23.0以降
- *Intel*ファームウェアパッケージ for E810 Ethernetアダプター 3.20以降

修正

この製品は、RPMメタデータでドライバーソース情報が欠落している問題に対処します。

拡張

この製品は、SIOVレジスターレイアウトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプター for HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプター for HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプター for HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプター for HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプター for HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプター for HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 MCLKアダプター for HPE

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Intel iavfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:4.4.2.1-2 (推奨)

ファイル名: hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、SIOVレジスターレイアウトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 MCLKアダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Intel iavfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:4.4.2.1-2 (推奨)

ファイル名: hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降
- *Intel*ファームウェアパッケージfor *E810 Ethernet*アダプター3.20以降

拡張

この製品は、SIOVレジスターレイアウトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 MCLKアダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

HPE Intel igbドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:6.10.2-3 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-igb-6.10.2-3.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.10.2-3.rhel8u4.x86_64.rpm;
kmod-hp-igb-6.10.2-3.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.10.2-3.rhel8u5.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、RPMメタデータでドライバーソース情報が欠落している問題を修正します。

拡張

この製品は、ethtool nftuple フィルターのMACアドレスサポートをサポートするようになりました

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプターfor HPE
- Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプターfor HPE
- Intel(R) I350 Gigabit Network Connection

HPE Intel igbドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:6.10.2-3 (推奨)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.10.2_k4.12.14_120-3.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.10.2_k4.12.14_120-3.sles12sp5.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、ethtool nftuple フィルターのMACアドレスサポートをサポートするようになりました

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプターfor HPE
- Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプターfor HPE
- Intel(R) I350 Gigabit Network Connection

HPE Intel igbドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:6.10.2-3 (推奨)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.10.2_k5.3.18_22-3.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.10.2_k5.3.18_22-3.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.10.2_k5.3.18_57-3.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.10.2_k5.3.18_57-3.sles15sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、ethtool nftuple フィルターのMACアドレスサポートをサポートするようになりました

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプターfor HPE
- Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプターfor HPE
- Intel(R) I350 Gigabit Network Connection

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp049913.compsig; cp049913.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vib depot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *VMware*、バージョン3.2.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2をサポートします

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプターfor HPE
- Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプターfor HPE
- Intel(R) I350 Gigabit Network Connection

HPE Intel ixgbeドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:5.15.2-2 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.15.2-2.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.15.2-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.15.2-2.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.15.2-2.rhel8u5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RPMメタデータでドライバーソース情報が欠落している問題に対処します。

拡張

この製品は、最新のカーネルとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:5.15.2-2 (推奨)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、最新のカーネルとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:5.15.2-2 (推奨)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm;
README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、最新のカーネルとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp051869.compsig; cp051869.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware*、バージョン3.2.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、様々なシナリオでFWデバッグデータの収集機能を拡張します。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:4.15.1-2 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.15.1-2.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.15.1-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.15.1-2.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.15.1-2.rhel8u5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RPMメタデータでドライバーソース情報が欠落している問題に対処します。

拡張

この製品は、最新のカーネルとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:4.15.1-2 (推奨)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.15.1_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.15.1_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、最新のカーネルとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
-

HPE Intel ixgbevfドライバ—for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:4.15.1-2 (推奨)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.15.1_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.15.1_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.15.1_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.15.1_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm;
README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.23.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、最新のカーネルとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixnドライバ—for Windows Server 2019

バージョン:4.1.239.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp053550.compsig; cp053550.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

HPE Intel ixsドライバ—for Windows Server 2019

バージョン:4.1.246.0 (推奨)

ファイル名: cp051856.compsig; cp051856.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリixsmg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixsドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:4.1.248.0 (推奨)

ファイル名: cp051865.compsig; cp051865.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリixsmg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel vxnドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:2.1.241.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp053552.compsig; cp053552.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョンixn 4.1.239.0、ixt 4.1.228.0以降が必要です。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel vxsドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:2.1.230.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp053553.compsig; cp053553.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.239.0以降が必要です。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel vxsドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:2.1.246.0 (推奨)

ファイル名: cp051866.compsig; cp051866.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.246.0以降が必要です。

修正

この製品は、HLK証明書のテスト中にNumberOfIndirectionTableEntriesの割り当てを正しい値に修正する問題を修正します。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン:2.90.25506.0 (推奨)

ファイル名: cp052125.compsig; cp052125.exe

修正

- この製品は、メッセージがevent-id 25を誤ってカットするケースを回避する問題を修正します。
- この製品は、複数のVFを同時に読み込む際のタイムアウトを増加させ、VFの読み込みに失敗するケースを回避するための修正を行っています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター

- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 841QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:2.90.25506.0 (推奨)

ファイル名: cp052126.compsig; cp052126.exe

修正

- この製品は、メッセージがevent-id 25を誤ってカットするケースを回避する問題を修正します。
- この製品は、複数のVFを同時に読み込む際のタイムアウトを増加させ、VFの読み込みに失敗するケースを回避するための修正を行っています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 841QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2-port 547FLR-QSFP Adapter

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)のセキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のHPE Mellanox MFT前提条件RPM

バージョン:4.20 (オプション)

ファイル名:kmod-kernel-mft-mlnx-4.20.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.20.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; mft-4.20.0-34.rhel7u9.x86_64.compsig; mft-4.20.0-34.rhel7u9.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5 (x86_64)のセキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のHPE Mellanox MFT前提条件RPM

バージョン:4.20 (オプション)

ファイル名:kmod-kernel-mft-mlnx-4.20.0-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.20.0-1.rhel8u5.x86_64.rpm; mft-4.20.0-34.rhel8u5.x86_64.compsig; mft-4.20.0-34.rhel8u5.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 5(x86_64)カーネルは、次の通りです。

4.18.0-348.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6 (x86_64)のセキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のHPE Mellanox MFT前提条件RPM

バージョン:4.20 (オプション)

ファイル名:kmod-kernel-mft-mlnx-4.20.0-1.rhel8u6.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.20.0-1.rhel8u6.x86_64.rpm; mft-4.20.0-34.rhel8u6.x86_64.compsig; mft-4.20.0-34.rhel8u6.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 6(x86_64)カーネルは、次の通りです。

4.18.0-372.9.1.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

Red Hat Enterprise Linux 9 Update 0 (x86_64)のセキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のHPE Mellanox MFT前提条件RPM

バージョン:4.20 (オプション)

ファイル名: kmod-kernel-mft-mlnx-4.20.0-1.rhel9u0.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.20.0-1.rhel9u0.x86_64.rpm; mft-4.20.0-34.rhel9u0.x86_64.compsig; mft-4.20.0-34.rhel9u0.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 9 Update 0 (x86_64)カーネルは、次のとおりです。

5.14.0-70.13.1.el9_0 -(x86_64)および将来アップデートされるカーネル。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)のセキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のHPE Mellanox MFT前提条件RPM

バージョン:4.20 (オプション)

ファイル名:kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.20.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.20.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; mft-4.20.0-34.sles12sp5.x86_64.compsig; mft-4.20.0-34.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。

4.12.14-120-defaultおよび将来のアップデートカーネル。

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP3 (AMD64/EM64T)のセキュアブートモードでの Mellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のHPE Mellanox MFT前提条件RPM

バージョン:4.20 (オプション)

ファイル名:kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.20.0_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.20.0_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; mft-4.20.0-34.sles15sp3.x86_64.compsig; mft-4.20.0-34.sles15sp3.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP3(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。

5.3.18.57-defaultおよび将来のアップデートカーネル。

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP4 (AMD64/EM64T)のセキュアブートモードでの Mellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のHPE Mellanox MFT前提条件RPM

バージョン:4.20 (オプション)

ファイル名:kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.20.0_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.20.0_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.rpm; mft-4.20.0-34.sles15sp4.x86_64.compsig; mft-4.20.0-34.sles15sp4.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP4(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。

5.14.21-150400.22-defaultおよび将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)

バージョン:4.9-4.0.8.1 (B) (推奨)

ファイル名:kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/")からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

サブバージョン 4.9-4.0.8.1(B)で以下の変更が行われました:

- 新しいSHA 384署名を持つように製品をビルドしました。

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン:4.9-4.0.8.1 (B) (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/")からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

サブバージョン 4.9-4.0.8.1(B)で以下の変更が行われました:

- 新しいSHA 384署名を持つように製品をビルドしました。

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。

4.12.14-120-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP1 (AMD64/EM64T)

バージョン:4.9-4.0.8.1 (B) (**推奨**)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_57-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_57-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/")からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

サブバージョン 4.9-4.0.8.1(B)で以下の変更が行われました:

- 新しいSHA 384署名を持つように製品をビルドしました。

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP3(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。

5.3.18-53-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5およびConnectX-6ドライバー(Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64))

バージョン:5.6 (推奨)

ファイル名:kmod-mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel7u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.6-

OFED.5.6.2.0.9.1.rhel7u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed_cx4plus/)からHPE署名済みMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

バージョン5.6では、新たな問題は修正されていません。

拡張

バージョン5.6では、以下の変更点および新機能が含まれています。

- 以下のオペレーティングシステムのサポートを追加しました。Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6, Red Hat Enterprise Linux 9, SuSE Linux Enterprise Server 15 SP4.

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通り

です。
3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5 (x86_64)

バージョン:5.6 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel8u5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel8u5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel8u5.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed_cx4plus/)からHPE署名済みMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

修正

バージョン5.6では、新たな問題は修正されていません。

拡張

バージョン5.6では、以下の変更点および新機能が含まれています。

- 以下のオペレーティングシステムのサポートを追加しました。Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6, Red Hat Enterprise Linux 9, SuSE Linux Enterprise Server 15 SP4.

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 5(x86_64)カーネルは、次の通りです。

4.18.0-348.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5およびConnectX-6ドライバー(Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6 (x86_64))

バージョン:5.6 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel8u6.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel8u6.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel8u6.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel8u6.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed_cx4plus/)からHPE署名済みMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

修正

バージョン5.6では、新たな問題は修正されていません。

拡張

バージョン5.6では、以下の変更点および新機能が含まれています。

- 以下のオペレーティングシステムのサポートを追加しました。Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6, Red Hat Enterprise Linux 9, SuSE Linux Enterprise Server 15 SP4.

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 6(x86_64)カーネルは、次の通りです。

4.18.0-372.9.1.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 9 Update 0 (x86_64)

バージョン:5.6 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel9u0.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel9u0.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.6-

OFED.5.6.2.0.9.1.rhel9u0.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.rhel9u0.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ

("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed_cx4plus/")からHPE署名済みMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

修正

バージョン5.6では、新たな問題は修正されていません。

拡張

バージョン5.6では、以下の変更点および新機能が含まれています。

- 以下のオペレーティングシステムのサポートを追加しました。Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6, Red Hat Enterprise Linux 9, SuSE Linux Enterprise Server 15 SP4.

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 9 Update 0(x86_64)カーネルは、次のとおりです。

5.14.0-70.13.1.el9_0 -(x86_64)および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5

(AMD64/EM64T)

バージョン:5.6 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.6_k4.12.14_120-

OFED.5.6.2.0.9.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.6_k4.12.14_120-OFED.5.6.2.0.9.1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed_cx4plus/)からHPE署名済みMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

バージョン5.6では、新たな問題は修正されていません。

拡張

バージョン5.6では、以下の変更点および新機能が含まれています。

- 以下のオペレーティングシステムのサポートを追加しました。Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6, Red Hat Enterprise Linux 9, SuSE Linux Enterprise Server 15 SP4.

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。

4.12.14-120-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ConnectX-4、ConnectX-5およびConnectX-6ドライバー(SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP3 (AMD64/EM64T))

バージョン:5.6 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.sles15sp3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.6_k5.3.18_57-OFED.5.6.2.0.9.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.6_k5.3.18_57-OFED.5.6.2.0.9.1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed_cx4plus/)からHPE署名済みMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

バージョン5.6では、新たな問題は修正されていません。

拡張

バージョン5.6では、以下の変更点および新機能が含まれています。

- 以下のオペレーティングシステムのサポートを追加しました。Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6, Red Hat Enterprise Linux 9, SuSE Linux Enterprise Server 15 SP4.

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP3(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。

5.3.18-57-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP4 (AMD64/EM64T)

バージョン:5.6 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.sles15sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.6-OFED.5.6.2.0.9.1.sles15sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.6_k5.14.21_150400.22-OFED.5.6.2.0.9.1.sles15sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.6_k5.14.21_150400.22-OFED.5.6.2.0.9.1.sles15sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE Mellanoxイーサネット専用アダプターおよびイーサネットモードで動作するように構成されたHPE Mellanox VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの、RoCE(RDMA over Converged Ethernet)機能を備えたイーサネット動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、Linuxソフトウェア配信レポジトリ ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed_cx4plus/)からHPE署名済みMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

バージョン5.6では、新たな問題は修正されていません。

拡張

バージョン5.6では、以下の変更点および新機能が含まれています。

- 以下のオペレーティングシステムのサポートを追加しました。Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6, Red Hat Enterprise Linux 9, SuSE Linux Enterprise Server 15 SP4.

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP4(AMD64/EM64T)のカーネル

は、次のとおりです。

5.14.21-150400.19-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:8.70.10.0-1 (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.70.10.0-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.70.10.0-1.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.70.10.0-1.rhel8u6.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.70.10.0-1.rhel8u6.x86_64.rpm

重要な注意!

Linuxドライバー バージョン

Linux qed 8.70.10.0

Linux qede 8.70.10.0

Linux qedr 8.70.10.0

Linux qedi 8.70.10.0

Linux qedf 8.70.10.0

-次のOSディストリビューション用のドライバーRPMが利用可能です。

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- o -このドライバーセットとともに使用する場合は、ファームウェアコンポーネント(Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、ql_hp_ah_mbi_8.59.05_pldm.fwpkg)バージョン8.59.05以降が推奨されます。

修正

この製品は、MTUサイズが4kを超えると通信に失敗する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- o HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- o HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- o HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- o HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- o HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- o HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- o HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- o HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- o HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- o HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- o HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- o HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- o HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:8.70.10.0-1 (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.70.10.0-1.rhel9u0.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.70.10.0-

重要な注意!

Linuxドライバー バージョン

```
-----
Linux qed      8.70.10.0
Linux qede     8.70.10.0
Linux qedr    8.70.10.0
Linux qedi    8.70.10.0
Linux qedf    8.70.10.0
```

-次のOSディストリビューション用のドライバーRPMが利用可能です。
Red Hat Enterprise Linux 9 Update 0

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

-このドライバーセットとともに使用する場合は、ファームウェアコンポーネント(Arrowheadアダプター用 HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、
ql_hp_ah_mbi_8.59.05_pldm.fwpkg)バージョン8.59.05以降
が推奨されます。

拡張

初期バージョン。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:8.70.10.0-1 (推奨)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.70.10.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.70.10.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

Linuxドライバー バージョン

```
-----
Linux qed      8.70.10.0
Linux qede     8.70.10.0
Linux qedr    8.70.10.0
Linux qedi    8.70.10.0
Linux qedf    8.70.10.0
```

-次のOSディストリビューション用のドライバーRPMが利用可能です。
SuSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

-このドライバーセットとともに使用する場合は、ファームウェアコンポーネント(Arrowheadアダプター用 HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、ql_hp_ah_mbi_8.59.05_pldm.fwpkg)バージョン8.59.05以降が推奨されます。

修正

この製品は、MTUサイズが4kを超えると通信に失敗する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:8.70.10.0-1 (推奨)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.70.10.0_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.70.10.0_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.70.10.0_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.70.10.0_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

Linuxドライバー バージョン

Linux qed 8.70.10.0

Linux qede 8.70.10.0

Linux qedr 8.70.10.0

Linux qedi 8.70.10.0

Linux qedf 8.70.10.0

-次のOSディストリビューション用のドライバーRPMが利用可能です。

SuSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4

SuSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

-このドライバーセットとともに使用する場合は、ファームウェアコンポーネント(Arrowheadアダプター用 HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、ql_hp_ah_mbi_8.59.05_pldm.fwpkg)バージョン8.59.05以降が推奨されます。

修正

この製品は、MTUサイズが4kを超えると通信に失敗する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン:8.70.9.0 (推奨)

ファイル名: cp050997.compsig; cp050997.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージfor Arrowheadアダプター、バージョン8.59.05以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.7.0以降。

修正

- この製品は、qenda.sysを参照する0x139のBSODの問題を修正します。
- この製品は、Azure Stack HCIでノードがクラッシュする問題を修正します。
- この製品は、Driver Verifierが有効な状態でアンロード中にメモリリーク違反が発生する問題を修正します。
- この製品は、突然の削除中にPFロード/アンロードを実行しているときにシステムがクラッシュする問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクシヨンドライバーfor VMware

vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050967.compsig; cp050967.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバを含むzipファイルです。

HPEは、これらのドライバとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージfor Arrowheadアダプター、バージョン8.59.05以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware、バージョン4.16.3以降。

修正

- この製品は、ストレージとNICドライバ間のILTページサイズの不整合により、リンクダウンする問題を修正します。
- この製品は、アイドル状態でPSODが発生する問題を修正します。
- この製品は、定期的な統計のキャプチャ中に100GでPSODが発生する問題を修正します。
- この製品は、ドライバのインストール後に再起動中にPSODが発生する問題を修正します。
- この製品は、POLLINGモードでのスイッチポートの有効化/無効化操作中にPSODが発生する問題を修正します。
- この製品は、ポート統計に関連するアカウンティングエラーと、Rxドロップの誤った記録の問題を修正します。Rxドロップのログが正しく記録されないと、「High pNic error rate detected」と同様のVMwareアラートメッセージが生成されることがあります。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクシヨンドライバfor VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050968.compsig; cp050968.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバでの使用に、HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン1.31.0以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

- この製品は、クリーンリブート時にシステムがPSODでクラッシュする問題を修正します。
- この製品は、esxcliがダウンした後も物理リンクLEDがオンのままになる問題を修正します。
- この製品は、esxcliプラグインを使用してアダプターをクエリしているときにPSODが発生する問題を修正します。
- この製品は、VM-Supportダンプを取得する際に再帰的なパニックが発生する問題を修正します。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:7.15.10-1 (**推奨**)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.15.10-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.15.10-1.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.15.10-1.rhel8u6.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.15.10-1.rhel8u6.x86_64.rpm

重要な注意!

[ドライバーバージョン]

cnic 2.5.21k
bnx2 2.2.6c
bnx2x 1.715.20
bnx2i 2.11.28.0
bnx2fc 2.12.20

-次のOSディストリビューション用のドライバーRPMが利用可能です。

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン2.31.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、TimeKeeperでPTPを使用しているときにbnx2xドライバーが過剰なログメッセージを生成する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5をサポートしています

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 9

バージョン:7.15.10-1 (推奨)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.15.10-1.rhel9u0.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.15.10-1.rhel9u0.x86_64.rpm

重要な注意!

[ドライバーバージョン]

cnic 2.5.21k

bnx2 2.2.6c

bnx2x 1.715.20

bnx2i 2.11.28.0

bnx2fc 2.12.20

-次のOSディストリビューション用のドライバーRPMが利用可能です。

Red Hat Enterprise Linux 9 Update 0

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン2.31.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:7.15.10-1 (推奨)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.15.10_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.15.10_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

[ドライバーバージョン]

cnic 2.5.21k
bnx2 2.2.6c
bnx2x 1.715.20
bnx2i 2.11.28.0
bnx2fc 2.12.20

-次のOSディストリビューション用のドライバーRPMが利用可能です。
SuSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン2.31.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、TimeKeeperでPTPを使用しているときにbnx2xドライバーが過剰なログメッセージを生成する問題に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:7.15.10-1 (**推奨**)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.15.10_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.compsig;
netxtreme2-kmp-default-7.15.10_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-
default-7.15.10_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.15.10_k5.3.18_57-
1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

[ドライバーバージョン]

cnic 2.5.21k
bnx2 2.2.6c
bnx2x 1.715.20
bnx2i 2.11.28.0
bnx2fc 2.12.20

-次のOSディストリビューション用のドライバーRPMが利用可能です。
SuSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4
SuSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン2.31.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、TimeKeeperでPTPを使用しているときにbnx2xドライバーが過剰なログメッセージを生成する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4をサポートしています

サポートされるデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクシヨンドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン:7.13.206.0 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp052356.compsig; cp052356.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.7.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、NPAR SRIOV-EPモードを有効にしてアップグレードしているときにシステムがクラッシュする問題を修正します。
- この製品は、WS2022 PCS構成でWindows NDISドライバーのBSODが発生する問題を修正します。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター

Microsoft Windows Server 2016およびMicrosoft Windows Server 2019のみでサポートされる、以下の製品

- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Portコンバージドネットワークアダプター

Intel i350ドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:12.18.13.0 (**推奨**)

ファイル名: cp051875.compsig; cp051875.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Intel i350ドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:13.0.13.0 (**推奨**)

ファイル名: cp051876.compsig; cp051876.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:1.16.202.0 (**推奨**)

ファイル名: cp051855.compsig; cp051855.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、パフォーマンステスト中にドロップする可能性がある問題を修正します。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel I40EAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3アダプターfor HPE
- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポート SFP+アダプターfor HPE

Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:1.16.202.0 (推奨)

ファイル名: cp051858.compsig; cp051858.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、パフォーマンステスト中にドロップする可能性がある問題を修正します。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel I40EAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3アダプターfor HPE
- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポート SFP+アダプターfor HPE

Intel iavfドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:1.13.8.0 (推奨)

ファイル名: cp051867.compsig; cp051867.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーには、次のホストドライバーバージョンが必要です。

- Intel i40eaドライバー、バージョン1.16.202.0以降。
- Intel iceaドライバー、バージョン1.11.44.0以降。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のIntel VFネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iavfドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:1.13.8.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp051859.compsig; cp051859.exe

重要な注意!

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.8.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーには、次のホストドライバーバージョンが必要です。

- Intel i40eaドライバー、バージョン1.16.202.0以降。
- Intel iceaドライバー、バージョン1.11.44.0以降。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のIntel VFネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン:1.6.4-1 (推奨)

ファイル名: kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*Intel*ファームウェアパッケージfor *E810*イーサーネットアダプター、バージョン3.20以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン:1.8.8-2 (推奨)

ファイル名: kmod-ice-1.8.8-2.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-ice-1.8.8-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-ice-1.8.8-2.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-ice-1.8.8-2.rhel8u5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*Intel*ファームウェアパッケージfor E810イーサーネットアダプター、バージョン3.20以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、RPMメタデータでドライバーソース情報が欠落している問題に対処します。
- この製品は、LAG (Link Aggregation Group)が構成されている状態でリセット時にクラッシュする問題に対処します
- この製品は、VF ADQ(アプリケーションデバイスキュー)のMSIXリソース割り当ての問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 MCLKアダプターfor HPE

Intel iceドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン:1.8.8-2 (推奨)

ファイル名: ice-kmp-default-1.8.8_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; ice-kmp-default-1.8.8_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*Intel*ファームウェアパッケージfor E810イーサーネットアダプター、バージョン3.20以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、LAG (Link Aggregation Group)が構成されている状態でリセット時にクラッシュする問題に対処します
- この製品は、VF ADQ(アプリケーションデバイスキュー)のMSIXリソース割り当ての問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:1.8.8-2 (推奨)

ファイル名: ice-kmp-default-1.8.8_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; ice-kmp-default-1.8.8_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.8.8_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; ice-kmp-default-1.8.8_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor E810イーサネットアダプター*、バージョン3.20以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、LAG (Link Aggregation Group)が構成されている状態でリセット時にクラッシュする問題に対処します
- この製品は、VF ADQ(アプリケーションデバイスキュー)のMSIXリソース割り当ての問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 MCLKアダプターfor HPE

Intel icaドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:1.11.44.0 (推奨)

ファイル名: cp052367.compsig; cp052367.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor Columbiaville(FWPKG)*、バージョン3.20以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiceamsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel ICEAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE

- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceaドライバーfor Windows Server 2019

バージョン:1.11.44.0 (推奨)

ファイル名: cp052366.compsig; cp052366.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor Columbiaville(FWPKG)*、バージョン3.20以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiceamsd.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel ICEAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel icenドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp051860.compsig; cp051860.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor E810イーサーネットアダプター*、バージョン3.20以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、様々なシナリオでFWデバッグデータの収集機能を拡張します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Linux Intelドライバービルドバンドルfor Red Hat Enterprise Linux

バージョン:1.0.5.0 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-2.16.11-1.all.src.rpm; hp-iavf-4.2.7-1.all.src.rpm; hp-igb-6.7.2-2.all.src.rpm; hp-ixgbe-5.12.5-1.all.src.rpm; hp-ixgbev-4.12.4-1.all.src.rpm; i40e-README; iavf-README; ice-1.6.4-1.all.src.rpm; ice-README; igb-README; irdma-1.6.28-1.all.src.rpm; irdma-README; ixgbe-README; ixgbev-README; kmod-hp-i40e-2.16.11-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.16.11-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.16.11-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.16.11-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.12.5-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.12.5-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.12.5-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.12.5-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.12.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.12.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.12.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.12.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel8u4.x86_64.rpm

拡張

Gen10PlusSnap5

Linux Intelドライバービルドバンドルfor Red Hat Enterprise Linux

バージョン:1.0.5.9 (推奨)

ファイル名: auxiliary-README; hp-i40e-2.19.3-2.all.src.rpm; hp-iavf-4.4.2.1-2.all.src.rpm; hp-igb-6.10.2-3.all.src.rpm; hp-ixgbe-5.15.2-2.all.src.rpm; hp-ixgbev-4.15.1-2.all.src.rpm; hpe-auxiliary-1.0.2-1.all.src.rpm; i40e-README; iavf-README; ice-1.8.8-2.all.src.rpm; ice-README; igb-README; ixgbe-README; ixgbev-README; kmod-hp-i40e-2.19.3-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.19.3-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-debuginfo-2.19.3-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-debuginfo-2.19.3-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.4.2.1-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.4.2.1-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-debuginfo-4.4.2.1-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-debuginfo-4.4.2.1-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.10.2-3.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.10.2-3.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-debuginfo-6.10.2-3.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-debuginfo-6.10.2-3.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.15.2-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.15.2-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-debuginfo-5.15.2-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-debuginfo-5.15.2-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.15.1-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.15.1-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-debuginfo-4.15.1-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-debuginfo-4.15.1-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-hpe-auxiliary-1.0.2-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hpe-auxiliary-debuginfo-1.0.2-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-ice-1.8.8-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-ice-1.8.8-2.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-ice-debuginfo-1.8.8-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-ice-debuginfo-1.8.8-2.rhel8u5.x86_64.rpm

拡張

Gen10PlusSepMSB2022

Linux Intelドライバービルドバンドルfor SUSE Linux Enterprise Server

バージョン:1.0.5.9 (推奨)

ファイル名: auxiliary-README; hp-i40e-2.19.3-2.all.src.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.19.3_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-debuginfo-2.19.3_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-debuginfo-2.19.3_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-debuginfo-2.19.3_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-iavf-4.4.2.1-2.all.src.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.4.2.1_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-debuginfo-4.4.2.1_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm;

hp-iavf-kmp-default-debuginfo-4.4.2.1_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-debuginfo-4.4.2.1_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-igb-6.10.2-3.all.src.rpm; hp-igb-kmp-default-6.10.2_k4.12.14_120-3.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.10.2_k5.3.18_22-3.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.10.2_k5.3.18_57-3.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-debuginfo-6.10.2_k4.12.14_120-3.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-debuginfo-6.10.2_k5.3.18_22-3.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-debuginfo-6.10.2_k5.3.18_57-3.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbe-5.15.2-2.all.src.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.15.2_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-debuginfo-5.15.2_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-debuginfo-5.15.2_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-debuginfo-5.15.2_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbev-4.15.1-2.all.src.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.15.1_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.15.1_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.15.1_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-debuginfo-4.15.1_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-debuginfo-4.15.1_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-debuginfo-4.15.1_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hpe-auxiliary-1.0.2-1.all.src.rpm; hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hpe-auxiliary-kmp-default-1.0.2_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; hpe-auxiliary-kmp-default-debuginfo-1.0.2_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hpe-auxiliary-kmp-default-debuginfo-1.0.2_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hpe-auxiliary-kmp-default-debuginfo-1.0.2_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; i40e-README; iavf-README; 氷-1.8.8-2.all.src.rpm; 氷-kmp-デフォルト-1.8.8_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; 氷-kmp-デフォルト-1.8.8_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; 氷-kmp-デフォルト-1.8.8_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; ice-kmp-default-debuginfo-1.8.8_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; ice-kmp-default-debuginfo-1.8.8_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; 氷-kmp-デフォルト-debuginfo-1.8.8_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; 氷-README; igb-README; ixgbe-README; ixgbev-README

拡張

Gen10PlusSepMSB2022

Marvell FastLinQ 10/25/50 GbE ドライバー for Windows Server x64 Edition

バージョン: 8.70.9.0 (推奨)

ファイル名: cp050996.compsig; cp050996.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバーとともに使用する場合は、Arrowheadアダプター用Marvell FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.59.05以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、qenda.sysを参照する0x139のBSODの問題を修正します。
- この製品は、Azure Stack HCIでノードがクラッシュする問題を修正します。
- この製品は、Driver Verifierが有効な状態でアンロード中にメモリリーク違反が発生する問題を修正します。
- この製品は、突然の削除中にPFロード/アンロードを実行しているときにシステムがクラッシュする問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJAアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCUC OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6 "nmlx5_en"ドライバーコンポーネントfor VMware ESXi 7.0 Update 2およびUpdate 3

バージョン:2021.04.21 (C) (推奨)

ファイル名: cp053556.compsig; cp053556.zip

重要な注意!

重要: バージョン4.21.71.1はVMware ESXi 7.0 Update 2およびUpdate 3のみをサポートします。

ドライバーバージョン4.21.71.101での既知の問題:

- アップリンク値とVF MTU値の不一致により、CQEでエラーが発生する場合があります。
回避策:アップリンクとVF MTUの値を揃えます。
- sriov_mc_isolationモジュールパラメーターを有効にすると、vmknicおよびエミュレートされたNICのマルチキャストとIPv6トラフィックが失われる場合があります。
回避策:モジュールパラメーターを設定解除するか、0に設定します。
- RDMAは、ENS(Enhanced Network Stack)モデル2を使用するハイパーバイザーではサポートされていません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- ECN(明示的輻輳通知)統計カウンターaccumulatorsPeriodおよびecnMarkedRocePacketsに誤った値が表示され、クリアできません。
- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ポートがダウンしてリポートが実行された後、カードの速度がゼロのままです。
- 名前空間の使用時に、vMotionの後にRoCEトラフィックが失敗する場合があります。
- レガシーSR-IOVはモデル1ではサポートされていません。
- ENSモード時にスケジューラをHCLKに変更するとトラフィックが失われる場合があります。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u <vmnic_name>'コマンドで、'Auto negotiation'機能が常に'true'とレポートされます。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです:
 - ConnectX-4 / ConnectX-5:最大127

修正

ドライバーバージョン4.21.71.101に含まれる修正点:

- VMware Update Managerでは、バージョン管理スキームが古いメタデータxmlとのバンドルが受け入れられないため、このツールとの互換性の問題を修正しました。メタデータxmlに新しいバージョン管理スキームが含まれるようになりました。

拡張

サブバージョン2021.04.21(C)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。
- 以下のサーバーのサポートを削除しました。
 - ブレードサーバー BLxxxx Gen9/Gen10シリーズ。

ドライバーバージョン4.21.71.101の新機能および変更:

- 以下の機能のサポートを追加しました。

- vSan over RDMA。
 - ENSモデル0のための受信側スケーリング(RSS)。
 - RxパスフローのルックアップがオフロードされたENS FPOモデル1(ConnectX5以降)
 - Txパスの部分アクション実行がオフロードされたENS FPOモデル1(ConnectX5以降)
 - パススルーテクノロジーとしてSR-IOVを備えたENS FPOモデル2(ConnectX5以降)
 - 200GbEのリンク速度。
 - ConnectX-6 Lxデバイス。
 - ハードウェアオフロードを使用したData Center Bridging Capability Exchange(DCBX)プロトコル。
 - SR-IOVインターフェイスへのマルチキャストトラフィックを分離するための sriov_mc_isolationモジュールパラメーター。デフォルト値はOFFです。
 - ens_fallback_modelは、OSからENSモデルを照会するためのオプションがサポートされていない場合のデフォルトのフォールバックモードを設定します。デフォルトはモデル1です。
- RDMAネットワークを介した最大10K接続の拡張サポート
 - メモリ制約を下げるために、カーネルパラメーター"supported_num_ports"のデフォルト値を1にアップデートしました。注記:ユーザーは、システムにインストールされているポートの数に対応する値を設定する必要があります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| P24837-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター | HPE0000000054 |
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFP Adapter | HPE0000000022 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートFLR-SFP28 MCX4121A-ACFTアダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX4121A-ACUTアダプター | HP_2420110034 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |
| P10112-B21 | Mellanox MCX562A-ACAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE | MT_0000000241 |
| P13188-B21 | Mellanox MCX512F-ACHT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE | MT_0000000416 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 MCX515A-CCATアダプター | HPE0000000014 |
| P25960-B21 | Mellanox MCX623106AS-CDAT Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56アダプターfor HPE | MT_0000000437 |
| | | |

| | | |
|------------|--|---------------|
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター | HPE0000000036 |
| P23664-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-HDATアダプター | MT_0000000451 |
| P23665-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-ECATアダプター | MT_0000000452 |
| P23666-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-ECATアダプター | MT_0000000453 |
| P10180-B21 | Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE | MT_0000000435 |
| P31246-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター | MT_0000000591 |
| P31323-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター | MT_0000000592 |
| P31348-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター | MT_0000000593 |
| P31324-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター | MT_0000000594 |
| P42041-B21 | Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE | MT_0000000551 |
| P42044-B21 | Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE | MT_0000000575 |

Mellanox CX5およびCX6DXドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン:2.90.25506.0 (推奨)

ファイル名: cp052123.compsig; cp052123.exe

修正

- この製品は、メッセージがevent-id 25を誤ってカットするケースを回避する問題を修正します。
- この製品は、複数のVFを同時に読み込む際のタイムアウトを増加させ、VFの読み込みに失敗するケースを回避するための修正を行っています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACHTアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+MCX4121A-XCHTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE
- Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Mellanox CX5およびCX6DXドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:2.90.25506.0 (推奨)

修正

- この製品は、メッセージがevent-id 25を誤ってカットするケースを回避する問題を修正します。
- この製品は、複数のVFを同時に読み込む際のタイムアウトを増加させ、VFの読み込みに失敗するケースを回避するための修正を行っています。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACHTアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+MCX4121A-XCHTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE
- Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネントfor VMware ESXi 7.0

バージョン:2020.11.11 (D) (推奨)

ファイル名: cp052137.compsig; cp052137.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。HPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

前提条件

NA

拡張

サブバージョン2020.11.11(D)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。
- 以下のサーバーのサポートを削除しました。
 - ブレードサーバー BLxxxx Gen9/Gen10シリーズ。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M Adapter | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| P24837-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター | HPE0000000054 |
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 764285- | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP | HP_1380110017 |

| | | |
|------------|--|----------------|
| B21 | Adapter | |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFP Adapter | HPE0000000022 |
| 868779-B21 | HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター | HPE0000000006 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |
| P10112-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター | MT_0000000241 |
| P13188-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター | MT_0000000416 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター | HPE0000000014 |
| P25960-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター | MT_0000000437 |
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/イーサーネット200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/イーサーネット100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/イーサーネット100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |
| P23664-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000451 |
| P23665-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000452 |
| P23666-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2-port MCX653106A-ECAT QSFP56 x16 Adapter | MT_0000000453 |
| P10180-B21 | Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE | MT_0000000435 |
| | | |

| | | |
|------------|--|---------------|
| P31246-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター | MT_0000000591 |
| P31323-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター | MT_0000000592 |
| P31348-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター | MT_0000000593 |
| P31324-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター | MT_0000000594 |
| P42041-B21 | Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE | MT_0000000551 |
| P42044-B21 | Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE | MT_0000000575 |

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 7.0

バージョン:2020.11.11 (B) (推奨)

ファイル名: cp053712.compsig; cp053712.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違って報告されます。
- ポートがDOWNのしている場合、管理インターフェイスの"ポートタイプ" フィールドは、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ポートが複数のケーブルタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType) は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールドは、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告しません。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールドは、"esxcli network nic get -n vmnicX" フィールド"Pause Autonegotiate"フィールドに相当します。

ESXi 7.0ドライバーバージョン3.19.70.1のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:

https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

修正

バージョン3.19.70.1には修正は含まれていません:

拡張

サブバージョン2020.11.11(B)で以下の変更が行われました:

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。

バージョン3.19.70.1の変更および新機能:

- ネットワークアダプターのトラフィックが停止する問題を解決しました。
- LACP(リンクアグリゲーション制御プロトコル)bondingプロトコルを破壊した内部マルチキャストルーブバックの問題を修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|---------|---|---------------|
| 764282- | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |

| | | |
|------------|---|----------------|
| B21 | | |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M Adapter | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP Adapter | HP_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |

VMware ESX 6.0 MSTドライバー オフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン:4.14.3.3 (推奨)

ファイル名: Mellanox-NATIVE-NMST_4.14.3.3-1OEM.700.1.0.15525992_16211416.zip

前提条件

NA

拡張

VM70 nmst 4.14.3.3

ドライバー - ストレージ

[先頭](#)

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 SW RAIDドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン:106.12.6.0 (D) (推奨)

ファイル名: cp052315.compsig; cp052315.exe

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 SW RAIDドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:1010.14.0.0 (C) (推奨)

ファイル名: cp052316.compsig; cp052316.exe

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします

HPE SmartストレージSR100i Gen10 Plus SW RAIDドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン:106.124.100.1005 (推奨)

ファイル名: cp052318.compsig; cp052318.exe

拡張

- UBM6バックプレーンのサポート

HPE SmartストレージSR100i Gen10 Plus SW RAIDドライバーfor Windows Server 2022

バージョン:1010.124.100.1005 (推奨)

ファイル名: cp052317.compsig; cp052317.exe

拡張

- UBM6バックプレーンのサポート

ドライバー - ストレージコントローラー

先頭

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラー(64-bit)ドライバー for vSphere 7.0

バージョン:7.716.03.00 (B) (**推奨**)

ファイル名: Broadcom-lsi-mr3_7.716.03.00-1OEM.700.1.0.15843807_17632848.zip

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラー(64-bit)ドライバー for vSphere 7.0 (ドライバーコンポーネント)

バージョン:2021.04.01 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp053568.compsig; cp053568.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.com およびHPE vib depot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

拡張

- SHA384形式をサポート

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラードライバーfor 64-bit Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン:07.716.02.00 (C) (**推奨**)

ファイル名: kmod-megaraid_sas-07.716.02.00-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00-1.rhel7u9.x86_64.rpm

拡張

- SHA384形式をサポート

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7(64-bit)カーネルは、次のとおりです。

3.10.0-1127.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8(64-bit)およびUpdate 8用の今後のerrataカーネル。

3.10.0-1160.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9(64-bit)およびUpdate 9用の今後のerrataカーネル。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラードライバーfor 64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン:07.719.04.00 (B) (**推奨**)

ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.719.04.00_sles15sp3-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.719.04.00_sles15sp3-1.x86_64.rpm

拡張

SHA384形式をサポート

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 15 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

- 4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP0および今後のerrata。
- 4.12.14-195 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP1および今後のerrata。
- 5.3.18-22 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP2および今後のerrata。
- 5.3.18-57 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP3および今後のerrata。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-a 64-bit コントローラードライバーfor Microsoft Windows 2019 edition。

バージョン:7.716.3.0 (C) (推奨)

ファイル名: cp053563.compsig; cp053563.exe

拡張

- SHA384形式を追加しました。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-a 64-bit コントローラードライバーfor Microsoft Windows 2022 edition

バージョン:7.719.6.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp053564.compsig; cp053564.exe

拡張

- SHA384形式を追加しました。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-aコントローラードライバーfor 64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン:07.716.02.00 (D) (推奨)

ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp5-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp5-1.x86_64.rpm

修正

- SUSE Linux Enterprise Server 12および15ドライバーを実行しているMR416/MR216コントローラを搭載したHPE ProLiant Gen10 Plusシステムで、セキュアブートを有効にすると起動に失敗する問題を修正しました。詳細については、SID8038を参照してください。

拡張

- SHA384形式をサポート

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

- 4.12.14-94.41 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4および今後のerrata。
- 4.12.14-120 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP5 plus future errata。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-a 64-bitコントローラードライバーfor Microsoft Windows 2016 edition

バージョン:7.716.3.0 (C) (推奨)

ファイル名: cp053352.compsig; cp053352.exe

拡張

HPE ProLiant Gen10 および Gen10Plus Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)

バージョン:2.1.18-045 (推奨)

ファイル名: kmod-smartpqi-2.1.18-045.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.18-045.rhel7u9.x86_64.rpm

修正

- sg_mapツールがSCSI READ BLOCK LIMITS (0x5)コマンドを発行し、ファームウェアがそれを完了せず、システム コール トレースとsg_mapのハングを引き起こす問題を修正しました。

拡張

- 管理割り込みを無効にするモジュール パラメータを追加しました (disable_managed_interrupts=1)。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7(64-bit)カーネルは、次のとおりです。

3.10.0-957.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6 (64-bit)およびUpdate 6用の今後のerrataカーネル。

HPE ProLiant Gen10 および Gen10Plus Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)

バージョン:2.1.18-045 (推奨)

ファイル名: kmod-smartpqi-2.1.18-045.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.18-045.rhel8u5.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-2.1.18-045.rhel8u6.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.18-045.rhel8u6.x86_64.rpm

修正

- sg_mapツールがSCSI READ BLOCK LIMITS (0x5)コマンドを発行し、ファームウェアがそれを完了せず、システム コール トレースとsg_mapのハングを引き起こす問題を修正しました。

拡張

- 管理割り込みを無効にするモジュール パラメータを追加しました (disable_managed_interrupts=1)。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8(64-bit)カーネルは、次のとおりです。

-デフォルト- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0(64ビット)

HPE ProLiant Gen10 および Gen10Plus Smartアレイコントローラー(64ビット) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 9 (64ビット)

バージョン:2.1.18-045 (推奨)

ファイル名: kmod-smartpqi-2.1.18-045.rhel9u0.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.18-045.rhel9u0.x86_64.rpm

修正

- sg_mapツールがSCSI READ BLOCK LIMITS (0x5)コマンドを発行し、ファームウェアがそれを完了せず、システム コール トレースとsg_mapのハングを引き起こす問題を修正しました。

拡張

- 管理割り込みを無効にするモジュールパラメータを追加しました (disable_managed_interrupts=1)。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 9 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

-デフォルト- Red Hat Enterprise Linux 9 Update 0(64ビット)

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)

バージョン:2.1.18-045 (推奨)

ファイル名: smartpqi-kmp-default-2.1.18-045.sles12sp5.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.18-045.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

- sg_mapツールがSCSI READ BLOCK LIMITS (0x5)コマンドを発行し、ファームウェアがそれを完了せず、システム コール トレースとsg_mapのハングを引き起こす問題を修正しました。

拡張

- 管理割り込みを無効にするモジュールパラメータを追加しました (disable_managed_interrupts=1)。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

4.12.14-94.41.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4 plus future errata。

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit)

バージョン:2.1.18-045 (推奨)

ファイル名: smartpqi-kmp-default-2.1.18-045.sles15sp3.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.18-045.sles15sp3.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-default-2.1.18-045.sles15sp4.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.18-045.sles15sp4.x86_64.rpm

修正

- sg_mapツールがSCSI READ BLOCK LIMITS (0x5)コマンドを発行し、ファームウェアがそれを完了せず、システム コール トレースとsg_mapのハングを引き起こす問題を修正しました。

拡張

- 管理割り込みを無効にするモジュールパラメータを追加しました (disable_managed_interrupts=1)。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーディスクでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 15(64-bit)カーネルは、次のとおりです。

-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー15(64-bit)および今後のerrataカーネル

HPE ProLiant Gen10 SmartアレイおよびGen10 Plus Smart RAIDコントローラードライバーfor VMware vSphere 7.0(バンドルファイル)

バージョン:4330.0.116 (推奨)

ファイル名: Microchip-smartpqi_70.4330.0.116-1OEM.700.1.0.15843807_20200549.zip

拡張

HP ProLiant Gen10 SmartアレイおよびGen10 Plus Smart RAIDコントローラードライバーfor VMware vSphere 7.0(ドライバーコンポーネント)

バージョン:2022.10.01 (推奨)

ファイル名: cp051258.compsig; cp051258.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comから利用可能なものと同じドライバーに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルを含むzipです。

修正

- SCSI READ BLOCK LIMITS(0x5)コマンドがファームウェアによって完了されず、ESXiでTMF ABORTが発行される問題を修正しました。
- サポートされていないSCSI Maintenance IN(0xA3)コマンドがサービスアクション"サポートされているオペコードを報告する"(0xC)とともに論理ドライブに送信されると、ドライバーがエラーを報告する問題を修正しました。

拡張

- 管理割り込みを無効にするモジュールパラメータを追加しました (disable_managed_interrupts=1)。

HP SmartアレイGen10およびGen10 Plusコントローラードライバーfor Windows Server 2016、Windows Server 2019、およびWindows Server 2022

バージョン:1010.42.0.1020 (推奨)

ファイル名: cp051257.compsig; cp051257.exe

修正

- ドライバーとコントローラのハードウェアが16バイトを超えるCDBをサポートしていないことによるBSODを修正しました。

拡張

- 管理割り込みを無効にするモジュールパラメータを追加しました (disable_managed_interrupts=1)。

ドライバー - ストレージ ファイバーチャネルおよびファイバーチャネルオーバーイーサネット

[先頭](#)

HP Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 14.0.534.0 (d) (推奨)

ファイル名: cp050104.compsig; cp050104.exe

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.534.0にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrv-rc-version.exe /q2 extract=2

解凍されたファイルは次に置かれます。

C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。例、

C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FC-version\x64\win2019

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン:14.0.534.0 (推奨)

ファイル名: cp051542.compsig; cp051542.exe

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.534.0にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrv-rc-version.exe /q2 extract=2

解凍されたファイルは次に置かれます。

C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。例、

C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FC-version\x64\win2019

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:14.0.534.0 (推奨)

ファイル名: cp050094.compsig; cp050094.exe

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライババージョン14.0.534.0にアップデートしました

rawドライバファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

```
elxdrv-fc-version.exe /q2 extract=2
```

解凍されたファイルは次に置かれます。

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。例、

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FC-version\x64\win2019
```

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HP Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.4.6.20 (b) (推奨)

ファイル名: cp050130.compsig; cp050130.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.6.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HP Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.4.6.20 (b) (推奨)

ファイル名: cp050131.compsig; cp050131.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.6.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storage ファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン: 9.4.6.20 (推奨)

ファイル名: cp050132.compsig; cp050132.exe

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

- Windows 2022用の初期ドライバー
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました

バージョン9.4.6.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 14.0.499.20 (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-14.0.499.20-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-14.0.499.20-1.rhel8u5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.499.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン: 10.02.07.00-k1 (b) **(推奨)**

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.07.00_k1-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.07.00_k1-1.rhel8u5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン10.02.07.00-k1にドライバーをアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン:14.0.499.20 (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-14.0.499.20-1.rhel8u6.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-14.0.499.20-1.rhel8u6.x86_64.rpm

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.499.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン:10.02.07.00-K1 (b) (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.07.00_k1-1.rhel8u6.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.07.00_k1-1.rhel8u6.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpgsql」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン10.02.07.00-k1にドライバーをアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 9 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulex ホストバスアダプター

バージョン: 14.0.499.20 (b) (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-14.0.499.20-1.rhel9u0.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-14.0.499.20-1.rhel9u0.x86_64.rpm

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.499.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
-

Red Hat Enterprise Linux 9 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogic

ホストバスアダプター

バージョン:10.02.07.00-K1 (c) (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.07.00_k1-1.rhel9u0.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.07.00_k1-1.rhel9u0.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン10.02.07.00-k1にドライバーをアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン:14.0.499.20 (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-14.0.499.20_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-14.0.499.20_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

同じドライバーバージョンの書き換えは、-reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh elx-lpfc-kmp-default-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm-reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.499.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキット for HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン:10.02.07.00-K1 (b) (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.07.00_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.07.00_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。
2. 同じドライバーバージョンの書き換えは、-forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm -force--nodeps

rpm -Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm -replacepkgs--nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン10.02.07.00-k1にドライバーをアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3ファイバーチャネルドライバーキット for HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン:14.0.499.20 (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-14.0.499.20_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-14.0.499.20_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

同じドライバーバージョンの書き換えは、-reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh elx-lpfc-kmp-default-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm-reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.499.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicホストバスアダプター用のSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3 ファイバーチャネルドライバーキット

バージョン:10.02.07.00-K1 (b) (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.07.00_k1_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.07.00_k1_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:

1. 同じドライバーバージョンの書き換えは、-forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm -force--nodeps

rpm -Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm --replacepkgs--nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン10.02.07.00-k1にドライバーをアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4ファイバーチャネルドライバーキット for HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン:14.0.499.20 (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-14.0.499.20_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-14.0.499.20_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

同じドライバーバージョンの書き換えは、-reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh elx-lpfc-kmp-default-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm--reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.499.20にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicホストバスアダプター用のSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4 ファイバーチャネルドライバーキット

バージョン:10.02.07.00-K1 (b) (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.07.00_k1_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.07.00_k1_k5.14.21_150400.22-1.sles15sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:

1. 同じドライバーバージョンの書き換えは、-forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm -force--nodeps

rpm -Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm --replacepkgs--nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン10.02.07.00-k1にドライバーをアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ドライバー - システム

[先頭](#)

HPE不揮発性メモリドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン:3.0.2.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp053079.compsig; cp053079.exe

重要な注意!

このSmartコンポーネントバージョン3.0.2.0には、HPE NVMバスドライバーHpeNvmBus.sysバージョン3.0.2.0およびHPE NVMディスクドライバーHpeNvmDisk0101バージョン3.0.2.0が含まれています。

拡張

- SHA384署名を追加

ドライバー - システムマネジメント

[先頭](#)

iLO 5自動サーバー復旧ドライバーfor Microsoft Windows Server 2016および2019

バージョン:4.7.1.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp050039.compsig; cp050039.exe

重要な注意!

iLO 5 Channel Interface Driver(バージョン4.1.0.0以前)をインストールすると、このドライバーが上書きされます。上書きを避けるには、バージョン4.1.0.0(B)以降のiLO 5 Channel Interface Driverを使用してください。

拡張

- SHA384署名を追加

iLO 5自動サーバー復旧ドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:4.7.1.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp050041.compsig; cp050041.exe

重要な注意!

iLO 5 Channel Interface Driver(バージョン4.1.0.0以前)をインストールすると、このドライバーが上書きされます。上書きを避けるには、バージョン4.1.0.0(B)以降のiLO 5 Channel Interface Driverを使用してください。

拡張

- SHA384署名を追加

iLO 5チャンネルインターフェイスドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:4.7.1.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp049819.compsig; cp049819.exe

拡張

- SHA384署名を追加

iLO 5チャンネルインターフェイスドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:4.7.1.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp049467.compsig; cp049467.exe

修正

- ドライバーの宛先フォルダーを修正

iLO 5チャンネルインターフェイスドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン:4.7.1.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp049818.compsig; cp049818.exe

拡張

- SHA384署名を追加

iLO 5チャンネルインターフェイスドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン:4.6.0.0 (オプション)

ファイル名: cp040013.compsig; cp040013.exe

拡張

iLO 5バージョン2.xファームウェアのサポートを追加します。

iLO 5チャンネルインターフェイスドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン:4.6.0.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp041932.compsig; cp041932.exe

拡張

未定

Switchtec PCIeスイッチ管理ドライバーfor Microsoft Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン:12.52.0.676 (B) (オプション)

ファイル名: cp049406.compsig; cp049406.exe

拡張

- SHA384署名を追加

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

- Switchtec PFX 100xG4管理EP
- Switchtec PFX 52xG4管理EP

Microsoft Windows Server 2022用のSwitchtec PCIeスイッチ管理ドライバー

バージョン:15.52.13.445 (B) (オプション)

ファイル名: cp053078.compsig; cp053078.exe

拡張

- SHA384署名を追加

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

- Switchtec PFX 100xG4管理EP
- Switchtec PFX 52xG4管理EP

ドライバー - ビデオ

[先頭](#)

Matrox G200eH3ビデオコントローラードライバーfor Microsoft Windows 64ビット

バージョン:9.15.1.248 (B) (オプション)

ファイル名: cp050405.compsig; cp050405.exe

拡張

- HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2サーバーのサポートを追加します。
- SHA384署名を追加

ファームウェア - Lights-Outマネジメント

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン:2.72 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.72-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.72-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.72-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て

IPv6 SLAACアドレス割り当て

IPv6静的経路割り当て

IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリ

DHCPv6ステートフルアドレス割り当て

DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成

Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。

OAシングルサインオン

HP-SIMシングルサインオン

Webサーバー

SSHサーバー

SNTPクライアント

DDNSクライアント

RIBCL over IPv6

SNMP

アラートメール

リモートSyslog

WinDBGサポート

HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続

スクリプト化可能な仮想メディア

IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート

LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証

iLO連携

このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能

共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
組み込みリモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最高のパフォーマンスを発揮するために、以下のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨しています。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)3.5.1.0
- HPQLOCFG v5.3 .0
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.40.0
- HPONCFG Windows 5.5.0
- HPONCFG Linux 5.7.0
- LOCFG v5.40.0以降
- HPLOMIG 5.3.0

注記: iLO 高セキュリティ、FIPS、CNSAのセキュリティ状態をサポートするために、アップデートされたユーティリティと

システムライブラリが必要です。HPONCFG Windowsユーティリティは、CNSAのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

旧バージョンのiLOからのアップグレード

- iLOファームウェアをiLO 5 2.41より下にダウングレードしないことを強くお勧めします。
- iLO 5バージョン2.72へのアップグレードは、iLO 5 1.48以降がインストールされているサーバーでサポートされています。
- 以前のバージョンのiLO 5がインストールされているサーバーでは、最初にiLO 5 1.48以降をインストールしてからiLO 5 2.72をインストールする必要があります。
- たとえば、サーバーにiLO 5 1.10がインストールされている場合は、iLO 5 1.48以降をインストールしてからiLO 5 2.72をインストールします。
- Gen10 plus Intelプラットフォームでサポートされる最小のiLOバージョンはiLO 5 2.42です。

Intelligent Provisionの依存関係

- iLO 5 2.72では、Redfishスキーマの変更により、Intelligent ProvisionをバージョンIP 3.80にアップグレードする必要があります。これらの変更にはIP 3.80より前のバージョンとの下位互換性がないため、iLO 5 2.72にアップグレードする際にIP 3.80にアップグレードしてください。

iLO 5 2.72より下のバージョンへのダウングレード

- iLO 5 2.72 は、Redfish APIを使用して、HTTPおよびHTTPSポートを個別に有効化および無効化することをサポートしています。ファームウェアをiLO 5 2.72より下にダウングレードする場合は、HTTPとHTTPSの両方を有効にしてください。そうしないと、Webサーバーが起動しません。

修正

- 'SessionTimeout' プロパティが /redfish/v1/SessionService URI の下にありません。
- GUIで設定済みのドライブが未設定として報告されます。
- ルーターフェイルオーバー後のiLO NICのリンクダウンとリンクアップにより、ルーター(デフォルトゲートウェイ)上でiLOが到達不能になることがあります。
- cpqSm2CntlrBadLoginAttempts (OID 1.3.6.1.4.1.232.9.2.2.14) の SNMP トラップデータの値が正しくありません。
- redfish URI chassis/1/Thermal でのパッチ操作が動作しません。
- ストレージ コントローラーが ESXiのパススルー モードで構成されている場合、iLOが Direct Attach NVMeドライブを検出するのに少し時間がかかる場合があります。
- iLOのリセット後にiLOホスト名に以前のホスト名を表示します。

- NVMe Backplane Firmware Package 1.0がiLOでアップデートされません。
- CountryプロパティのJSONペイロードの問題
- MoonshotシステムでアラートメールのIPアドレスが報告される問題
- 高セキュリティ状態では、次の脆弱なTLS 1.2暗号が無効になりました。
 - RSA、ECDH、およびSHA384 MAC(ECDHE-RSA AES256-SHA384)による256ビットAES
 - RSA、DH、およびSHA256 MAC(DHE-RSA AES256-SHA256)による256ビットAES
 - RSA、ECDH、およびSHA256 MAC(ECDHE-RSA-AES128-SHA256)による128ビットAES
 - RSA、DH、およびSHA256 MAC(DHE-RSA-AES128-SHA256)による128ビットAES

拡張

- Cannery Rowソリューションのサポートが追加されました。
- 突発的なAC電源再投入時に、IPMIおよびSNMP構成設定を工場出荷時のデフォルト設定ではなく(ユーザーが手動で有効にした)カスタムデフォルトに自動復元するためのサポートが追加されました。
- iLO PLDM Downstreamドライブファームウェアアップデートのサポートを有効にしました。
- iLOをリセットせずにイベントをクリアできるようにアラートメカニズムを強化しました。
- Redfishプロパティ"DateTimeLocalOffset"のパッチサポート
- OSのサポートなしにSATAドライブのファームウェアをアップデートする機能。
- 本番環境状態でTLS 1.0および/またはTLS 1.1を無効/有効にするためのサポートが追加されました。
- 温度ページに、使用可能なPCIeサブコンポーネントの温度の詳細が表示されるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン:2.72 (推奨)

ファイル名: cp049344.exe; cp049344_part1.compsig; cp049344_part2.compsig

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
 サポートされているネットワークの機能
 IPv6静的アドレス割り当て
 IPv6 SLAACアドレス割り当て
 IPv6静的経路割り当て
 IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
 DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
 DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
 Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。
 OAシングルサインオン
 HP-SIMシングルサインオン
 Webサーバー
 SSHサーバー
 SNTPクライアント
 DDNSクライアント
 RIBCL over IPv6
 SNMP
 アラートメール
 リモートSyslog
 WinDBGサポート
 HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
 スクリプト化可能な仮想メディア
 IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
 LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
 iLO連携
 このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
 共有ネットワークポート接続経路のIPv6
 IPMI
 NETBIOS-WINS

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最高のパフォーマンスを発揮するために、以下のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨しています。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)3.5.1.0
- HPQLOCFG v5.3 .0
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.40.0
- HPONCFG Windows 5.5.0
- HPONCFG Linux 5.7.0
- LOCFG v5.40.0以降
- HPLOMIG 5.3.0

注記: iLO 高セキュリティ、FIPS、CNSAのセキュリティ状態をサポートするために、アップデートされたユーティリティとシステムライブラリが必要です。HPONCFG Windowsユーティリティは、CNSAのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

旧バージョンのiLOからのアップグレード

- iLOファームウェアをiLO 5 2.41より下にダウングレードしないことを強くお勧めします。
- iLO 5バージョン2.72へのアップグレードは、iLO 5 1.48以降がインストールされているサーバーでサポートされています。
- 以前のバージョンのiLO 5がインストールされているサーバーでは、最初にiLO 5 1.48以降をインストールしてからiLO 5 2.72をインストールする必要があります。
- たとえば、サーバーにiLO 5 1.10がインストールされている場合は、iLO 5 1.48以降をインストールしてからiLO 5 2.72をインストールします。
- Gen10 plus Intelプラットフォームでサポートされる最小のiLOバージョンはiLO 5 2.42です。

Intelligent Provisionの依存関係

- iLO 5 2.72では、Redfishスキーマの変更により、Intelligent ProvisionをバージョンIP 3.80にアップグレードする必要があります。これらの変更にはIP 3.80より前のバージョンとの下位互換性がないため、iLO 5 2.72にアップグレードする際にIP 3.80にアップグレードしてください。

iLO 5 2.72より下のバージョンへのダウングレード

- iLO 5 2.72 は、Redfish APIを使用して、HTTPおよびHTTPSポートを個別に有効化および無効化することをサポートしています。ファームウェアをiLO 5 2.72より下にダウングレードする場合は、HTTPとHTTPSの両方を有効にしてください。そうしないと、Webサーバーが起動しません。

修正

- 'SessionTimeout' プロパティが /redfish/v1/SessionService URI の下にありません。
- GUIで設定済みのドライブが未設定として報告されます。
- ルーターフェイルオーバー後のiLO NICのリンクダウンとリンクアップにより、ルーター(デフォルトゲートウェイ)上でiLOが到達不能になることがあります。
- cpqSm2CntlrBadLoginAttempts (OID 1.3.6.1.4.1.232.9.2.2.14) の SNMP トラップデータの値が正しくありません。
- redfish URI chassis/1/Thermal でのパッチ操作が動作しません。
- ストレージ コントローラーが ESXiのパススルー モードで構成されている場合、iLOが Direct Attach NVMeドライブを検出するのに少し時間がかかる場合があります。
- iLOのリセット後にiLOホスト名に以前のホスト名を表示します。
- NVMe Backplane Firmware Package 1.0がiLOでアップデートされません。
- CountryプロパティのJSONペイロードの問題
- MoonshotシステムでアラートメールのIPアドレスが報告される問題

- 高セキュリティ状態では、次の脆弱なTLS 1.2暗号が無効になりました。
 - RSA、ECDH、およびSHA384 MAC(ECDHE-RSA AES256-SHA384)による256ビットAES
 - RSA、DH、およびSHA256 MAC(DHE-RSA AES256-SHA256)による256ビットAES
 - RSA、ECDH、およびSHA256 MAC(ECDHE-RSA-AES128-SHA256)による128ビットAES
 - RSA、DH、およびSHA256 MAC(DHE-RSA-AES128-SHA256)による128ビットAES

拡張

- Cannery Rowソリューションのサポートが追加されました。
- 突発的なAC電源再投入時に、IPMIおよびSNMP構成設定を工場出荷時のデフォルト設定ではなく(ユーザーが手動で有効にした)カスタムデフォルトに自動復元するためのサポートが追加されました。
- iLO PLDM Downstreamドライブファームウェアアップデートのサポートを有効にしました。
- iLOをリセットせずにイベントをクリアできるようにアラートメカニズムを強化しました。
- Redfishプロパティ"DateTimeLocalOffset"のパッチサポート
- OSのサポートなしにSATAドライブのファームウェアをアップデートする機能。
- 本番環境状態でTLS 1.0および/またはTLS 1.1を無効/有効にするためのサポートが追加されました。
- 温度ページに、使用可能なPCIeサブコンポーネントの温度の詳細が表示されるようになりました。

オンラインROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン:2.72 (推奨)

ファイル名: ilo5_272.fwpkg

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
組み込みリモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最高のパフォーマンスを発揮するために、以下のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨しています。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)3.5.1.0
- HPQLOCFG v5.3 .0
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.40.0
- HPONCFG Windows 5.5.0
- HPONCFG Linux 5.7.0
- LOCFG v5.40.0以降
- HPLOMIG 5.3.0

注記: iLO 高セキュリティ、FIPS、CNSAのセキュリティ状態をサポートするために、アップデートされたユーティリティと

システムライブラリが必要です。HPONCFG Windowsユーティリティは、CNSAのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

旧バージョンのiLOからのアップグレード

- iLOファームウェアをiLO 5 2.41より下にダウングレードしないことを強くお勧めします。
- iLO 5バージョン2.72へのアップグレードは、iLO 5 1.48以降がインストールされているサーバーでサポートされています。
- 以前のバージョンのiLO 5がインストールされているサーバーでは、最初にiLO 5 1.48以降をインストールしてからiLO 5 2.72をインストールする必要があります。
- たとえば、サーバーにiLO 5 1.10がインストールされている場合は、iLO 5 1.48以降をインストールしてからiLO 5 2.72をインストールします。
- Gen10 plus Intelプラットフォームでサポートされる最小のiLOバージョンはiLO 5 2.42です。

Intelligent Provisionの依存関係

- iLO 5 2.72では、Redfishスキーマの変更により、Intelligent ProvisionをバージョンIP 3.80にアップグレードする必要があります。これらの変更にはIP 3.80より前のバージョンとの下位互換性がないため、iLO 5 2.72にアップグレードする際にIP 3.80にアップグレードしてください。

iLO 5 2.72より下のバージョンへのダウングレード

- iLO 5 2.72 は、Redfish APIを使用して、HTTPおよびHTTPSポートを個別に有効化および無効化することをサポートしています。ファームウェアをiLO 5 2.72より下にダウングレードする場合は、HTTPとHTTPSの両方を有効にしてください。そうしないと、Webサーバーが起動しません。

修正

- 'SessionTimeout' プロパティが /redfish/v1/SessionService URI の下にありません。
- GUIで設定済みのドライブが未設定として報告されます。
- ルーターフェイルオーバー後のiLO NICのリンクダウンとリンクアップにより、ルーター(デフォルトゲートウェイ)上でiLOが到達不能になることがあります。
- cpqSm2CntlrBadLoginAttempts (OID 1.3.6.1.4.1.232.9.2.2.14) の SNMP トラップデータの値が正しくありません。
- redfish URI chassis/1/Thermal でのパッチ操作が動作しません。
- ストレージ コントローラーが ESXiのパススルー モードで構成されている場合、iLOが Direct Attach NVMeドライブを検出するのに少し時間がかかる場合があります。
- iLOのリセット後にiLOホスト名に以前のホスト名を表示します。
- NVMe Backplane Firmware Package 1.0がiLOでアップデートされません。
- CountryプロパティのJSONペイロードの問題
- MoonshotシステムでアラートメールのIPアドレスが報告される問題
- 高セキュリティ状態では、次の脆弱なTLS 1.2暗号が無効になりました。
 - RSA、ECDH、およびSHA384 MAC(ECDHE-RSA AES256-SHA384)による256ビットAES
 - RSA、DH、およびSHA256 MAC(DHE-RSA AES256-SHA256)による256ビットAES
 - RSA、ECDH、およびSHA256 MAC(ECDHE-RSA-AES128-SHA256)による128ビットAES

- RSA、DH、およびSHA256 MAC(DHE-RSA-AES128-SHA256)による128ビットAES

拡張

- Cannery Rowソリューションのサポートが追加されました。
- 突発的なAC電源再投入時に、IPMIおよびSNMP構成設定を工場出荷時のデフォルト設定ではなく(ユーザーが手動で有効にした)カスタムデフォルトに自動復元するためのサポートが追加されました。
- iLO PLDM Downstreamドライブファームウェアアップデートのサポートを有効にしました。
- iLOをリセットせずにイベントをクリアできるようにアラートメカニズムを強化しました。
- Redfishプロパティ"DateTimeLocalOffset"のパッチサポート
- OSのサポートなしにSATAドライブのファームウェアをアップデートする機能。
- 本番環境状態でTLS 1.0および/またはTLS 1.1を無効/有効にするためのサポートが追加されました。
- 温度ページに、使用可能なPCIeサブコンポーネントの温度の詳細が表示されるようになりました。

ファームウェア - ネットワーク

[先頭](#)

Broadcomファームウェアパッケージfor BCM5741xアダプター

バージョン:222.1.68.0 (推奨)

ファイル名:bcm222.1.68.0.pup.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。

本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン222.0.126.0以降
- Linux用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン1.10.2-222.0.142.0以降
- VMware用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン222.0.118.0以降

修正

この製品は、内部のUEFIコード構造のマイナーな調整に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター

Broadcomファームウェアパッケージfor BCM5750xアダプター

バージョン:222.1.68.0 (B) (推奨)

ファイル名: bcm222.1.68.0_Thor.pup.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。

本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン222.0.126.0以降
- Linux用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン1.10.2-222.0.142.0以降
- VMware用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン222.0.118.0以降

修正

この製品は、内部のUEFIコード構造のマイナーな調整に対処しています。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Broadcom BCM57504 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン:2.29.2 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-bcm-open-2.29.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-bcm-open-2.29.2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom tg3 Ethernet* ドライバー、バージョン3.139e以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップしている必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成します

修正

この製品は、内部のUEFIコード構造のマイナーな調整に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン:1.30.2 (推奨)

ファイル名: CP051467.compsig; CP051467.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.22.41が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | NCSIバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン |
|------------------------------|-------------|----------|-----------|-----------|-------------|
| BCM 5719 1GbE 4p BASE-Tアダプター | 1.46 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |
| BCM 5719 1GbE 2p BASE-T | 1.46 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |

| | | | | | |
|----------------------------------|------|--------|--------|---------|-------------|
| OCP3アダプター | | | | | |
| BCM 5720 1GbE 2p BASE-T LOMアダプター | 1.42 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、内部のUEFIコード構造のマイナーな調整に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-Tアダプターfor HPE
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-T OCP3アダプターfor HPE

Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Edition

バージョン:5.3.0.0 (推奨)

ファイル名: cp051468.compsig; cp051468.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Editions*、バージョン221.0.4.0以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.22.41が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | NCSIバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン |
|-----------------------------------|-------------|----------|-----------|-----------|-------------|
| BCM 5719 1GbE 4p BASE-Tアダプター | 1.46 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |
| BCM 5719 1GbE 2p BASE-T OCP3アダプター | 1.46 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |
| BCM 5720 1GbE 2p BASE-T LOMアダプター | 1.42 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、内部のUEFIコード構造のマイナーな調整に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-Tアダプターfor HPE
- Broadcom BCM5719 Ethernet 1Gb 4ポートBase-T OCP3アダプターfor HPE

HPE Broadcom NetXtreme-Eファームウェアパッケージfor BCM5741xアダプター

バージョン:218.0.303000 (B) (推奨)

ファイル名:bcm218.0.303000.Optimized.pup.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Windows Server、バージョン219.0.44.0以降
- Linux用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン1.10.2-219.0.55.0以降
- VMware用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン2022.03.04以降

修正

- この製品は、いくつかのマルチキャストUDPストリームが送信された後にパケットが欠落する問題に対処します。
- この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプターのポート識別子LEDの問題に対処します。

拡張

この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン:1.13.0 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-bcm-nxe-1.13.0-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-bcm-nxe-1.13.0-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、Linux用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン1.10.2-219.0.55.0以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップしている必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成します

拡張

この製品は、HPE Proliant Gen9 サーバー上のService Pack for Proliant を介したFW のアップデートをサポートしていません。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン:5.15.0 (推奨)

ファイル名: CP051500.compsig; CP051500.zip

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for VMware*、バージョン2022.03.04以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むNVMイメージバージョン 218.0.303000が含まれています。

| NIC | Bootcodeバージョン | NCSIバージョン | MBAバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン | RoCEバージョン |
|---|---------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター | 218.0.229.0 | 218.0.173.0 | 218.0.38.0 | 218.0.93.0 | 218.0.28.0 | 218.0.5.0 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター | | | | | | |

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、HPE Proliant Gen9 サーバー上のService Pack for Proliant を介したFW のアップデートをサポートしていません。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン:5.3.0.0 (推奨)

ファイル名: cp051501.compsig; cp051501.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Driver for Windows*、バージョン219.0.44.0以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むNVMイメージバージョン218.0.303000が含まれています。

| NIC | Bootcodeバージョン | NCSIバージョン | MBAバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン | RoCEバージョン |
|---|---------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター | 218.0.229.0 | 218.0.173.0 | 218.0.38.0 | 218.0.93.0 | 218.0.28.0 | 218.0.5.0 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター | | | | | | |

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、HPE Proliant Gen9 サーバー上のService Pack for Proliant を介したFW のアップデートをサポートしていません。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン:2.30.2 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-broadcom-2.30.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-broadcom-2.30.2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom tg3 Ethernet* ドライバー、バージョン3.139c以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージでファームウェアをアップデートする前に、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、すべてのイーサネットポートが起動している必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、`/etc/sysconfig/network/`の下に`ifcfg-ethX`ファイルを作成します

拡張

- この製品は、HPE Proliant Gen9 サーバー上のService Pack for Proliant を介したFW のアップデートをサポートしていません。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン:1.31.2 (推奨)

ファイル名: CP051380.compsig; CP051380.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.22.41が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | NCSIバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン |
|----------------------------|-------------|----------|-----------|-----------|-------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iア | 2.10 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |

| | | | | | |
|---|------|--------|--------|---------|-------------|
| アダプター(22BD) | | | | | |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE) HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター | 1.46 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8) HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター | 1.42 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、HPE Proliant Gen9 サーバー上のService Pack for Proliant を介したFW のアップデートをサポートしていません。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions

バージョン:5.3.0.0 (推奨)

ファイル名: cp051381.compsig; cp051381.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Edition*、バージョン221.0.4.0以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.22.41が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | NCSIバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン |
|---|-------------|----------|-----------|-----------|-------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD) | 2.10 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE) HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター | 1.46 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター | 1.42 | 21.6.2 | 1.5.35 | 21.6.36 | 222.0.137.0 |

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| アダプター(22E8) HPE Ethernet 1Gb 2ポート332T アダプター | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、HPE Proliant Gen9 サーバー上のService Pack for Proliant を介したFW のアップデートをサポートしていません。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン:1.24.3 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-intel-1.24.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-1.24.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- HPE Intel igbドライバーfor Linux、バージョン6.10.2以降
- HPE Intel ixgbeドライバーfor Linux、バージョン5.15.2以降
- HPE Intel i40eドライバーfor Linux、バージョン2.19.3以降

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップしている必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成します

修正

この製品は、NIC HIIメニューでファームウェアのバージョンが表示されない不具合を修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568i アダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン:3.17.3 (推奨)

ファイル名: CP051601.compsig; CP051601.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | シングルNVMバージョン |
|--|-----------------|-----------|--------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター | 8000119A | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター | 80001147 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター | 8000119E | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード | 800011A0 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター | 8000119F | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター | 800011A1 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター | 80001146 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター | 80003942 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター | 80003945 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター | 80003940 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター | 800009E0 | 1.3227.0 | N/A |

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | シングルNVMバージョン |
|--|-----------------|-----------|--------------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター | 800009E1 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター | 80000636 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター | 800005B6 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター | 80003941 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター | 80003945 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター | 80003945 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプター | 800035C0 | 1.1375.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター | 8000C689 | 1.3227.0 | 11.1.1 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター | 800016F1 | 1.3227.0 | 10.55.3 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター | 8000C688 | 1.3227.0 | 11.1.1 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター | 800016EF | 1.3227.0 | 10.55.3 |

コンボイメージv1.3227.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.89、10GbE - v2.4.45、40GbE - v1.1.42 &UEFIドライバー: 1GbE - v9.8.06、10GbE - v8.1.02、40GbE - v4.9.13

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 &UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、NIC HIIメニューでファームウェアのバージョンが表示されない不具合を修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366通信ボード

- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568i アダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン:5.2.8.0 (推奨)

ファイル名: cp051591.compsig; cp051591.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | シングルNVMバージョン |
|--|-----------------|-----------|--------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター | 8000119A | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター | 80001147 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター | 8000119E | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード | 800011A0 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター | 8000119F | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター | 800011A1 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター | 80001146 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター | 80003942 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター | 80003945 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター | 80003940 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター | 800009E0 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター | 800009E1 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター | 80000636 | 1.3227.0 | N/A |

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | シングルNVMバージョン |
|--|-----------------|-----------|--------------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター | 800005B6 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター | 80003941 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター | 80003945 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター | 80003945 | 1.3227.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプター | 800035C0 | 1.1375.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター | 8000C689 | 1.3227.0 | 11.1.1 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター | 800016F1 | 1.3227.0 | 10.55.3 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター | 8000C688 | 1.3227.0 | 11.1.1 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター | 800016EF | 1.3227.0 | 10.55.3 |

コンボイメージv1.3227.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.89、10GbE - v2.4.45、40GbE - v1.1.42 &UEFIドライバー: 1GbE - v9.8.06、10GbE - v8.1.02、40GbE - v4.9.13

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 &UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、NIC HIIメニューでファームウェアのバージョンが表示されない不具合を修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568i アダプター

HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージfor Arrowheadアダプター

バージョン:8.59.05 (推奨)

ファイル名: ql_hp_ah_mbi_8.59.05_pldm.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。

本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor Linux、バージョン8.70.6.1-1以降
- HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor Microsoft Windows Server x64 Edition、バージョン8.70.9.0以降
- HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware、バージョン5.0.336.0以降

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6およびSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン:1.21.3 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-qlogic-flq-1.21.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-flq-1.21.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、この製品のファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbE Drivers for Linux*、バージョン8.70.6.1-1以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップしている必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成します

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6、Linux 9およびSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware バージョン:4.16.3 (推奨)

ファイル名: CP050990.compsig; CP050990.zip

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbEマルチファンクションドライバ for VMware*、バージョン6.0.326.0以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下を含むコンボイメージv8.59.05が含まれています。

- ブートコード(MFW):8.59.15.0
- UEFI:4.1.13.1
- PXE:2.0.19

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、VMware ESXi 6.5および6.7のサポートを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
 - HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
 - HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
 - HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
 - HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
-

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン:5.2.7.0 (推奨)

ファイル名: cp050991.compsig; cp050991.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor Windows Server x64 Editions、バージョン 8.70.9.0

このコンボイメージバージョンv8.59.05には以下が含まれます。

- ブートコード(MFW):8.59.15.0
- UEFI:4.1.13.1
- PXE:2.0.19

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品では、Microsoft Windows Server 2016のサポートが終了しました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64

バージョン:2.31.4 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-2.31.4-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-2.31.4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for Linux、バージョン7.15.10-1以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。

- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 6およびSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Portコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware

バージョン:1.31.4 (推奨)

ファイル名: CP050993.compsig; CP050993.zip

重要な注意!

HPEは、このファームウェアとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for VMware、バージョン2022.09.0以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンを実装するコンボイメージv7.19.14を含みます:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | UEFIバージョン | iSCSIバージョン | FCoEバージョン | CCMバージョン | L2バージョン |
|---|-------------|----------|-----------|------------|-----------|----------|---------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター | 7.16.13 | 7.14.13 | 8.9.3 | N/A | N/A | 7.14.4 | 7.12.25 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Portコンバージドネットワークアダプター | 7.16.13 | 7.14.13 | 8.9.3 | 7.14.0 | 7.14.3 | 7.14.4 | 7.12.25 |

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

- この製品は、VMware ESXi 6.5および6.7のサポートを削除しました。

- この製品は、CNSA (Commercial National Security Algorithm) 準拠との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Portコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions

バージョン:5.2.7.0 (推奨)

ファイル名: cp050994.compsig; cp050994.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- *HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Editions*、バージョン7.13.198.0以降

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンを実装するコンボイメージv7.19.14を含みます:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | UEFIバージョン | iSCSIバージョン | FCoEバージョン | CCMバージョン | L2バージョン |
|---|-------------|----------|-----------|------------|-----------|----------|---------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター | 7.16.13 | 7.14.13 | 8.9.3 | N/A | N/A | 7.14.4 | 7.12.25 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Portコンバージドネットワークアダプター | 7.16.13 | 7.14.13 | 8.9.3 | 7.14.0 | 7.14.3 | 7.14.4 | 7.12.25 |

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPESUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品では、Microsoft Windows Server 2016のサポートが終了しました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Portコンバージドネットワークアダプター

Intelファームウェアパッケージfor E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプター

バージョン:3.20 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_2CQDA2_O_SEC_3p20_PLDMoMCTP_80012766.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Intel icaaドライバーfor Microsoft Windows Server、バージョン1.11.44.0以降
- Intel iceドライバーfor Linux、バージョン1.8.8-2以降
- Intel icenドライバーfor VMware,バージョン2022.09.01以降

修正

この製品は、電源オフ状態でFWをアップデートしようとしたときの警告メッセージの変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプター

バージョン:3.20 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_CQDA2_3p20_PLDMoMCTP_80012763.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Intel icaaドライバーfor Microsoft Windows Server、バージョン1.11.44.0以降
- Intel iceドライバーfor Linux、バージョン1.8.8-2以降
- Intel icenドライバーfor VMware,バージョン2022.09.01以降

修正

この製品は、電源オフ状態で FW をアップデートしようとしたときの警告メッセージの変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3 アダプター

バージョン:3.20 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_CQDA2_OCP_3p20_NCSiwPLDMoMCTP_80012767.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Intel icea ドライバーfor Microsoft Windows Server、バージョン1.11.44.0以降
- Intel ice ドライバーfor Linux、バージョン1.8.8-2以降
- Intel icen ドライバーfor VMware、バージョン2022.09.01以降

修正

この製品は、HPE 100Gb QSFP28 MPO SR4 100m トランシーバーでサーバーの重大な障害警告が発生する問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプター

バージョン:3.20 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXVDA2_SD_3p20_PLDMoMCTP_8000D853.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Intel icea ドライバーfor Microsoft Windows Server、バージョン1.11.44.0以降
- Intel ice ドライバーfor Linux、バージョン1.8.8-2以降
- Intel icen ドライバーfor VMware、バージョン2022.09.01以降

修正

この製品は、電源オフ状態で FW をアップデートしようとしたときの警告メッセージの変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプター

バージョン:3.20 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXVDA2_SD_OCP_3p20_NCSIwPLDMoMCTP_8000D82B.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Intel iceda ドライバー for Microsoft Windows Server、バージョン1.11.44.0以降
- Intel ice ドライバー for Linux、バージョン1.8.8-2以降
- Intel icen ドライバー for VMware、バージョン2022.09.01以降

修正

この製品は、電源オフ状態で FW をアップデートしようとしたときの警告メッセージの変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 OCP3 アダプター for HPE

Intelファームウェアパッケージ for E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポート SFP28 アダプター

バージョン:3.20 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXVDA4_FH_3p20_PLDMoMCTP_80012765.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Intel iceda ドライバー for Microsoft Windows Server、バージョン1.11.44.0以降
- Intel ice ドライバー for Linux、バージョン1.8.8-2以降
- Intel icen ドライバー for VMware、バージョン2022.09.01以降

修正

この製品は、電源オフ状態で FW をアップデートしようとしたときの警告メッセージの変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポート SFP28 アダプター for HPE

Intelファームウェアパッケージ for E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポート SFP28 MCLK アダプター

バージョン:3.20 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXV4T_O_SEC_3p20_PLDMoMCTP_80012768.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Intel ice ドライバー for Linux、バージョン1.8.8-2以降

修正

この製品は、電源オフ状態で FW をアップデートしようとしたときの警告メッセージの変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 MCLKアダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプター

バージョン:3.20 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXV4_OCP_3p20_NCSIWPLDMoMCTP_80012764.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Intel icea ドライバーfor Microsoft Windows Server、バージョン1.11.44.0以降
- Intel ice ドライバーfor Linux、バージョン1.8.8-2以降
- Intel icen ドライバーfor VMware、バージョン2022.09.01以降

修正

この製品は、電源オフ状態で FW をアップデートしようとしたときの警告メッセージの変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン:1.24.4 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-is-intel-1.24.4-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-is-intel-1.24.4-1.1.x86_64.rpm

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2をサポートします

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware

バージョン:3.17.4 (推奨)

ファイル名: CP051603.compsig; CP051603.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | NVMバージョン |
|---|-----------------|-----------|----------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター | 8000CBAA | 1.3218.0 | 8.70 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター | 8000CBAB | 1.3218.0 | 8.70 |
| Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプター | 80001099 | 1.3218.0 | N/A |
| Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプター | 80001199 | 1.3218.0 | N/A |
| インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート) | 8000119C | 1.3218.0 | N/A |
| インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート) | 8000119D | 1.3218.0 | N/A |

コンボイイメージv1.3218.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.89、ブートエージェントI40E - v1.1.42 UEFIドライバー:1GbE - v9.8.06、40ギガビットドライバー - v4.9.13

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2をサポートします

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン:5.2.8.0 (推奨)

ファイル名: cp051604.compsig; cp051604.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | NVMバージョン |
|-----|-----------------|-----------|----------|
|-----|-----------------|-----------|----------|

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | NVMバージョン |
|---|-----------------|-----------|----------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター | 8000CBAA | 1.3218.0 | 8.70 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター | 8000CBAB | 1.3218.0 | 8.70 |
| Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプター | 80001099 | 1.3218.0 | N/A |
| Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプター | 80001199 | 1.3218.0 | N/A |
| インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート) | 8000119C | 1.3218.0 | N/A |
| インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート) | 8000119D | 1.3218.0 | N/A |

コンボイメージv1.3218.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.89、ブートエージェントI40E - v1.1.42 UEFIドライバー: 1GbE - v9.8.06、40ギガビットドライバー - v4.9.13

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2をサポートします

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

Arrowheadアダプター用Marvell FastLinQファームウェアパッケージ

バージョン: 8.59.05 (**推奨**)

ファイル名: ql_ah_mbi_open_8.59.05_pldm.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。

本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server x64 Edition用Marvell FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー、バージョン8.70.9.0以降
- HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor Linux、バージョン8.70.6.1-1以降
- HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware、バージョン5.0.336.0以降

拡張

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HVCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HLRJAアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HVCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+QL41134HLCUアダプター

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)- Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE

バージョン:26.33.1048 (推奨)

ファイル名: 26_33_1048-MCX631102AS-ADA_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6LxFirmwarev26331048/Known+Issues>から入手できます。

注記:PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン26.33.1048で修正されました:

- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- CNPパケットのPartition KeyフィールドのMSBが反転し、CNPパケットと通常のパケットでP_KEYが不一致になる設定上の問題がありました。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合がありました。
- ECNマーク付きパケットを受信して送信したCNPがあるにもかかわらず、np_cnp_sentカウンタが最大値に達した後、増加しない不具合を修正しました。

拡張

バージョン26.33.1048の新機能および変更:

- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- VF移行のサポートが追加されました。ハイパーバイザーはVFを一時停止できるようになりました。つまり、その時点から、VFはトラフィックの送受信やコマンドの実行などのアクションを実行できなくなります。このファームウェアバージョンでは、サスペンド レジューム モードのみがサポートされず(同じVM上で)。
- VF移行のサポートが追加されました。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl_access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|---------------|
| P42044-B21 | Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE | MT_0000000575 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)- Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

バージョン:26.33.1048 (推奨)

ファイル名: 26_33_1048-MCX631432AS-ADA_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用についてもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6LxFirmwarev26331048/Known+Issues>から入手できます。

注記:PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン26.33.1048で修正されました:

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- CNPパケットのPartition KeyフィールドのMSBが反転し、CNPパケットと通常のパケットでP_KEYが不一致になる設定上の問題がありました。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- ECNマーク付きパケットを受信して送信したCNPがあるにもかかわらず、np_cnp_sentカウンタが最大値に達した後、増加しない不具合を修正しました。

拡張

バージョン26.33.1048の新機能および変更

- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- VF移行のサポートが追加されました。ハイパーバイザーはVFを一時停止できるようになりました。つまり、その時点から、VFはトラフィックの送受信やコマンドの実行などのアクションを実行できなくなります。このファームウェアバージョンでは、サスペンド レジューム モードのみがサポートされず (同じVM上で)。
- VF移行のサポートが追加されました。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|---|---------------|
| P42041-B21 | Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3 アダプター for HPE | MT_0000000551 |

10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

バージョン:16.33.1048 (推奨)

ファイル名: 16_33_1048-MCX562A-ACA_Ax_Bx.pldm.fwpkg

重要な注意!

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用についてもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX5Firmwarev16331048/Known+Issues>から入手できます。

注記:PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが16.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- QPが完了を受信しない原因となるまれな問題。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

重要:セキュリティ強化の機能改善 - このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのバージョンにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl_access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。

- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|---|---------------|
| P10112-B21 | Mellanox MCX562A-ACAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE | MT_0000000241 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター HPE部品番号P31246-B21およびP31246-H21

バージョン:16.33.1048 (推奨)

ファイル名: 16_33_1048-MCX515A-CCA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX5Firmwarev16331048/Known+Issues>から入手できます。

注記:PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが16.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- QPが完了を受信しない原因となるまれな問題。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

重要:セキュリティ強化の機能改善 - このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのバージョンにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| Mellanox Ethernet専用アダプター | Firmware Version | PSID |
|--|------------------|---------------|
| HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター(P31246-B21およびP31246-H21) | 16.33.1048 | MT_0000000591 |

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-HDATアダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG) HPE部品番号P23664-B21およびP23664-H21

バージョン:20.33.1048 (推奨)

ファイル名: 20_33_1048-MCX653105A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用についてもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20331048/Known+Issues>から入手できます。

注記:PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

セキュリティ強化の機能改善:このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。

- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するとき、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- SLD検出コードを実装しました。ダウストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| Mellanox InfiniBandアダプター | Firmware Version | PSID |
|--|------------------|---------------|
| HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-HDATアダプター(P23664-B21およびP23664-H21) | 20.33.1048 | MT_0000000451 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター HPE部品番号P31323-B21およびP31323-H21

バージョン:20.33.1048 (**推奨**)

ファイル名: 20_33_1048-MCX653435A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20331048/Known+Issues>から入手できます。

注記: PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサーネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

セキュリティ強化の機能改善: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記: リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。

- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- SLD検出コードを実装しました。ダウンストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| Mellanox InfiniBandアダプター | Firmware Version | PSID |
|--|------------------|---------------|
| HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター(P31323-B21およびP31323-H21) | 20.33.1048 | MT_0000000592 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター HPE部品番号P31324-B21およびP31324-H21

バージョン:20.33.1048 (推奨)

ファイル名: 20_33_1048-MCX653106A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 200GbE/50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 200GbE/50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20331048/Known+Issues>から入手できます。

注記: PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する場合がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

セキュリティ強化の機能改善: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記: リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報

を提供します。

- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- SLD検出コードを実装しました。ダウンストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| Mellanox InfiniBandアダプター | Firmware Version | PSID |
|--|------------------|---------------|
| HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター (P31324-B21および P31324-H21) | 20.33.1048 | MT_0000000594 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター HPE部品番号P31348-B21およびP31348-H21

バージョン:20.33.1048 (推奨)

ファイル名: 20_33_1048-MCX653436A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-----|-----|-----|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| | | | | |

| | | | | |
|--------------|------|-------|-------|------|
| 200GbE/50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 200GbE/50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20331048/Known+Issues>から入手できます。

注記: PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルレーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

セキュリティ強化の機能改善: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記: リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。

- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- SLD検出コードを実装しました。ダウンストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| Mellanox InfiniBandアダプター | Firmware Version | PSID |
|--|------------------|---------------|
| HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター(P31348-B21およびP31348-H21) | 20.33.1048 | MT_0000000593 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-ECATアダプター HPE部品番号 P23665-B21およびP23665-H21

バージョン:20.33.1048 (推奨)

ファイル名: 20_33_1048-MCX653105A-ECA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。
<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20331048/Known+Issues>から入手できます。

注記: PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサーネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルーターニングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

セキュリティ強化の機能改善: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記: リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。

- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- SLD検出コードを実装しました。ダウンストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| Mellanox InfiniBandアダプター | Firmware Version | PSID |
|--|------------------|---------------|
| HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-ECATアダプター (P23665-B21およびP23665-H21) | 20.33.1048 | MT_0000000452 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-ECATアダプター HPE部品番号 P23666-B21およびP23666-H21

バージョン:20.33.1048 (推奨)

ファイル名: 20_33_1048-MCX653106A-ECA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット |
|----------------|
|----------------|

| ポート#1 - InfiniBand | 50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
|--------------------|-------|--------------|-------------|-------|
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20331048/Known+Issues>から入手できます。

注記: PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルレーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

セキュリティ強化の機能改善: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記: リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。

- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- SLD検出コードを実装しました。ダウンストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| Mellanox InfiniBandアダプター | Firmware Version | PSID |
|--|------------------|---------------|
| HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-ECATアダプター (P23666-B21およびP23666-H21) | 20.33.1048 | MT_0000000453 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE

バージョン:22.33.1048 (推奨)

ファイル名: 22_33_1048-MCX623105AS-VDA_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用についてもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6DxFirmwarev22331048/Known+Issues>から入手できます。

注記:PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが22.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン22.33.1048で修正されました:

- アクティブバックアップVF LAGモードでのvDPAトラフィックの不均衡の問題。
- マルチホスト システムでDCの電源をオフにした後、PCIeフラッシュフローのファームウェア バグが原因で、BMCへのOOB接続が失われる (そして致命的なエラーが発生する) という問題が発生しました。
この問題は、フラッシュ時間を増やし、PCIeクレジットがデフォルト値に戻るのを待たないようにすることで修正されました。
- 珍しい Serdes の HW/FW タイミング レースパワーアップシーケンス。
- まれなレーンキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- リンクがアップしているときに PTP/FCS 構成を変更すると、一時的なパケット ドロップが発生する問題。
- Tx 帯域幅の回線速度に到達するように virtioデータパスを最適化しました。
- 通知インジケータが誤ってFATALとして報告され、誤った通知が発生する問題。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- CNPパケットのPartition KeyフィールドのMSBが反転し、CNPパケットと通常のパケットでP_KEYが不一致になる設定上の問題がありました。
- 初期化段階でのポートのマッピングが正しくないために、間違ったポートキャリブレーションが発生する問題。

拡張

バージョン22.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 暗号化対応デバイスで 200Gb/sのすぐに使えるスループットを有効にしました。
注記:暗号オフロードが使用されている場合、200Gb/秒のスループットは、次のファームウェアのリセット後のみ達成できます
- VF移行のサポートが追加されました。ハイパーバイザーはVFを一時停止できるようになりました。つまり、その時点から、VF はトラフィックの送受信やコマンドの実行などのアクションを実行できなくなります。このファームウェア バージョンでは、サスペンド レジューム モードのみがサポートされません (同じVM上で)。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- Precision Time Protocol (PTP)に対応しました。
このバージョンでは、次のサポートが含まれています。
16 PTP SQのみ
2ポートのみ
RTクロックモードのみ
このバージョンでは、以下はサポート対象外です。
PTP パケット ドロップ
VFのPTP SQ
注記:LFWP (life fw patch)を操作する前に、すべてのPTP SQを閉じる必要があります。
- リソース ダンプ インターフェイスを介した HWステアリングオブジェクトダンプのサポートが追加されました。
このサポートには以下が含まれます。STC、RTC、STE、変更引数、および変更パターン。
- VF移行のサポートが追加されました。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- create_match_definer_objectと'SELECT'フォーマットを使用して、dwordセレクトラを持つステアリングディファイナーを作成するサポートを追加しました。

- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- [ベータ] 次のハードウェアステアリングサポートを追加しました。
インラインSTCアクションの設定、追加、コピー
modify_pattern オブジェクトとインラインstc変更アクションを使用して、いくつかのフィールドのアクションを設定およびコピーします
FDB_RX および FDB_TXフローテーブルタイプを使用したHWステアリングのFDBモード
STCを介したASO流量計の動作
ASO WQEを使用したフローカウンタクエリ
オブジェクトの大規模な割り当て: STE、ASO流量計と変更引数
ジャンボマッチRTC
STCでのcountアクション
- SyncE仕様(EEC準拠)に準拠し、リンクロス時の最大位相過渡応答を制限するホールドオーバーモードをサポートしました。
- SyncE仕様の要件に準拠するために、ノイズ フィルタリングのサポートが追加されました。
- vDPA virtioのパフォーマンスを最適化しました:スループット、QoS、およびvirtioが QoS設定で動作する場合の最小/最大帯域幅の正確さが含まれます。
- 新機能のvDPA virtio-net Full Emulationは、ライブマイグレーション時にゼロから作成するvirtqを、ターゲットサーバー上にあらかじめ作成しておくことで、切替時間を短縮します。
スイッチオーバーが発生すると、事前に作成された virtq が使用され、必要なパラメーターで変更されます。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- プログラマブルCCプラットフォームに基づく高度なZTR_RTTCCアルゴリズムのサポートを追加し、スイッチのECNマーキングに依存しないより良い輻輳制御を達成しました。
- DIM は、mlxregコマンドを使用してvDPAのモデレーションパラメーターを動的に調整するために使用されます。
この機能を無効にするには、次を実行します。
mlxreg -d /dev/mst/mt41686_pciconf0 --reg_id 0xc00d --reg_len 0x8 -s "0x4.1:1=0x0"
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 信頼できない関数の動的フレックスパーサーの作成に対応し、信頼できない関数のフレックスパーサーのキャップを以下のように変更しました。
最大フレックス パーサー ノード = 2
最大 dw サンプル = 4
- raw ETH リンクで実行中の SNAPI (通信チャネル) 接続のサポートが追加されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。
FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- [ベータ] ソフトウェアが直接ICMにアクセスし、DEKオブジェクトを書き込み/変更することができる新しい機能です。この変更により、DEKオブジェクトを新規に作成するのではなく、再利用することで更新率を向上させました。
さらに、以下を追加しました。
DEKオブジェクトの新機能: バルク割り当て、modify_dek コマンド、および新しいモード -

sw_wrapped。

新しい一般オブジェクト INT_KEK

- SLD検出コードを実装しました。ダウンストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|---|---------------|
| P10180-B21 | Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE | MT_0000000435 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)- MCX623106AS-CDAT Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56アダプターfor HPE

バージョン:22.33.1048 (推奨)

ファイル名: 22_33_1048-MCX623106AS-CDA_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。

<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6DxFirmwarev22331048/Known+Issues>から入手できます。

注記:PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが22.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン22.33.1048で修正されました:

- アクティブバックアップVF LAGモードでのvDPAトラフィックの不均衡の問題。
- マルチホスト システムでDCの電源をオフにした後、PCIeフラッシュフローのファームウェア バグが原因で、BMCへのOOB接続が失われる (そして致命的なエラーが発生する) という問題が発生しました。
この問題は、フラッシュ時間を増やし、PCIeクレジットがデフォルト値に戻るのを待たないようにすることで修正されました。
- 珍しい Serdes の HW/FW タイミング レースパワーアップシーケンス。
- まれなレーンキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- リンクがアップしているときに PTP/FCS 構成を変更すると、一時的なパケット ドロップが発生する問題。
- Tx 帯域幅の回線速度に到達するように virtioデータパスを最適化しました。
- 通知インジケターが誤ってFATALとして報告され、誤った通知が発生する問題。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。

- CNPパケットのPartition KeyフィールドのMSBが反転し、CNPパケットと通常のパケットでP_KEYが不一致になる設定上の問題がありました。
- 初期化段階でのポートのマッピングが正しくないために、間違ったポートキャリブレーションが発生する問題。

拡張

バージョン22.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 暗号化対応デバイスで 200Gb/sのすぐに使えるスループットを有効にしました。
注記:暗号オフロードが使用されている場合、200Gb/秒のスループットは、次のファームウェアのリセット後にのみ達成できます
- VF移行のサポートが追加されました。ハイパーバイザーはVFを一時停止できるようになりました。つまり、その時点から、VF はトラフィックの送受信やコマンドの実行などのアクションを実行できなくなります。このファームウェア バージョンでは、サスペンド レジューム モードのみがサポートされません (同じVM上で)。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- Precision Time Protocol (PTP)に対応しました。
このバージョンでは、次のサポートが含まれています。
16 PTP SQのみ
2ポートのみ
RTクロックモードのみ
このバージョンでは、以下はサポート対象外です。
PTP パケット ドロップ
VFのPTP SQ
注記:LFWP (life fw patch)を操作する前に、すべてのPTP SQを閉じる必要があります。
- リソース ダンプ インターフェイスを介した HWステアリングオブジェクトダンプのサポートが追加されました。
このサポートには以下が含まれます。STC、RTC、STE、変更引数、および変更パターン。
- VF移行のサポートが追加されました。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- create_match_definer_objectと'SELECT'フォーマットを使用して、dwordセクタを持つステアリングディファイナーを作成するサポートを追加しました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- [ベータ] 次のハードウェアステアリングサポートを追加しました。
インラインSTCアクションの設定、追加、コピー
modify_pattern オブジェクトとインラインstc変更アクションを使用して、いくつかのフィールドのアクションを設定およびコピーします
FDB_RX および FDB_TXフローテーブルタイプを使用したHWステアリングのFDBモード
STCを介したASO流量計の動作
ASO WQEを使用したフローカウンタクエリ
オブジェクトの大規模な割り当て: STE、ASO流量計と変更引数
ジャンボマッチRTC
STCでのcountアクション
- SyncE仕様(EEC準拠)に準拠し、リンクロス時の最大位相過渡応答を制限するホールドオーバーモードをサポートしました。
- SyncE仕様の要件に準拠するために、ノイズ フィルタリングのサポートが追加されました。
- vDPA virtioのパフォーマンスを最適化しました:スループット、QoS、およびvirtioが QoS設定で動作する場合の最小/最大帯域幅の正確さが含まれます。

- 新機能のvDPA virtio-net Full Emulationは、ライブマイグレーション時にゼロから作成するvirtqを、ターゲットサーバー上にあらかじめ作成しておくことで、切替時間を短縮します。
スイッチオーバーが発生すると、事前に作成された virtq が使用され、必要なパラメーターで変更されます。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- プログラブルCCプラットフォームに基づく高度なZTR_RTTCCアルゴリズムのサポートを追加し、スイッチのECNマーキングに依存しないより良い輻輳制御を達成しました。
- DIM は、mlxregコマンドを使用してvDPAのモデレーションパラメーターを動的に調整するために使用されます。
この機能を無効にするには、次を実行します。
mlxreg -d /dev/mst/mt41686_pciconf0 --reg_id 0xc00d --reg_len 0x8 -s "0x4.1:1=0x0"
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 信頼できない関数の動的フレックスパーサーの作成に対応し、信頼できない関数のフレックスパーサーのキャップを以下のように変更しました。
最大フレックス パーサー ノード = 2
最大 dw サンプル = 4
- raw ETH リンクで実行中の SNAPI (通信チャネル) 接続のサポートが追加されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。
FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- [ベータ] ソフトウェアが直接ICMにアクセスし、DEKオブジェクトを書き込み/変更することができる新しい機能です。この変更により、DEKオブジェクトを新規に作成するのではなく、再利用することで更新率を向上させました。
さらに、以下を追加しました。
DEKオブジェクトの新機能: バルク割り当て、modify_dek コマンド、および新しいモード - sw_wrapped。
新しい一般オブジェクト INT_KEK
- SLD検出コードを実装しました。ダウンストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|---------------|
| P25960-B21 | Mellanox MCX623106AS-CDAT Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56アダプター for HPE | MT_0000000437 |

HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACHTアダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)

バージョン:16.33.1048 (A) (推奨)

ファイル名: 16_33_1048-MCX512F-ACH_Ax_Bx.pldm.fwpkg

重要な注意!

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。
<https://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<https://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、
<https://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX5Firmwarev16331048/Known+Issues>から入手できます。

注記: PLDM対応のNvidiaネットワークアダプター(イーサネットおよびVPI)をフラッシュする場合、システムに同じタイプのアダプターが3つ以上装着されていると、FWPKGファームウェアコンポーネントでのアップデートに失敗することがあります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが16.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

サブバージョン16.33.1048(A)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- QPが完了を受信しない原因となるまれな問題。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

重要: セキュリティ強化の機能改善 - このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのバージョンにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記: リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。

- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|---|---------------|
| P13188-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター | MT_0000000416 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0)

バージョン: 1.0.3 (A) (推奨)

ファイル名: CP053228.compsig; CP053228.zip

前提条件

ConnectX4-Lxファームウェアバージョン14.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

サブバージョン1.0.3(A)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 LxアダプターカードのI4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。

- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0)

バージョン:1.0.4 (推奨)

ファイル名: CP052140.compsig; CP052140.zip

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

前提条件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010(またはそれ以降)では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフエイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。

- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|----------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター | HPE0000000014 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 7.0)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン:1.0.4 (推奨)

ファイル名: CP052129.compsig; CP052129.zip

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題を修正しました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
- 825111-B21(HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
- 872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFP Adapter | HPE0000000022 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン:1.0.4 (推奨)

ファイル名: CP052145.compsig; CP052145.zip

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 200GbE/50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 200GbE/50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- SLD検出コードを実装しました。ダウストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.33.1048にアップデートされました。

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター- P06154-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター- P06250-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター- P06251-B21

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。

- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター | HPE0000000036 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン:1.0.1 (A) (推奨)

ファイル名: CP053315.compsig; CP053315.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
回避策:サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策:サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
回避策:ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。

- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:**[IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策:BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策:デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策:それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQスライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるスライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされません。

- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

サブバージョン1.0.1(A)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop -d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21

764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21

764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
 - ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
 - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。

- user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。

- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更:

- イーサーネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が "Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M Adapter | HPE_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HPE_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP Adapter | HPE_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1390110023 |

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0)

バージョン:1.0.4 (推奨)

ファイル名: CP052150.compsig; CP052150.zip

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

前提条件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。

- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。

- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0)

バージョン:1.0.0 (推奨)

ファイル名: CP053859.compsig; CP053859.zip

前提条件

ConnectX4-Lxファームウェアバージョン14.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することに

よって実装されます。

- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 8.0) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン:1.0.0 (推奨)

ファイル名: CP052064.compsig; CP052064.zip

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

前提条件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010(またはそれ以降)では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。

- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。

- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|----------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター | HPE0000000014 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 8.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 8.0

バージョン: 1.0.0 (推奨)

ファイル名: CP051774.compsig; CP051774.zip

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題を修正しました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
- 825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 879482-B21 (HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
- 872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記: リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。

- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFP Adapter | HPE0000000022 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 8.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 8.0

バージョン:1.0.0 (推奨)

ファイル名: CP052055.compsig; CP052055.zip

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサーネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 200GbE/50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサーネット | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|------|
| ポート#1 - InfiniBand | 200GbE/50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| | | | | |

| | | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました：

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- SLD検出コードを実装しました。ダウストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.33.1048にアップデートされました。

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター- P06154-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター- P06250-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター- P06251-B21

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。

- カウンターや変更回数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、CREATE_DEK PRMコマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しいNV_CONFIGがデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター | HPE0000000036 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 8.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 8.0

バージョン:1.0.0 (推奨)

ファイル名: CP052070.compsig; CP052070.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
回避策:サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策:サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
回避策:ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:**[IB_TAB]で"do_ - sense=false"パラメーターを設定してください。

- アドバンスステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策: BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策: 1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify" コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
回避策: ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされません。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができま

- す。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop -d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21

764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21

764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
 - ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
 - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
 - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更:

- イーサーネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が"Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートされるデバイス:

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M Adapter | HPE_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HPE_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP Adapter | HPE_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1390110023 |

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 8.0)

バージョン:1.0.0 (推奨)

ファイル名: CP052069.compsig; CP052069.zip

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

前提条件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。

- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)

バージョン:1.0.6 (A) (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-eth-only-mft-1.0.6-2.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-eth-only-mft-1.0.6-2.1.x86_64.rpm

前提条件

ConnectX4-Lxファームウェアバージョン14.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

サブバージョン1.0.6(A)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。

- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン:1.0.17 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.17-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.17-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

前提条件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010(またはそれ以降)では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合がありました。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。

- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。

- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|----------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター | HPE0000000014 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Mellanox IB専用ConnectX4とConnectX5デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン:1.0.11 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.11-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.11-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行タイムアウトが大きすぎる場合に、再試行オプションが機能する前にDCR(DCリソース)が破棄される原因となった問題。この場合、DCR存続時間が増加し、最大再試行タイムアウトが減少しました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました

- まれなレーンキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポート アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)
- 872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。

- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| 843400-B21 | HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター(843400-B21) | HPE2920111032 |
| 872723-B21 | HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2-port 841z Mezzanine Adapter | HPE0000000017 |
| 872725-B21 | HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター(872725-B21) | HPE0000000008 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX4デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン:1.0.13 (推奨)

ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.13-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.13-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題を修正しました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。

- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
- 825111-B21(HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
- 872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFP Adapter | HPE0000000022 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX4デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン:1.0.9 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-vpi-cx6-mft-1.0.9-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-vpi-cx6-mft-1.0.9-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 200GbE/50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 200GbE/50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- SLD検出コードを実装しました。ダウストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- まれなレースキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.33.1048にアップデートされました。

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター - P06154-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター - P06250-B21

- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター - P06251-B21

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すための `pci_rescan_needed` フィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、`phyless`のリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性`hierarchy_Info`を持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(`vhca_icm_ctrl_access_reg`)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、`QUERY_QP`は、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- `phy`リンクがダウンしているときに報告される`ibstat`ステータスをアップデートしました。これにより、`UPLINK`の`QUERY_VPORT_STATE.max_tx_speed`は0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨の`NetworkPort`スキーマを`Port`スキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーの`ip_ecn`フィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアで`sync_steering`コマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"`log_table_size - log_num_unisizes`"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、`CREATE_DEK PRM`コマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しい`NV_CONFIG`がデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。`delay_drop_en`を有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター | HPE0000000036 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン:1.0.12 (A) (推奨)

ファイル名: `firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.12-2.1.x86_64.compsig`; `firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.12-2.1.x86_64.rpm`

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
回避策:サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策:サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
回避策:ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバがカーネルパニックを引き起こします。
回避策:[IB_TAB]で"do_-sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策:BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策:デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策:それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQスライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。

- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされません。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができません。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

サブバージョン1.0.12(A)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop -d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21

764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21

764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます：

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能：

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
 - ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
 - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
 - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更：

- イーサネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が "Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス：

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M Adapter | HPE_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HPE_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP Adapter | HPE_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1390110023 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE OPAアダプター

バージョン:1.12.0 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-cornelis-opa-hfi-1.12.0-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-cornelis-opa-hfi-1.12.0-1.1.x86_64.rpm

前提条件

このSmartコンポーネントは、前提条件としてCornelis Networks OPXSまたはOPX Basicソフトウェア v10.11.1.3.1がインストールされていることが必要です。

修正

バージョン1.12.0に含まれる修正点:

- BIOSチェックリンクステータスとLNI完了の間の競合状態が修正され、PXEブートエラーが発生しました。
- hfi1_epromツールのデフォルトの動作を変更して、epromフォーマットをバージョン2に変換し、-N コマンド ライン引数を指定する必要がなくなりました。
- HfiPcieGen3Loader*.rom ファイルをアップデートすると、HfiPcieGen3Loader*.efiおよび HFI_TYPE1*.datファイルが消去される問題に対処しました。

拡張

バージョン1.12.0の変更および新機能はありません

サポートされるデバイスおよび機能

| HP製品番号 | OPA HFIアダプタータイプ | SSID |
|------------|---|------|
| 829334-B21 | HPE 100Gb 1-Port OP101 QSFP28 x8 OPAアダプター | E7 |
| 829335-B21 | HPE 100Gb 1ポート OP101 QSFP28 x16 OPAアダプター | E8 |
| 851226-B21 | HPE Apollo 100Gb 1-port Intel Omni-Pathアーキテクチャー860zメザニンFIOアダプター | 21C |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for Mellanox Open Ethernetカード

バージョン:1.0.7 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-open-mellanox-eth-mft-1.0.7-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-open-mellanox-eth-mft-1.0.7-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェア スマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

前提条件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。

- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- まれなレーンキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。

- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64)

バージョン:1.0.0.6 (A) (推奨)

ファイル名: cp053227.compsig; cp053227.exe

前提条件

ConnectX4-Lxファームウェアバージョン14.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

サブバージョン1.0.0.6(A)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン:1.0.0.17 (推奨)

ファイル名: cp052141.exe; cp052141_part1.compsig; cp052141_part2.compsig

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

前提条件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010(またはそれ以降)では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 LxアダプターカードのI4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。

- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- まれなレーンキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。

- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|----------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター | HPE0000000014 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64)for HPE Mellanox IB専用ConnectX4およびConnectX5デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン:1.0.0.11 (推奨)

ファイル名: cp052153.exe; cp052153_part1.compsig; cp052153_part2.compsig

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行タイムアウトが大きすぎる場合に、再試行オプションが機能する前にDCR(DCリソース)が破棄される原因となった問題。この場合、DCR存続時間が増加し、最大再試行タイムアウトが減少しました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポート アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)
- 872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときにのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| 843400-B21 | HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター(843400-B21) | HPE2920111032 |
| 872723-B21 | HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2-port 841z Mezzanine Adapter | HPE0000000017 |
| 872725-B21 | HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター(872725-B21) | HPE0000000008 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4およびConnectX5デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン:1.0.0.12 (推奨)

ファイル名: cp052128.exe; cp052128_part1.compsig; cp052128_part2.compsig

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題を修正しました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
- 825111-B21(HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- 879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
- 872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |

| | | |
|------------|---|---------------|
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFP Adapter | HPE0000000022 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン:1.0.0.6 (推奨)

ファイル名: cp052144.compsig; cp052144.exe

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサーネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 200GbE/50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサーネット | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 200GbE/50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.33.1048で修正されました:

- Adaptive RoutingとDCTハーフハンドシェイクモードで動作する場合、RDMAライトで性能低下が発生する可能性がある問題。
- TX_SCHEDULER_BURSTのiniの値が "0" 以外だとデフォルト値が無視される不具合を修正しました。
- SLD検出コードを実装しました。ダウストリームperstが制御されないためSLD検出が正しく機能していなかったボードで、Surprise Down Error Reporting Capableの値が1から0に変更されました。
- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- アダプティブルーティングネットワークでDCを操作しているときにRDMA_WRITEトラフィックのパフォーマンス劣化が発生していました。
- 破棄されたQPの不正なキャッシュ無効化。
- ドライバーの再起動を実行した後、まれに、アサートとext_syndが表示される場合があります。
- マルチホストシステムでのホストの分離に関連する問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.33.1048にアップデートされました。

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター - P06154-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター - P06250-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター - P06251-B21

バージョン20.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すための `pci_rescan_needed` フィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、`phyless`のリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性`hierarchy_Info`を持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(`vhca_icm_ctrl_access_reg`)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、`QUERY_QP`は、シンδροームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- `phy`リンクがダウンしているときに報告される`ibstat`ステータスをアップデートしました。これにより、`UPLINK`の`QUERY_VPORT_STATE.max_tx_speed`は0と報告されなくなります。
- NIC RDE実装で、非推奨の`NetworkPort`スキーマを`Port`スキーマに置き換えました。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーの`ip_ecn`フィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアで`sync_steering`コマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"`log_table_size - log_num_unisizes`"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- 暗号化機能は、ラップモードまたはアンラップモードのいずれかに設定できます。つまり、`CREATE_DEK PRM`コマンドを実行するときに、キーをラップすることもプレーンテキストにすることもできます。FIPSの公開資料で指定されている要件に準拠するには、作成されたすべてのDEKをラップする必要があります。
この機能により、このモードを制御するための新しい`NV_CONFIG`がデバイスごとに追加され、ユーザーがすべての暗号化機能をラップまたはクリアテキストに変更できるようになります。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。`delay_drop_en`を有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター | HPE0000000036 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Windows x86_64プラットフォーム:

バージョン:1.0.0.12 (A) (推奨)

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
回避策:サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策:サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
回避策:ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバがカーネルパニックを引き起こします。
回避策:[IB_TAB]で"do_-sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策:BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策:デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策:それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。

- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされません。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができません。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

サブバージョン1.0.0.12(A)では、以下の変更を行いました。

- 新しいSHA384署名を持つように再構築された製品です。

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop -d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。

- o iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラースイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- o VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21

764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21

764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- o 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
 - ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
 - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
 - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- o コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更:

- o イーサーネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が "Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M Adapter | HPE_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HPE_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP Adapter | HPE_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1390110023 |

Open Ethernetカード

バージョン:1.0.0.7 (推奨)

ファイル名: cp052151.exe; cp052151_part1.compsig; cp052151_part2.compsig

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用を選択します。

前提条件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.33.1048で修正されました:

- まれなレーンスキューの問題が原因で、Rec.idleでCPUがタイムアウトしていました。
- カードでPCIe AERレポートの一部がマスクされる場合があります。
- クレジットブロックの誤ったフローによってDCサイクルテスト中に起動が妨げられていました。
- SMBUSからPCIeへのBMCメディア移行に関する問題と、移行時に大きなパケットを渡すためのFIFOの増加。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.33.1048にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。

- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.33.1048には、以下の新機能と変更が含まれます。

- PCIの再スキャンが必要かどうかを、ソフトウェアによって発行されたNV構成に基づいて示すためのpci_rescan_neededフィールドがMFRLアクセスレジスタに追加されました。
注記:リンクを維持するNV構成を変更した場合に、phylessのリセットがブロックされます。
- クラスSMPの新しいMADを追加しました。これは、IB仕様で定義されている属性hierarchy_Infoを持ち、ノードと物理ポートに格納されている階層情報をクエリするために使用されます。
- 使用中のICMページのクエリと制限を有効にするための新しいレジスタ(vhca_icm_ctrl access_reg)が追加されました。
- QPがエラー状態になった場合にユーザーに表示されるXRQ QPエラー情報が拡張されました。そのような場合、QUERY_QPは、シンドロームの種類と、どちらの側がエラーの原因になったかに関する情報を提供します。
- NIC RDE実装で、非推奨のNetworkPortスキーマをPortスキーマに置き換えました。
- phyリンクがダウンしているときに報告されるibstatステータスをアップデートしました。これにより、UPLINKのQUERY_VPORT_STATE.max_tx_speedは0と報告されなくなります。
- 許可されていないホストからSMPを送信するオプションを無効にしました。
- ファームウェアステアリングでパケットヘッダーのip_ecnフィールドを変更するオプションを有効にしました。
- TXまたはRXキャッシュの無効化動作を変更しました。TXまたはRXキャッシュの無効化は自動的に発生せず、ソフトウェアでsync_steeringコマンドを使用して同期操作を実行したときのみ発生します。
- カウンターや変更引数などのHWSオブジェクトが遭遇する可能性のある制限を撤廃するために、単一割り当てあたりの最大バルクサイズが"log_table_size - log_num_unisizes"から任意の範囲サイズの割り当てに変更されました。
- ヘアピンパケットの遅延ドロップを有効にしました。delay_drop_enを有効にしてヘアピンQPを作成した場合、遅延ドロップのステータスに基づき、すべてのGVMIでこの機能が有効になります。

サポートされるデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernet専用アダプター | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

ファームウェア - NVDIMM

[先頭](#)

ファームウェアパッケージ - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン:1.04 (C) (推奨)

ファイル名: nvdimm-16gb_1.04.fwpkg

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートの追加。
- VMWare vSphere 6.5 U3のサポートの追加

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- HPE 16GB NVDIMMシングルランクx4 DDR4-2666モジュールキット

HPE Gen10 Plusサーバー上にインテルOptane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory用のファームウェアパッケージ

バージョン:02.02.00.1553 (D) (推奨)

ファイル名: dcpmm_02.02.00.1553.fwpkg

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、インテルOptane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン 2.2.0.1553が含まれています

修正

この製品は、インテルOptane DC パーシステント・メモリーの3つの異なる容量が3つの個別のデバイスGUIDで識別できるという問題を修正します。

拡張

- ESXi 8.0のサポートを追加します

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 3200 Persistent Memory Kit
- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 3200 Persistent Memory Kit
- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 3200 Persistent Memory Kit

HPE Gen10サーバー上にインテルOptane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory用のファームウェアパッケージ

バージョン:01.02.00.5446 (C) (推奨)

ファイル名: dcpmm_01.02.00.5446.fwpkg

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、インテルOptane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン 1.2.0.5446が含まれています

拡張

- ESXi 8.0のサポートを追加します

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン:1.04 (C) (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-3.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-3.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL8.4のサポートの追加。
- SLES15 SP3のサポートの追加。
- VMWare ESXi 7.0 U3のサポートの追加。
- VMWare vSphere 6.5 U3のサポートの追加

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- HPE 16GB NVDIMMシングルランクx4 DDR4-2666モジュールキット

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Gen10 Plusサーバー上のインテル Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン:2.2.0.1553 (D) **(推奨)**

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-2.2.0.1553-4.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-2.2.0.1553-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、インテルOptane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン 2.2.0.1553が含まれています

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

この製品は、インテルOptane DC パーシステント・メモリーの3つの異なる容量が3つの個別のデバイス GUIDで識別できるという問題を修正します。

拡張

- RHEL9.0のサポートの追加。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 3200 Persistent Memory Kit
- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 3200 Persistent Memory Kit
- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 3200 Persistent Memory Kit

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Gen10サーバー上のインテルOptane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン:1.2.0.5446 (C) **(推奨)**

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-1.2.0.5446-3.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-1.2.0.5446-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、インテルOptane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン 1.2.0.5446が含まれています

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

改良点:

- RHEL9.0のサポートの追加。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

オンラインフラッシュコンポーネントfor Microsoft Windows x64 - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン:1.04 (B) (オプション)

ファイル名: cp048495.compsig; cp048495.exe

拡張

- Microsoft Windows 2022のサポートの追加

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Gen10 Plusサーバー上のインテルOptane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン:2.2.0.1553 (C) (推奨)

ファイル名: cp053537.compsig; cp053537.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、インテルOptane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン2.2.0.1553が含まれています

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

この製品は、インテルOptane DC パーシステント・メモリーの3つの異なる容量が3つの個別のデバイスGUIDで識別できるという問題を修正します。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 3200 Persistent Memory Kit
- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 3200 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 3200 Persistent Memory Kit

オンラインフラッシュコンポーネントfor Microsoft Windows x64 - HPE Gen10サーバー上のインテルOptane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン:1.2.0.5446 (B) (推奨)

ファイル名: cp053237.compsig; cp053237.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、インテルOptane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5446が含まれています

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートの追加

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- インテルOptane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク

[先頭](#)

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ

バージョン:HPK4 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ

バージョン:HPK4 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン:HPK4 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - ET000750KWJTF、E0000750KWTXC、およびE0000375KWJUCドライブ

バージョン:4ICSHPK4 (E) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c4355d15c4-4ICSHPK4-5.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c4355d15c4-4ICSHPK4-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン:GPK5 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6fc985bd3b-GPK5-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6fc985bd3b-GPK5-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMeSSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- KCM6FRUL1T92、KCM6FRUL3T84、KCM6FVUL1T60、およびKCM6FVUL3T20ドライブ

バージョン:GPK3 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a541ed00d-GPK3-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a541ed00d-GPK3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - KCM6XVUL800G、KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン:GPK5 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3815d4b024-GPK5-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3815d4b024-GPK5-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン:HPK4 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFP、およびVK007680KWWFQドライブ

バージョン:HPK3 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-54addf5312-HPK3-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-54addf5312-HPK3-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ

バージョン:HPK3 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK3-5.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ

バージョン:HPK6 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95b6ae2e85-HPK6-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95b6ae2e85-HPK6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- メインの修正はセキュアブート(オプションROM)ILOエラーに関するものであり、クリティカルな修正は、MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に関するものです。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHAD、およびMT006400KWHAEドライブ

バージョン:HPK2 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPK2-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPK2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン:EPK76H3Q (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6628fce235-EPK76H3Q-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6628fce235-EPK76H3Q-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MZXL5800HBHQ-000H3、MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-000H3ドライブ

バージョン:MPK76H5Q (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e320db791d-MPK76H5Q-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e320db791d-MPK76H5Q-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960KWUEA、VO001920KWUEB、VO003840KWUEC、VO007680KWUED、VO015360KWUEE、MO000800KWUDR、MO001600KWUDT、MO003200KWUDU、MO006400KWUDVドライブ

バージョン:HPK2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-726d5ec795-HPK2-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-726d5ec795-HPK2-1.1.x86_64.rpm

修正

- BIOS RSODの問題の修正

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960KWVBR、VO001920KWVBT、およびVO003840KWVBUドライブ

バージョン:HPK2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a9843986b0-HPK2-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a9843986b0-HPK2-1.1.x86_64.rpm

修正

- BIOS RSODの問題の修正

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン:HPK3 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-035a863453-HPK3-5.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-035a863453-HPK3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン:4ICDHPK1 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-4ICDHPK1-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-4ICDHPK1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン:HPK3 (E) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fe9c474847-HPK3-5.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fe9c474847-HPK3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ

バージョン:HPK6 (B) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2af7385a1e-HPK6-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2af7385a1e-HPK6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- メインの修正はセキュアブート(オプションROM)ILOエラーに関するものであり、クリティカルな修正は、MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に関するものです。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン:4ICRHPK3 (E) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-92d876cfea-4ICRHPK3-5.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-92d876cfea-4ICRHPK3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン:HPK4 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KXALB、VS003840KWXFQ、VS001920KWAFP、およびVS000960KWAFNドライブ

バージョン:85032G00 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-805abb7e9c-85032G00-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-805abb7e9c-85032G00-3.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

Linux(x64)用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント - MZXLR800HBHQ-000H3、MZXLR1T6HBJR-000H3、MZXLR3T2HBLS-000H3、MZXLR6T4HALA-000H3、MZXLR12THALA-000H3、MZXLR960HBHQ-000H3、MZXLR1T9HBJR-000H3、MZXLR3T8HBLS-000H3、MZXLR7T6HALA-000H3、MZXLR15THALA-000H3ドライブ

バージョン:MPK7625Q (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-951aefd63e-MPK7625Q-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-951aefd63e-MPK7625Q-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000400KWDUK、VK000480KWDFE、MK000800KWDFL、VK000960KWDFU、MK001600KWDFN、およびVK001920KWDFHドライブ

バージョン:HPK4 (H) (推奨)

ファイル名: CP052913.compsig; CP052913.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ

バージョン:HPK6 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP053212.compsig; CP053212.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- メインの修正はセキュアブート(オプションROM)ILOエラーに関するものであり、クリティカルな修正は、MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に関するものです。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUUおよびMT1600KEXUVドライブ

バージョン:HPK4 (F) (**推奨**)

ファイル名: CP052911.compsig; CP052911.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MT001600KWHAC、MT003200KWHADおよびMT006400KWHAEドライブ

バージョン:HPK2 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP051649.compsig; CP051649.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware ESXi 7.0 U3サポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960KWUEA、

VO001920KWUEB、VO003840KWUEC、VO007680KWUED、VO015360KWUEE、MO000800KWUDR、MO001600KWUDT、MO003200KWUDU、MO006400KWUDVドライブ

バージョン:HPK2 (推奨)

ファイル名: CP053356.compsig; CP053356.zip

修正

- BIOS RSODの問題の修正

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960KWVBR、VO001920KWVBT、およびVO003840KWVBUドライブ

バージョン:HPK2 (推奨)

ファイル名: CP053348.compsig; CP053348.zip

修正

- BIOS RSODの問題の修正

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン:HPK3 (C) (推奨)

ファイル名: CP052917.compsig; CP052917.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ

バージョン:HPK6 (B) (推奨)

ファイル名: CP053210.compsig; CP053210.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- メインの修正はセキュアブート(オプションROM)ILOエラーに関するものであり、クリティカルな修正は、MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に関するものです。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

VMware ESXi用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン:HPK4 (F) (推奨)

ファイル名: CP052914.compsig; CP052914.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - ET000750KWJTF、E0000750KWTXC、およびE0000375KWJUCドライブ

バージョン:4ICSHPK4 (C) (推奨)

ファイル名: CP052920.compsig; CP052920.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン:GPK5 (B) (推奨)

ファイル名: CP053199.compsig; CP053199.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - KCM6FRUL1T92、KCM6FRUL3T84、KCM6FVUL1T60、およびKCM6FVUL3T20ドライブ

バージョン:GPK3 (B) (推奨)

ファイル名: CP053201.compsig; CP053201.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - KCM6XVUL800G、KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン:GPK5 (B) (推奨)

ファイル名: CP053200.compsig; CP053200.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン:HPK4 (F) **(推奨)**

ファイル名: CP052632.compsig; CP052632.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFPおよびVK007860KWWFQドライブ

バージョン:HPK3 (D) **(推奨)**

ファイル名: CP052918.compsig; CP052918.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC およびMT006400KWSTDドライブ

バージョン:HPK3 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP052915.compsig; CP052915.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン:EPK76H3Q (B) **(推奨)**

ファイル名: CP053211.compsig; CP053211.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MZXL5800HBHQ-000H3、MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-000H3ドライブ

バージョン:MPK76H5Q (B) (推奨)

ファイル名: CP053208.compsig; CP053208.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

VMware ESXi用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント - MZXLR800HBHQ-000H3、MZXLR1T6HBJR-000H3、MZXLR3T2HBLS-000H3、MZXLR6T4HALA-000H3、MZXLR12THALA-000H3、MZXLR960HBHQ-000H3、MZXLR1T9HBJR-000H3、MZXLR3T8HBLS-000H3、MZXLR7T6HALA-000H3、MZXLR15THALA-000H3ドライブ

バージョン:MPK7625Q (B) (推奨)

ファイル名: CP053209.compsig; CP053209.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン:HPK3 (C) (推奨)

ファイル名: CP053460.compsig; CP053460.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン:4ICDHPK1 (C) (推奨)

ファイル名: CP052916.compsig; CP052916.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン:4ICRHPK3 (C) (推奨)

ファイル名: CP052919.compsig; CP052919.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン:HPK4 (F) (推奨)

ファイル名: CP052912.compsig; CP052912.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VS000480KXALB、VS000960KWXFN、VS001920KWAFP、およびVS003840KWAFXQドライブ

バージョン:85032G00 (推奨)

ファイル名: CP049351.compsig; CP049351.zip

修正

- FWベースのVPDを実装します。
- ARP設定を"対応検出可能"から"修正済み検出可能"に変更しました。
- クリティカルな変数が適切に初期化されるように、フォアグラウンドメディアスキャン(FMS)アルゴリズムを微調整しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ

バージョン:HPK4 (E) (推奨)

ファイル名: cp053011.compsig; cp053011.exe; cp053011.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ

バージョン:HPK4 (E) (推奨)

ファイル名: cp052112.compsig; cp052112.exe; cp052112.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHADおよびMT006400KWHAEドライブ

バージョン:HPK2 (B) (推奨)

ファイル名: cp053105.compsig; cp053105.exe; cp053105.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -

VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、および

MS000800KWDUTドライブ

バージョン:HPK4 (E) (推奨)

ファイル名: cp053012.compsig; cp053012.exe; cp053012.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - ET000750KWJTF、E0000750KWTXCおよびE0000375KWJUCドライブ

バージョン:4ICSHPK4 (C) (推奨)

ファイル名: cp052729.compsig; cp052729.exe; cp052729.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン:GPK5 (B) (推奨)

ファイル名: cp052790.compsig; cp052790.exe; cp052790.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMeSSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- KCM6FRUL1T92、KCM6FRUL3T84、KCM6FVUL1T60、およびKCM6FVUL3T20ドライブ

バージョン:GPK3 (B) (推奨)

ファイル名: cp052789.compsig; cp052789.exe; cp052789.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - KCM6XVUL800G、

KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、 KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン:GPK5 (B) (推奨)

ファイル名: cp052791.compsig; cp052791.exe; cp052791.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - LO0400KEFJQ、 LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、お よびLT2000KEXVCドライブ

バージョン:HPK4 (E) (推奨)

ファイル名: cp052111.compsig; cp052111.exe; cp052111.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、 VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFP、および VK007680KWWFQドライブ

バージョン:HPK3 (D) (推奨)

ファイル名: cp052108.compsig; cp052108.exe; cp052108.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、 MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ

バージョン:HPK3 (C) (推奨)

ファイル名: cp053013.compsig; cp053013.exe; cp053013.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
-

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWZQP およびMO003200KWZQQドライブ

バージョン:HPK6 (B) (推奨)

ファイル名: cp053101.compsig; cp053101.exe; cp053101.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- メインの修正はセキュアブート(オプションROM)ILOエラーに関するものであり、クリティカルな修正は、MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に関するものです。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMeSSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン:EPK76H3Q (B) (推奨)

ファイル名: cp052105.compsig; cp052105.exe; cp052105.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MZXL5800HBHQ-000H3、MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-000H3ドライブ

バージョン:MPK76H5Q (B) (推奨)

ファイル名: cp052109.compsig; cp052109.exe; cp052109.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。

- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

Windows(x64)用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント - MZXLR800HBHQ-000H3、MZXLR1T6HBJR-000H3、MZXLR3T2HBL5-000H3、MZXLR6T4HALA-000H3、MZXLR12THALA-000H3、MZXLR960HBHQ-000H3、MZXLR1T9HBJR-000H3、MZXLR3T8HBL5-000H3、MZXLR7T6HALA-000H3、MZXLR15THALA-0ドライブ

バージョン:MPK7625Q (B) **(推奨)**

ファイル名: cp053100.compsig; cp053100.exe; cp053100.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に対するクリティカルな修正が含まれています。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960KWUEA、VO001920KWUEB、VO003840KWUEC、VO007680KWUED、VO015360KWUEE、MO000800KWUDR、MO001600KWUDT、MO003200KWUDU、MO006400KWUDVドライブ

バージョン:HPK2 **(推奨)**

ファイル名: cp053357.compsig; cp053357.exe; cp053357.md5

修正

- BIOS RSODの問題の修正

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960KWVBR、VO001920KWVBT、およびVO003840KWVBUドライブ

バージョン:HPK2 **(推奨)**

ファイル名: cp053354.compsig; cp053354.exe; cp053354.md5

修正

- BIOS RSODの問題の修正

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン:HPK3 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052783.compsig; cp052783.exe; cp052783.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン:4ICDHPK1 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052106.compsig; cp052106.exe; cp052106.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン:HPK3 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052107.compsig; cp052107.exe; cp052107.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001920KWZQR およびVO003840KWZQTドライブ

バージョン:HPK6 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp053102.compsig; cp053102.exe; cp053102.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- メインの修正はセキュアブート(オプションROM)ILOエラーに関するものであり、クリティカルな修正は、MIコマンド完了の送信に失敗すると電源再投入までドライブが0GBを報告する可能性がある問題に関するものです。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00123725en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
-

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン:4ICRHPK3 (C) (推奨)

ファイル名: cp052731.compsig; cp052731.exe; cp052731.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン:HPK4 (E) (推奨)

ファイル名: cp053010.compsig; cp053010.exe; cp053010.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VS000480KXALB、VS003840KWXFQ、VS001920KWXFP、およびVS000960KWXFNドライブ

バージョン:85032G00 (B) (推奨)

ファイル名: cp050167.compsig; cp050167.exe; cp050167.md5

修正

- FWベースのVPDを実装します。
- ARP設定を"対応検出可能"から"修正済み検出可能"に変更しました。
- クリティカルな変数が適切に初期化されるように、フォアグラウンドメディアスキャン(FMS)アルゴリズムを微調整しました。

ファームウェア - パワーマネジメント

先頭

オンラインROMフラッシュ for Linux - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン:1.0.8 (B) (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-powerpic-gen10-1.0.8-2.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-powerpic-gen10-1.0.8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver 1.0.8(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.8と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.8にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

リリースバージョン:

1.0.8

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Proliant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

HPE Gen10サーバーでは、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.40およびシステムROMバージョン1.20以降が必要です。

修正

重要な注意:

Ver 1.0.8(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.8と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.8にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Proliant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - アドバンスド消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン:1.0.8 (B) (推奨)

ファイル名: cp053641.compsig; cp053641.exe

重要な注意!

重要な注意:

Ver 1.0.8(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.8と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.8にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー用アドバンスド消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア

リリースバージョン:

1.0.8

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

ProLiant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

HPE Gen10サーバーでは、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.40およびシステムROMバージョン1.20以降が必要です。

改良点:

重要な注意:

Ver 1.0.8(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.8と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.8にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

ProLiant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュパッケージ - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン:1.0.8 (B) (推奨)

ファイル名: PICGen10-1.0.8-1.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 1.0.8(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.8と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.8にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー用アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア

リリースバージョン:

1.0.8

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Proliant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10サーバーでは、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.40およびシステムROMバージョン1.20以降が必要です。

修正**重要な注意:**

Ver 1.0.8(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.8と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.8にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

ProLiant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

ファームウェア - SASストレージ ディスク

[先頭](#)

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWBHRドライブ

バージョン:HPD5 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD5-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWFVBドライブ

バージョン:HPD3 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD3-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG000600JWEBHおよび

びEG000300JWEBFドライブ

バージョン:HPD5 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aa9e289524-HPD5-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aa9e289524-HPD5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン:HPD4 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD4-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWJNP、EG001200JWJNQ、およびEG001200MXJQUドライブ

バージョン:HPD6 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD6-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のす

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWJNR、EG002400JWJNT、およびEG002400MXJQTドライブ

バージョン:HPD8 (C) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD8-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD8-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKBおよびEG1200JETKCドライブ

バージョン:HPD8 (D) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD8-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン:HPD7 (F) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-6.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - E000400JWDKP、E000800JWDKQ、E001600JWDKR、MO00400JWDKU、MO00800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ

バージョン:HPD2 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVP ドライブ

バージョン:HPD4 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD4-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン:HPD4 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD4-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン:HPD4 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン:HPDA **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPDA-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPDA-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- ファームウェアはホットプラグの報告に関する問題に対処します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン:HPD3 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD3-5.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、MO006400JWTCB、EO000400JWTBV、EO000800JWTCB、EO001600JWTCBドライブ

バージョン:HPD9 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD9-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン:HPD5 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD5-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD5-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン:HPD4 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD4-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン:HPD5 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD5-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD5-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPH、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン:HPD2 (J) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン:HPD5 (K) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-11.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン:HPD6 (K) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-11.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン:HPD6 (K) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-11.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン:HPD5 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-10.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JFHHMドライブ

バージョン:HPD8 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD8-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPLおよびEH000900JWCPNドライブ

バージョン:HPD8 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD8-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD8-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン:HPDA (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPDA-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPDA-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン:HPD7 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD7-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD7-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン:HPD7 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD7-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD7-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDXBA、EH0450JDXBBおよびEH0600JDXBCドライブ

バージョン:HPD5 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTKおよびEH0600JDYTLドライブ

バージョン:HPD6 (K) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-11.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHDおよびEH0600JEDHEドライブ

バージョン:HPD4 (K) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-11.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン:HPD7 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EO000400PXDBQ、EO000800PXDCK、EO001600PXDCH、MO000800PXDBP、MO001600PXDCC、MO003200PXDCCD、MO006400PXDCE、VO000960PXDBN、VO001920PXDBR、VO003840PXDBT、VO007680PXDBU、およびVO015300PXDBVドライブ

バージョン:HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-42aff4675b-HPD3-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-42aff4675b-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000JYDNEおよびMB004000JYDPBドライブ

バージョン:HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d4be2aecbb-HPD2-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d4be2aecbb-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のす

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWKGU ドライブ

バージョン:HPD2 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD2-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB004000JWWQBおよびMB002000JWWQAドライブ

バージョン:HPD7 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD7-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000JWKGN ドライブ

バージョン:HPD2 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD2-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000JYDNFおよびMB008000JYDPCドライブ

バージョン:HPD2 (B) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04df66fe9-HPD2-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04df66fe9-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRPドライブ

バージョン:HPD9 (D) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD9-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン:HPD2 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD2-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン:HPD7 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD7-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン:HPD6 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD6-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD6-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB01000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、およびMB016000JWZHEドライブ

バージョン:HPD2 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cf0b6cabe1-HPD2-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cf0b6cabe1-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000JWDFDドライブ

バージョン:HPD3 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD3-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン:HPD2 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-8.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFC ドライブ

バージョン:HPD8 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4ba9615f90-HPD8-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4ba9615f90-HPD8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWUDBドライブ

バージョン:HPD3 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD3-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000JWXKHドライブ

バージョン:HPD9 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a0371a425-HPD9-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a0371a425-HPD9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000JXLBAおよびMB018000JXLAUドライブ

バージョン:HPD2 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d550523365-HPD2-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d550523365-HPD2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000JVYZL、

MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン:HPD3 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-8.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン:HPD4 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン:HPD6 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン:HPD5 (J) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-10.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン:HPD9 (J) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-10.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン:HPDB (J) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-10.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン:HPD9 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JEQUVおよびMB8000JEQVAドライブ

バージョン:HPDB (J) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-10.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYYVドライブ

バージョン:HPD2 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000JFECQドライブ

バージョン:HPD7 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-9.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JFJTHドライブ

バージョン:HPD5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD5-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- ファームウェアはホットプラグの報告に関する問題に対処します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWUおよびMO003840JWFWVドライブ

バージョン:HPD5 (G) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-7.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MO000800JXBEB、MO001600JXBFP、MO003200JXBFQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFB、EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン:HPD1 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24384980ec-HPD1-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24384980ec-HPD1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン:HPD3 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン:HPD9 (F) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-6.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) -VK000960JWSSQ、VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン:HPD8 (G) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-7.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0400JEABD、VK0800JEABEおよびVO1600JEABFドライブ

バージョン:HPD4 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a7ecf7465-HPD4-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a7ecf7465-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン:HPD8 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-6.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン:HPD4 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a07a420ed1-HPD4-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a07a420ed1-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン:HPD4 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-35fd24601f-HPD4-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-35fd24601f-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン:HPD6 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD6-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO003840XZCLT、VO007680XZCMB、MO000800XZCLQおよびMO001600XZCLVドライブ

バージョン:HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f501d6cf1-HPD2-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f501d6cf1-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン:HPD8 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-6.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン:HPD9 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-6.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン:HPD3 (J) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWBHRドライブ

バージョン:HPD5 (C) (**推奨**)

ファイル名: CP052922.compsig; CP052922.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWFVBドライブ

バージョン:HPD3 (C) (**推奨**)

ファイル名: CP052921.compsig; CP052921.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン:HPD5 (C) (**推奨**)

ファイル名: CP053463.compsig; CP053463.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン:HPD4 (C) (**推奨**)

ファイル名: CP052929.compsig; CP052929.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000600JWJNP、EG001200JWJNQ、およびEG001200MXJQUドライブ

バージョン:HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: CP053197.compsig; CP053197.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG001800JWJNR、EG002400JWJNT、およびEG002400MXJQTドライブ

バージョン:HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: CP053196.compsig; CP053196.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン:HPD8 (C) (推奨)

ファイル名: CP052990.compsig; CP052990.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のす

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン:HPD7 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053447.compsig; CP053447.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン:HPD7 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP051647.compsig; CP051647.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0600JDYTNドライブ

バージョン:HPD7 (I) **(推奨)**

ファイル名: CP053145.compsig; CP053145.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - E0000400JWDKP、E0000800JWDKQ、E0001600JWDKR、M0000400JWDKU、M0000800JWDKV、M0001600JWDLA および M0003200JWDLBドライブ

バージョン:HPD2 (G) **(推奨)**

ファイル名: CP053147.compsig; CP053147.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - E0000400PXDBQ、E0000800PXDCK、E0001600PXDCH、M0000800PXDBP、M0001600PXDCC、M0003200PXDCE、M0006400PXDCE、V0000960PXDBN、V0001920PXDBR、V0003840PXDBT、V0007680PXDBU、およびV0015300PXDBVドライブ

バージョン:HPD3 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP053206.compsig; CP053206.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVPドライブ

バージョン:HPD4 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053152.compsig; CP053152.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB002000JYDNEおよびMB004000JYDPBドライブ

バージョン:HPD2 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP053214.compsig; CP053214.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン:HPD4 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053154.compsig; CP053154.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000JYDNFおよびMB008000JYDPCドライブ

バージョン:HPD2 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP053213.compsig; CP053213.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000GWZGT、MB012000GWZGU、MB014000GWZGV、およびMB016000GWZHDドライブ

バージョン:HPG1 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP053217.compsig; CP053217.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000GYDKP、MB012000GYCJL、MB014000GYCJT、MB016000GYDKQ、およびMB018000GYDKRドライブ

バージョン:HPG1 (推奨)

ファイル名: CP052414.compsig; CP052414.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、およびMB016000JWZHEドライブ

バージョン:HPD2 (C) (推奨)

ファイル名: CP053338.compsig; CP053338.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000JWDFDドライブ

バージョン:HPD3 (C) (推奨)

ファイル名: CP053298.compsig; CP053298.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン:HPD6 (J) (推奨)

ファイル名: CP053271.compsig; CP053271.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン:HPDB (J) (推奨)

ファイル名: CP053276.compsig; CP053276.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000JEQUV およびMB8000JEQVAドライブ

バージョン:HPDB (J) (推奨)

ファイル名: CP053281.compsig; CP053281.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン:HPD4 (H) **(推奨)**

ファイル名: CP053283.compsig; CP053283.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン:HPDA **(推奨)**

ファイル名: CP052066.compsig; CP052066.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- ファームウェアはホットプラグの報告に関する問題に対処します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000JFJTHドライブ

バージョン:HPD5 **(推奨)**

ファイル名: CP052071.compsig; CP052071.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- ファームウェアはホットプラグの報告に関する問題に対処します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン:HPD3 (D) **(推奨)**

ファイル名: CP053290.compsig; CP053290.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、MO006400JWTCB、EO000400JWTBV、EO000800JWTCB、EO001600JWTCB ドライブ

バージョン:HPD9 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053540.compsig; CP053540.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO003840XZCLT、VO007680XZCMB、MO000800XZCLQおよびMO001600XZCLVドライブ

バージョン:HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: CP053207.compsig; CP053207.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン:HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: CP053474.compsig; CP053474.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG001800JWFVC ライブ

バージョン:HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: CP052942.compsig; CP052942.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン:HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: CP053471.compsig; CP053471.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPH、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン:HPD2 (J) (推奨)

ファイル名: CP052946.compsig; CP052946.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン:HPD5 (K) (推奨)

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン:HPD6 (J) **(推奨)**

ファイル名: CP052983.compsig; CP052983.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEHMDドライブ

バージョン:HPD6 (K) **(推奨)**

ファイル名: CP052994.compsig; CP052994.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEMDBドライブ

バージョン:HPD5 (J) (推奨)

ファイル名: CP053000.compsig; CP053000.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JFHMHドライブ

バージョン:HPD8 (C) (推奨)

ファイル名: CP053003.compsig; CP053003.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン:HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: CP053123.compsig; CP053123.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン:HPDA (B) (**推奨**)

ファイル名: CP053194.compsig; CP053194.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン:HPD5 (J) (**推奨**)

ファイル名: CP053006.compsig; CP053006.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン:HPD6 (K) (**推奨**)

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン:HPD4 (K) **(推奨)**

ファイル名: CP053144.compsig; CP053144.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン:HPD7 (E) **(推奨)**

ファイル名: CP053325.compsig; CP053325.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWKGUドライブ

バージョン:HPD2 (C) (推奨)

ファイル名: CP053155.compsig; CP053155.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWWQBおよびMB002000JWWQAドライブ

バージョン:HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: CP053204.compsig; CP053204.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000JWKGNドライブ

バージョン:HPD2 (C) (推奨)

ファイル名: CP053158.compsig; CP053158.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRP ドライブ

バージョン:HPD9 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053339.compsig; CP053339.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン:HPD2 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053160.compsig; CP053160.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン:HPD7 (B) **(推奨)**

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン:HPD6 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053170.compsig; CP053170.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFCドライブ

バージョン:HPD8 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053340.compsig; CP053340.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000JWUDB ドライブ

バージョン:HPD3 (C) (推奨)

ファイル名: CP053247.compsig; CP053247.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000JWXKHドライブ

バージョン:HPD9 (C) (推奨)

ファイル名: CP053341.compsig; CP053341.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000JXLBAおよびMB018000JXLAUドライブ

バージョン:HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: CP053455.compsig; CP053455.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン:HPD3 (G) **(推奨)**

ファイル名: CP053249.compsig; CP053249.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン:HPD4 (J) **(推奨)**

ファイル名: CP053263.compsig; CP053263.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン:HPD5 (J) **(推奨)**

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン:HPD9 (J) **(推奨)**

ファイル名: CP053275.compsig; CP053275.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン:HPD9 (G) **(推奨)**

ファイル名: CP053277.compsig; CP053277.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYYVドライブ

バージョン:HPD2 (J) (推奨)

ファイル名: CP053282.compsig; CP053282.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000JFECQドライブ

バージョン:HPD7 (I) (推奨)

ファイル名: CP053285.compsig; CP053285.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWU、およびMO003840JWFWVドライブ

バージョン:HPD5 (G) (推奨)

ファイル名: CP053289.compsig; CP053289.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000800JXBEV、MO001600JXBFP、MO003200JXBFQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFV、EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン:HPD1 (C) (**推奨**)

ファイル名: CP053541.compsig; CP053541.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPEおよびEO0800JEFPFドライブ

バージョン:HPD3 (J) (**推奨**)

ファイル名: CP053291.compsig; CP053291.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン:HPD9 (E) (推奨)

ファイル名: CP053330.compsig; CP053330.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -VK000960JWSSQ、VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン:HPD8 (F) (推奨)

ファイル名: CP053333.compsig; CP053333.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VK0400JEABD、VK0800JEABE、およびVO1600JEABFドライブ

バージョン:HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: CP053542.compsig; CP053542.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のす

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン:HPD8 (H) **(推奨)**

ファイル名: CP053332.compsig; CP053332.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン:HPD4 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053336.compsig; CP053336.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン:HPD4 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053337.compsig; CP053337.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン:HPD6 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP053466.compsig; CP053466.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン:HPD8 (F) (**推奨**)

ファイル名: CP053320.compsig; CP053320.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン:HPD9 (E) (推奨)

ファイル名: CP053329.compsig; CP053329.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO1920JEUQQドライブ

バージョン:HPD3 (J) (推奨)

ファイル名: CP053321.compsig; CP053321.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for ESXi - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン:HPD2 (G) (推奨)

ファイル名: CP053246.compsig; CP053246.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWBHRドライブ

バージョン:HPD5 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052733.compsig; cp052733.exe; cp052733.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWFVBドライブ

バージョン:HPD3 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052732.compsig; cp052732.exe; cp052732.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン:HPD5 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp052786.compsig; cp052786.exe; cp052786.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、潜在的な信頼性の懸念を軽減します。
- このファームウェアは、新しいシーケリカバリメカニズムを適用して、レベルダウン状態を改善し、メディアエラーの発生を大幅に削減しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン:HPD5 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp052784.compsig; cp052784.exe; cp052784.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン:HPD4 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp052734.compsig; cp052734.exe; cp052734.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWJNP、EG001200JWJNQ、およびEG001200MXJQUドライブ

バージョン:HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: cp052794.compsig; cp052794.exe; cp052794.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン:HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: cp052735.compsig; cp052735.exe; cp052735.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン:HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: cp052787.compsig; cp052787.exe; cp052787.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のす

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、潜在的な信頼性の懸念を軽減します。
- このファームウェアは、新しいシークリカバリメカニズムを適用して、レベルダウン状態を改善し、メディアエラーの発生を大幅に削減しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNR、EG002400JWJNT、およびEG002400MXJQTドライブ

バージョン:HPD8 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp052795.compsig; cp052795.exe; cp052795.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FC SPL、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン:HPD2 (H) **(推奨)**

ファイル名: cp053014.compsig; cp053014.exe; cp053014.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン:HPD5 (I) **(推奨)**

ファイル名: cp053015.compsig; cp053015.exe; cp053015.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン:HPD6 (H) **(推奨)**

ファイル名: cp052736.compsig; cp052736.exe; cp052736.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン:HPD8 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052737.compsig; cp052737.exe; cp052737.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン:HPD6 (I) (推奨)

ファイル名: cp053016.compsig; cp053016.exe; cp053016.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン:HPD5 (H) (推奨)

ファイル名: cp052738.compsig; cp052738.exe; cp052738.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JFHMHドライブ

バージョン:HPD8 (C) (推奨)

ファイル名: cp052740.compsig; cp052740.exe; cp052740.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン:HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: cp052796.compsig; cp052796.exe; cp052796.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアはホットプラグの報告に関する問題に対処します

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン:HPDA (B) (推奨)

ファイル名: cp052797.compsig; cp052797.exe; cp052797.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン:HPD7 (C) (推奨)

ファイル名: cp052777.compsig; cp052777.exe; cp052777.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン:HPD7 (C) (推奨)

ファイル名: cp052778.compsig; cp052778.exe; cp052778.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン:HPD5 (H) (推奨)

ファイル名: cp053017.compsig; cp053017.exe; cp053017.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン:HPD6 (I) (推奨)

ファイル名: cp053018.compsig; cp053018.exe; cp053018.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン:HPD4 (J) (**推奨**)

ファイル名: cp053019.compsig; cp053019.exe; cp053019.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン:HPD7 (G) (**推奨**)

ファイル名: cp053020.compsig; cp053020.exe; cp053020.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン:HPD7 (E) (推奨)

ファイル名: cp053091.compsig; cp053091.exe; cp053091.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ

バージョン:HPD2 (F) (推奨)

ファイル名: cp053022.compsig; cp053022.exe; cp053022.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EO000400PXDBQ、EO000800PXDCK、EO001600PXDCH、MO000800PXDBP、MO001600PXDCC、MO003200PXDCE、MO006400PXDCE、VO000960PXDBN、VO001920PXDBR、VO003840PXDBT、VO007680PXDBU、およびVO015300PXDBVドライブ

バージョン:HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: cp052792.compsig; cp052792.exe; cp052792.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB002000JWFVN およびMB004000JWFVPドライブ

バージョン:HPD4 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052744.compsig; cp052744.exe; cp052744.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB002000JYDNEお よびMB004000JYDPBドライブ

バージョン:HPD2 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp052802.compsig; cp052802.exe; cp052802.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWFVKお よびMB006000JWFVLドライブ

バージョン:HPD4 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052743.compsig; cp052743.exe; cp052743.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000JWKGU ドライブ

バージョン:HPD2 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp052742.compsig; cp052742.exe; cp052742.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000JWWQB およびMB002000JWWQAドライブ

バージョン:HPD7 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp052800.compsig; cp052800.exe; cp052800.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB006000JWKGNDライブ

バージョン:HPD2 (C) (推奨)

ファイル名: cp052741.compsig; cp052741.exe; cp052741.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB006000JYDNFおよびMB008000JYDPCドライブ

バージョン:HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: cp052801.compsig; cp052801.exe; cp052801.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRPドライブ

バージョン:HPD9 (C) (推奨)

ファイル名: cp052773.compsig; cp052773.exe; cp052773.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン:HPD2 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp052747.compsig; cp052747.exe; cp052747.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWWQP およびMB006000JWWQNドライブ

バージョン:HPD7 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp052799.compsig; cp052799.exe; cp052799.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB010000GWZGT、MB012000GWZGU、MB014000GWZGV、および MB016000GWZHDドライブ

バージョン:HPG1 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp052803.compsig; cp052803.exe; cp052803.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB010000GYDKP、MB012000GYCJL、MB014000GYCJT、MB016000GYDKQ、およびMB018000GYDKR ドライブ

バージョン: HPG1 (**推奨**)

ファイル名: cp052419.compsig; cp052419.exe; cp052419.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD6 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp053026.compsig; cp053026.exe; cp053026.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -

MB010000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、および

MB016000JWZHEドライブ

バージョン:HPD2 (C) (推奨)

ファイル名: cp052768.compsig; cp052768.exe; cp052768.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000JWDFD ドライブ

バージョン:HPD3 (C) (推奨)

ファイル名: cp052746.compsig; cp052746.exe; cp052746.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン:HPD2 (F) (推奨)

ファイル名: cp053028.compsig; cp053028.exe; cp053028.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFCドライブ

バージョン:HPD8 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052774.compsig; cp052774.exe; cp052774.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWUDBドライブ

バージョン:HPD3 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052756.compsig; cp052756.exe; cp052756.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000JWXKHドライブ

バージョン:HPD9 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052775.compsig; cp052775.exe; cp052775.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされ

ていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000JXLBAおよび MB018000JXLAUドライブ

バージョン:HPD2 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp052781.compsig; cp052781.exe; cp052781.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン:HPD3 (F) (**推奨**)

ファイル名: cp053030.compsig; cp053030.exe; cp053030.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン:HPD4 (H) (推奨)

ファイル名: cp052757.compsig; cp052757.exe; cp052757.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン:HPD6 (H) (推奨)

ファイル名: cp053033.compsig; cp053033.exe; cp053033.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン:HPD5 (H) (推奨)

ファイル名: cp053034.compsig; cp053034.exe; cp053034.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン:HPD9 (H) (推奨)

ファイル名: cp053037.compsig; cp053037.exe; cp053037.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン:HPDB (H) (推奨)

ファイル名: cp053038.compsig; cp053038.exe; cp053038.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン:HPD9 (F) (推奨)

ファイル名: cp052759.compsig; cp052759.exe; cp052759.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JEQUV およびMB8000JEQVAドライブ

バージョン:HPDB (H) **(推奨)**

ファイル名: cp053046.compsig; cp053046.exe; cp053046.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYYVドライブ

バージョン:HPD2 (H) **(推奨)**

ファイル名: cp053047.compsig; cp053047.exe; cp053047.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン:HPD4 (F) **(推奨)**

ファイル名: cp053048.compsig; cp053048.exe; cp053048.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のす

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000JFECQドライブ

バージョン:HPD7 (G) **(推奨)**

ファイル名: cp053050.compsig; cp053050.exe; cp053050.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン:HPDA **(推奨)**

ファイル名: cp052067.compsig; cp052067.exe; cp052067.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- ファームウェアはホットプラグの報告に関する問題に対処します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JFJTHドライブ

バージョン:HPD5 **(推奨)**

ファイル名: cp052072.compsig; cp052072.exe; cp052072.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- ファームウェアはホットプラグの報告に関する問題に対処します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)-

MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JFWFT、MO001920JFWFU、およびMO003840JFWFVドライブ

バージョン:HPD5 (F) **(推奨)**

ファイル名: cp053054.compsig; cp053054.exe; cp053054.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -

MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン:HPD3 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp053055.compsig; cp053055.exe; cp053055.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO000800JXBEV、MO001600JXBFP、MO003200JXBFQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、

MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFB、 EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン:HPD1 (C) (推奨)

ファイル名: cp053097.compsig; cp053097.exe; cp053097.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0200JEFNV、 MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、お よびEO0800JEFPFドライブ

バージョン:HPD3 (H) (推奨)

ファイル名: cp053073.compsig; cp053073.exe; cp053073.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0400JFFCF、 MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン:HPD9 (E) (推奨)

ファイル名: cp052099.compsig; cp052099.exe; cp052099.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000960JWSSQ、VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン:HPD8 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp052096.compsig; cp052096.exe; cp052096.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VK0400JEABD、VK0800JEABE、およびVO1600JEABFドライブ

バージョン:HPD4 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp053099.compsig; cp053099.exe; cp053099.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン:HPD8 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp052095.compsig; cp052095.exe; cp052095.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン:HPD4 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052093.compsig; cp052093.exe; cp052093.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960JWTBK、VO001920JWTL、VO003840JWTLN、VO007680JWTP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTPR、MO001600JWTPB、MO003200JWTPU、MO006400JWTPD、EO000400JWTPV、EO000800JWTPA、EO001600JWTPC ドライブ

バージョン:HPD9 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp053096.compsig; cp053096.exe; cp053096.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン:HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: cp052092.compsig; cp052092.exe; cp052092.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン:HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: cp052785.compsig; cp052785.exe; cp052785.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- PMICビジーの問題の発生確率を低減しました。
- ドライブの電源投入時のシステムデータエラーを修正しました。
- PLP操作が開始されると、4KBのアラインされていないホスト書き込み領域に対する待機中のUnmap要求がキャンセルされ、PLPを正しく完了できるようになります。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO003840XZCLT、VO007680XZCMB、MO000800XZCLQおよびMO001600XZCLVドライブ

バージョン:HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: cp052793.compsig; cp052793.exe; cp052793.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン:HPD8 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp052101.compsig; cp052101.exe; cp052101.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン:HPD9 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp052100.compsig; cp052100.exe; cp052100.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン:HPD3 (H) (推奨)

ファイル名: cp053088.compsig; cp053088.exe; cp053088.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

ファームウェア - SATAストレージ ディスク

先頭

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ

バージョン:HPG3 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-9.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン:HPG6 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-8.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のす

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GFWFKおよびMB002000GFWFLドライブ

バージョン:HPG6 (G) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-7.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン:HPG1 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-8.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン:HPG3 (J) **(オプション)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-10.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000GWKGV ドライブ

バージョン:HPG1 (G) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-7.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン:HPG5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG5-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG5-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

拡張

- HPEのお客様の現場で問題を引き起こしていた、読み書きが混在する場合のパフォーマンスの改善

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWKGRドライブ

バージョン: HPG1 (G) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-7.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWRTC ドライブ

バージョン:HPG1 (G) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-7.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン:HPG2 (F) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-6.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン:HPG5 (I) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-9.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000GWZGT、MB012000GWZGU、MB014000GWZGV、およびMB016000GWZHDドライブ

バージョン:HPG1 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7a1edae8e7-HPG1-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7a1edae8e7-HPG1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000GYDKP、MB012000GYCJL、MB014000GYCJT、MB016000GYDKQ、およびMB018000GYDKRドライブ

バージョン:HPG1 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4fbb6d96e5-HPG1-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4fbb6d96e5-HPG1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG3 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG3-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFEドライブ

バージョン: HPG7 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG7-5.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG7-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン:HPG2 (G) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-7.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000GWXKKドライブ

バージョン:HPG3 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e4f147cdd2-HPG3-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e4f147cdd2-HPG3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GDUNU、

MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (L) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-12.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-12.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG5-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLUおよびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (L) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-12.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-12.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン:HPG6 (K) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-11.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン:HPG6 (L) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-12.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-12.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン:HPGB (K) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-11.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイドコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン:HPG4 (K) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-11.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイドコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイドコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEQUUおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン:HPGB (K) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-11.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイドコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイドコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン:HPG2 (L) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-12.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-12.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYYUドライブ

バージョン:HPG2 (K) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-11.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン:HPG5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG5-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-8.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-9.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG3 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG3-5.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux(x64)- MK000480GWXFF、MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン:HPG2 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG2-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK003840GWHITEドライブ

バージョン:HPG8 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG8-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン:HPG3 (M) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-13.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-13.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドラ

- イブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン:HPG6 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG6-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM2000GEFRAドライブ

バージョン:HPG9 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG9-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG9-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン:HPGG (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGG-4.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGG-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン:HPG1 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWCFFD、VK000480GWCFFE、VK000960GWCFFF、VK001920GWCFFHおよびVK003840GWCFFKドライブ

バージョン:HPG3 (I) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-9.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン:HPGG (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGG-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGG-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPP、およびMK001920GWJPPQドライブ

バージョン:HPG5 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-8.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン:HPG4 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG4-5.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG4-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTTH、MK000960GWTTTK、MK001920GWTTTLおよびMK003840GWTTN ドライブ

バージョン:HPG6 (E) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG6-5.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG6-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GXAWE、VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、MK001920GXAWR、MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGK ドライブ

バージョン:HPG1 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f9bf23306-HPG1-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f9bf23306-HPG1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン:HPG3 (D) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG3-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ

バージョン:HPG4 (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG4-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- HPG4は、独自の保持特性に基づいてバックグラウンドメディアスキャンのトリガーしきい値の変更を実装し、障害予測への対処を支援します。
- 障害予測を報告しているドライブの場合は、HPG4にアップデートし、サーバーの電源を再投入するか、ドライブを再装着して、1回のフルメディアスキャン後(10日間)に予測障害記録をクリアしてください。HPG4のメディアスキャンは、この10日間にエラーをスクラブします。
- 障害予測を報告しないドライブの場合は、サーバーまたはドライブの電源再投入を行わずにHPG4に直接アップデートできます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00124896en_usを参照してください。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン:HPG2 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-befd42bd64-HPG2-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-befd42bd64-HPG2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000960GXCLD、VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン:HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4b4177239b-HPG3-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4b4177239b-HPG3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK003840GWSXLドライブ

バージョン:HPG3 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG3-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK007680GWSXNドライブ

バージョン:HPG3 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG3-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン:HPG1 (L) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-12.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-12.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (K) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-11.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (I) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-9.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (L) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-12.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-12.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 9のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPF、およびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (H) (推奨)

ファイル名: CP053146.compsig; CP053146.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (G) (推奨)

ファイル名: CP053148.compsig; CP053148.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB001000GFWFKおよびMB002000GFWFLドライブ

バージョン: HPG6 (G) (推奨)

ファイル名: CP053149.compsig; CP053149.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされ

ていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン:HPG1 (G) (**推奨**)

ファイル名: CP053150.compsig; CP053150.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン:HPG3 (I) (**オプション**)

ファイル名: CP053151.compsig; CP053151.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000GWKGVドライブ

バージョン:HPG1 (G) (推奨)

ファイル名: CP053153.compsig; CP053153.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン:HPG5 (推奨)

ファイル名: CP052422.compsig; CP052422.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン:HPG8 (G) (推奨)

ファイル名: CP053156.compsig; CP053156.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン:HPG5 (推奨)

ファイル名: CP053578.compsig; CP053578.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

拡張

- HPEのお客様の現場で問題を引き起こしていた、読み書きが混在する場合のパフォーマンスの改善

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWKGR ドライブ

バージョン:HPG1 (G) (推奨)

ファイル名: CP053157.compsig; CP053157.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000GWRTCドライブ

バージョン:HPG1 (G) (推奨)

ファイル名: CP053159.compsig; CP053159.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (E) (推奨)

ファイル名: CP053324.compsig; CP053324.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (H) (推奨)

ファイル名: CP053169.compsig; CP053169.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWDFEドライブ

バージョン:HPG3 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053242.compsig; CP053242.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWTFFEおよびMB014000GWTFFドライブ

バージョン:HPG7 (D) **(推奨)**

ファイル名: CP053243.compsig; CP053243.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン:HPG2 (G) **(推奨)**

ファイル名: CP053244.compsig; CP053244.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000GWUDAドライブ

バージョン:HPG2 (G) **(推奨)**

ファイル名: CP053245.compsig; CP053245.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000GWXKKドライブ

バージョン:HPG3 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053444.compsig; CP053444.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPBドライブ

バージョン: HPG4 (L) (推奨)

ファイル名: CP053248.compsig; CP053248.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: CP052428.compsig; CP052428.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVDライブ

バージョン: HPG4 (L) (推奨)

ファイル名: CP053251.compsig; CP053251.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン:HPG6 (J) (推奨)

ファイル名: CP053259.compsig; CP053259.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン:HPG6 (J) (推奨)

ファイル名: CP053273.compsig; CP053273.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン:HPGB (J) (推奨)

ファイル名: CP053274.compsig; CP053274.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEBTPドライブ

バージョン:HPG4 (J) (推奨)

ファイル名: CP053278.compsig; CP053278.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEQUUおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン:HPGB (J) (推奨)

ファイル名: CP053279.compsig; CP053279.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイドコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEXXVドライブ

バージョン:HPG2 (L) **(推奨)**

ファイル名: CP053296.compsig; CP053296.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイドコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイドコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYYUドライブ

バージョン:HPG2 (J) **(推奨)**

ファイル名: CP053280.compsig; CP053280.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイドコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイドコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYZBおよび

MB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: CP052425.compsig; CP052425.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (H) (推奨)

ファイル名: CP053284.compsig; CP053284.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFCBドライブ

バージョン: HPG3 (H) (推奨)

ファイル名: CP053288.compsig; CP053288.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSE、およびMK003840GWSSFドライブ

バージョン:HPG3 (D) **(推奨)**

ファイル名: CP053326.compsig; CP053326.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000480GWXFF、MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン:HPG2 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP053124.compsig; CP053124.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK003840GWHITEドライブ

バージョン:HPG8 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053286.compsig; CP053286.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK0960GECQKドライブ

バージョン:HPG3 (M) (推奨)

ファイル名: CP053287.compsig; CP053287.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ

バージョン:HPG6 (推奨)

ファイル名: CP052334.compsig; CP052334.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM2000GEFRAドライブ

バージョン:HPG9 (推奨)

ファイル名: CP052134.compsig; CP052134.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMFMD、MR000960GWFMFA、VR000960GWFMFE、MR001920GWFMFBおよびVR001920GWFMFCドライブ

バージョン:HPGG (C) (推奨)

ファイル名: CP051648.compsig; CP051648.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン:HPG1 (G) (推奨)

ファイル名: CP053299.compsig; CP053299.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFE、VK001920GWCFH およびVK003840GWCFK ドライブ。

バージョン:HPG3 (H) **(推奨)**

ファイル名: CP053305.compsig; CP053305.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK および MK001920GWHRU ドライブ

バージョン:HPGG (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053300.compsig; CP053300.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPQ ドライブ

バージョン:HPG5 (G) (推奨)

ファイル名: CP053331.compsig; CP053331.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン:HPG4 (D) (推奨)

ファイル名: CP053327.compsig; CP053327.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTTH、MK000960GWTTTK、MK001920GWTTTLおよびMK003840GWTTN ドライブ

バージョン:HPG6 (D) (推奨)

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GXAWE、VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、MK001920GXAWR、MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGKドライブ

バージョン: HPG1 (C) (推奨)

ファイル名: CP053452.compsig; CP053452.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: CP053312.compsig; CP053312.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ

バージョン:HPG4 (**推奨**)

ファイル名: CP053598.compsig; CP053598.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- HPG4は、独自の保持特性に基づいてバックグラウンドメディアスキャンのトリガーしきい値の変更を実装し、障害予測への対処を支援します。
- 障害予測を報告しているドライブの場合は、HPG4にアップデートし、サーバーの電源を再投入するか、ドライブを再装着して、1回のフルメディアスキャン後(10日間)に予測障害記録をクリアしてください。HPG4のメディアスキャンは、この10日間にエラーをスクラブします。
- 障害予測を報告しないドライブの場合は、サーバーまたはドライブの電源再投入を行わずにHPG4に直接アップデートできます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00124896en_usを参照してください。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン:HPG2 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP053477.compsig; CP053477.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000960GXCLD、VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン:HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP053205.compsig; CP053205.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK003840GWSXLドライブ

バージョン:HPG3 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053313.compsig; CP053313.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK007680GWSXNドライブ

バージョン:HPG3 (C) **(推奨)**

ファイル名: CP053301.compsig; CP053301.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン:HPG1 (K) (推奨)

ファイル名: CP053318.compsig; CP053318.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン:HPG1 (K) (推奨)

ファイル名: CP053319.compsig; CP053319.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン:HPG1 (H) (推奨)

ファイル名: CP053323.compsig; CP053323.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン:HPS4 (K) (推奨)

ファイル名: CP053322.compsig; CP053322.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EK000200GWEPP、EK000400GWEPE、EK000800GWEPPおよびEK001600GWEPPドライブ

バージョン:HPG3 (G) (推奨)

ファイル名: cp053021.compsig; cp053021.exe; cp053021.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWCBC およびMB002000GWCBDドライブ

バージョン:HPG6 (F) (**推奨**)

ファイル名: cp052748.compsig; cp052748.exe; cp052748.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWFVK およびMB002000GFWFLドライブ

バージョン:HPG6 (F) (**推奨**)

ファイル名: cp052767.compsig; cp052767.exe; cp052767.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GFWFAおよびMB004000GFWFBドライブ

バージョン:HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: cp052750.compsig; cp052750.exe; cp052750.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン:HPG3 (H) (オプション)

ファイル名: cp053023.compsig; cp053023.exe; cp053023.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000GWKGVドライブ

バージョン:HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: cp052751.compsig; cp052751.exe; cp052751.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: cp052423.compsig; cp052423.exe; cp052423.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBXLドライブ

バージョン: HPG8 (F) (推奨)

ファイル名: cp053024.compsig; cp053024.exe; cp053024.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: cp053577.compsig; cp053577.exe; cp053577.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

拡張

- HPEのお客様の現場で問題を引き起こしていた、読み書きが混在する場合のパフォーマンスの改善

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWKGR ドライブ

バージョン: HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: cp052752.compsig; cp052752.exe; cp052752.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWRTC ドライブ

バージョン: HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: cp052753.compsig; cp052753.exe; cp052753.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWWQU およびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (E) (推奨)

ファイル名: cp052798.compsig; cp052798.exe; cp052798.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン:HPG5 (G) **(推奨)**

ファイル名: cp053025.compsig; cp053025.exe; cp053025.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000GWDFEドライブ

バージョン:HPG3 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp052754.compsig; cp052754.exe; cp052754.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFEドライブ

バージョン:HPG7 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp052755.compsig; cp052755.exe; cp052755.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン:HPG2 (F) **(推奨)**

ファイル名: cp053027.compsig; cp053027.exe; cp053027.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン:HPG2 (F) **(推奨)**

ファイル名: cp052502.compsig; cp052502.exe; cp052502.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000GWXKK

ドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: cp052776.compsig; cp052776.exe; cp052776.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、および MB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (J) (推奨)

ファイル名: cp053029.compsig; cp053029.exe; cp053029.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: cp052429.compsig; cp052429.exe; cp052429.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (J) (推奨)

ファイル名: cp053031.compsig; cp053031.exe; cp053031.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (I) (推奨)

ファイル名: cp053032.compsig; cp053032.exe; cp053032.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (J) (推奨)

ファイル名: cp053035.compsig; cp053035.exe; cp053035.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン:HPGB (I) (推奨)

ファイル名: cp053036.compsig; cp053036.exe; cp053036.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン:HPG4 (I) (推奨)

ファイル名: cp053039.compsig; cp053039.exe; cp053039.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン:HPGB (I) (推奨)

ファイル名: cp053040.compsig; cp053040.exe; cp053040.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のす

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン:HPG2 (J) (**推奨**)

ファイル名: cp052760.compsig; cp052760.exe; cp052760.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GVYYUドライブ

バージョン:HPG2 (I) (**推奨**)

ファイル名: cp053041.compsig; cp053041.exe; cp053041.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン:HPG5 (**推奨**)

ファイル名: cp052426.compsig; cp052426.exe; cp052426.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン:HPG6 (F) **(推奨)**

ファイル名: cp053049.compsig; cp053049.exe; cp053049.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)- MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFCBドライブ

バージョン:HPG3 (G) **(推奨)**

ファイル名: cp053053.compsig; cp053053.exe; cp053053.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ

バージョン:HPG3 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp052764.compsig; cp052764.exe; cp052764.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows(x64)- MK000480GWXFF、MK000960GWXFFH、MK001920GWXFFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン:HPG2 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp052782.compsig; cp052782.exe; cp052782.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

このFWリリースは、ドライブのフォアグラウンドメディアスキャンをアクティブ化するのに十分なアイドル時間がホストシステムから提供されない場合の問題に対処する、拡張メディアスキャンアルゴリズムを展開します。これは、ドライブの長期的な信頼性を確保するために必要です。また、いくつかの軽微な問題にも対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK003840GWHITE ドライブ

バージョン:HPG8 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp053051.compsig; cp053051.exe; cp053051.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン:HPG3 (L) (**推奨**)

ファイル名: cp053052.compsig; cp053052.exe; cp053052.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン:HPG6 (**推奨**)

ファイル名: cp052336.compsig; cp052336.exe; cp052336.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM2000GEFRAドライブ

バージョン:HPG9 (**推奨**)

ファイル名: cp052135.compsig; cp052135.exe; cp052135.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

すべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- スピンアップ中に誤ったモデル番号が報告されることがある断続的に発生する問題を修正します

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン:HPGG (C) (推奨)

ファイル名: cp053076.compsig; cp053076.exe; cp053076.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン:HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: cp053077.compsig; cp053077.exe; cp053077.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFE、VK001920GWCFHおよびVK003840GWCFKドライブ

バージョン:HPG3 (G) (推奨)

ファイル名: cp053082.compsig; cp053082.exe; cp053082.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、 MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、および MK001920GWHRUドライブ

バージョン:HPGG (C) (推奨)

ファイル名: cp053080.compsig; cp053080.exe; cp053080.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWJPD、 VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、 MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPQ ドライブ

バージョン:HPG5 (F) (推奨)

ファイル名: cp053095.compsig; cp053095.exe; cp053095.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -

VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン:HPG4 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp052763.compsig; cp052763.exe; cp052763.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -

VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTTH、MK000960GWTTTK、MK001920GWTTTLおよびMK003840GWTTNドライブ

バージョン:HPG6 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp052761.compsig; cp052761.exe; cp052761.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -

VK000240GXAWA、VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、

MK001920GXAWR、MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGKドライブ

バージョン: HPG1 (C) (推奨)

ファイル名: cp052779.compsig; cp052779.exe; cp052779.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: cp053083.compsig; cp053083.exe; cp053083.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHC、およびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp053599.compsig; cp053599.exe; cp053599.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- HPG4は、独自の保持特性に基づいてバックグラウンドメディアスキャンのトリガーしきい値の変更を実装し、障害予測への対処を支援します。
- 障害予測を報告しているドライブの場合は、HPG4にアップデートし、サーバーの電源を再投入するか、ドライブを再装着して、1回のフルメディアスキャン後(10日間)に予測障害記録をクリアしてください。HPG4のメディアスキャンは、この10日間にエラーをスクラブします。
- 障害予測を報告しないドライブの場合は、サーバーまたはドライブの電源再投入を行わずにHPG4に直接アップデートできます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00124896en_usを参照してください。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) -

VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン:HPG2 (B) (推奨)

ファイル名: cp052788.compsig; cp052788.exe; cp052788.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 新しい温度センサーで新しいPCB H/Wをサポートします。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000960GXCLD、VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン:HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: cp053104.compsig; cp053104.exe; cp053104.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK003840GWSXL

ドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: cp053084.compsig; cp053084.exe; cp053084.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK007680GWSXN

ドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: cp053085.compsig; cp053085.exe; cp053085.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0120GFDKE、

VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、および

VK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (I) (推奨)

ファイル名: cp053086.compsig; cp053086.exe; cp053086.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン:HPG1 (I) (推奨)

ファイル名: cp053087.compsig; cp053087.exe; cp053087.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン:HPG1 (G) (推奨)

ファイル名: cp053090.compsig; cp053090.exe; cp053090.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン:HPS4 (I) (推奨)

ファイル名: cp053089.compsig; cp053089.exe; cp053089.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

ファームウェア - ストレージコントローラー

[先頭](#)

ファームウェアパッケージ - HPE MR216i-a Gen10 Plusトライモードコントローラー

バージョン:52.16.3-4455 (B) **(推奨)**

ファイル名: HPE_MR216i-a_Gen10P_52.16.3-4455.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、HPE MR216i-a Gen10 Plusコントローラーで使用されます。

拡張

UBM6をサポートし、SHA384で再構築します

ファームウェアパッケージ - HPE MR216i-p Gen10 Plusトライモードコントローラーwith Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン:52.16.3-4455 (B) **(推奨)**

ファイル名: HPE_MR216i-p_Gen10P_52.16.3-4455.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、HPE MR216i-p Gen10 Plusコントローラーで使用されます。

拡張

UBM6をサポートし、SHA384で再構築します

ファームウェアパッケージ - HPE MR416i-a Gen10 Plusトライモードコントローラー

バージョン:52.16.3-4455 (B) **(推奨)**

ファイル名: HPE_MR416i-a_Gen10P_52.16.3-4455.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、HPE MR416i-a Gen10 Plusコントローラーで使用されます。

拡張

UBM6をサポート

ファームウェアパッケージ - HPE MR416i-p Gen10 Plusトライモードコントローラーwith Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン:52.16.3-4455 (B) **(推奨)**

ファイル名: HPE_MR416i-p_Gen10P_52.16.3-4455.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、HPE MR416i-p Gen10 Plusコントローラーで使用されます。

拡張

UBM6をサポートし、SHA384で再構築します

ファームウェアパッケージ - HPE SR932i-p Gen10 Plus/SR416i-a Gen10 Plusコントローラー

バージョン:03.01.14.062 (推奨)

ファイル名: HPE_SR416_SR932_Gen10P_03.01.14.062.fwpkg

修正

- RAID 5ボリュームがシーケンシャルIOを書き込んでいて、IOに時間がかかり、LUNがリセットされるというパフォーマンスの問題を修正しました。
- UBM3 バックプレーンがフラッシュに失敗する問題を修正しました。
- 予測障害ドライブLE の点滅の問題を修正しました。
- システムの再起動後に、暗号化された単一ドライブ RAID 0ボリュームを再有効化すると、状態がオフラインと報告される問題を修正しました。
- ハングを引き起こす長いSATA SSD TRIMを修正しました。
- ホストがPlatformEventMessageに応答しない場合にイベントが連続して送信される問題を修正しました。
- 4Kn データドライブの使用時にRedfish Volume Createが失敗する問題を修正しました。
- NVMeドライブに連続してSCSI UNMAPコマンドを発行する際の問題を修正しました。
- 標準に準拠するように Redfish Drive.Identifiers.DurableNameをアップデートしました。
- 標準に準拠するように Redfish Volume.Identifiers.DurableNameをアップデートします。
- Redfishを2021.4スキーマ バンドルにアップデートしました。

拡張

- UBM6バックプレーンのサポート
- シーケンシャルIOの複数のストリームに対する単一のRAID ボリュームのパフォーマンスが向上しました。
- ホスト システム時間(RTC)を同期するためにSCSIタイムスタンプをドライブに送信するサポートが追加されました。
- 物理ドライブがオンラインに戻った、以前に障害が発生したボリュームを再度有効にしようとする新しい HII メニューが追加されました。
- コントローラーのパスワードがコントローラーベースの暗号化 (CBE) に設定されている場合、HII メニューにコントローラーのロック解除オプションを追加しました。
- Controller Based Encryption (CBE) をセットアップおよび構成するための新しい HII メニュー オプションが追加されました。
- 次の Redfish ACTION リクエストのサポートが追加されました。
 - Drive.SecureErase
 - Drive.Reset
 - Storage.ResetToDefaults
- 次のプロパティに対する Redfish PATCH リクエストのサポートが追加されました。
 - Volume.DisplayName
 - Volume.Links.DedicatedSpareDrives
 - Volume.IOPerfModeEnabled
 - Volume.ReadCachePolicy
 - Volume.WriteCachePolicy
 - Drive.LocationIndicatorActive
 - Drive.WriteCacheEnabled

 - StorageController.ControllerRates.ConsistencyCheckRatePercent
 - StorageController.ControllerRates.RebuildRatePercent
 - StorageController.ControllerRates.TransformationRatePercent
- 次のRedfishアラートが追加されました。
 - DriveOffline
 - DriveMissing
 - DriveOfflineCleared
 - VolumeOffline

- VolumeOfflineCleared
- BatteryMissing
- BatteryFailure
- BatteryCharging

- BatteryOK
- ControllerDegraded
- ControllerFailure
- ControllerPreviousFailure
- ControllerPasswordRequired
- ControllerPasswordEntered (将来的にControllerPasswordAcceptedに変更)

- o MaxMembersをRedfish VolumeCollectionに追加しました
- o 'NativeDriveEncryption'(SED)をRedfish Volume.EncryptionTypes に追加しました。
- o iLOインベントリコマンドをキャッシュすることにより、I/Oレイテンシの一貫性を向上

HPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュ コンポーネントfor Linux(x64)

バージョン:5.04 (E) (推奨)

ファイル名: CP048112.md5; RPMS/x86_64/firmware-d3000-5.04-5.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-d3000-5.04-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: 注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- o Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- o SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- o ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。

- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサに障害が発生すると、プロセッサを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- RHEL 7.8のサポートを追加
- RHEL 8.2のサポートを追加
- SLES15 SP2のサポートを追加しました。

サポートされるデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー
- SmartアレイP741mコントローラー

HPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)

バージョン:5.04 (E) (**推奨**)

ファイル名: CP0481111.compsig;CP0481111.md5;CP0481111.zip

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: 注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: 注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサに障害が発生すると、プロセッサを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー

HPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)

バージョン:5.04 (E) (**推奨**)

ファイル名: cp048113.compsig; cp048113.exe

重要な注意!

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告!このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、
%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、
%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

前提条件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告!このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、
%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、
%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサに障害が発生すると、プロセッサを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー
- SmartアレイP741mコントローラー

HPE D6020 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)

バージョン:2.74 (L) (**推奨**)

ファイル名: CP052326.md5; RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.74-12.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.74-12.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- RHEL 7.8のサポートを追加
- RHEL 8.2のサポートを追加
- SLES15 SP2のサポートを追加しました。

サポートされるデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー

HPE D6020 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)

バージョン:2.74 (L) (推奨)

ファイル名: CP052324.compsig;CP052324.md5;CP052324.zip

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー

HPE D6020 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)

バージョン: 2.74 (L) (推奨)

ファイル名: cp052325.compsig; cp052325.exe

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー

HPE D800012 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン:0130 (**推奨**)

ファイル名: CP051567.md5; RPMS/x86_64/firmware-d8000-0130-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-d8000-0130-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Smartアレイレポート"ストレージエンクロージャーFWアップグレードの問題が検出"されました。
- 新ベルパワーPSUを挿入したところ、PSUのバージョンが「No Ver」と表示されました。
- GEM_5_2 Coverity の不具合修正。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- RHEL 7.8のサポートを追加
- RHEL 8.2のサポートを追加
- SLES15 SP2のサポートを追加しました。

サポートされるデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます：

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

HPE D8000 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)

バージョン:0130 (推奨)

ファイル名: CP051586.compsig;CP051586.md5;CP051586.zip

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Smartアレイレポート"ストレージエンクロージャーFWアップグレードの問題が検出"されました。
- 新ベルパワー-PSUを挿入したところ、PSUのバージョンが「No Ver」と表示されました。
- GEM_5_2 Coverity の不具合修正。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます：

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

HPE D8000 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor

Windows (x64)

バージョン:0130 (推奨)

ファイル名: cp051587.compsig; cp051587.exe

重要な注意!

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告!このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、
%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、
%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

前提条件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告!このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、
%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、
%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Smartアレイレポート"ストレージエンクロージャーFWアップグレードの問題が検出"されました。
- 新ベルパワ-PSUを挿入したところ、PSUのバージョンが「No Ver」と表示されました。
- GEM_5_2 Coverity の不具合修正。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

オンラインファームウェアフラッシュfor ESXi - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10+ブートコントローラー

バージョン:1.0.14.1055 (クリティカル)

ファイル名: CP047954.compsig; CP047954.zip

重要な注意!

VMware **7.0u1**は、HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、およびNS204i-r Gen10+ブートコントローラーでサポートされています

VMware 7.0は、HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、およびNS204i-r Gen10+ブートコントローラーでサポートされていません

修正

ファームウェアは、ドライブの再構築が実行された後、NS204iアダプターカードを搭載したサーバーでRedfish読み取りが実行されると、新しいドライブでのデータチャンクの再構築をスキップする場合があります。

オンラインファームウェアフラッシュfor Linux (x64) - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10+ブートコントローラー

バージョン:1.0.14.1055 (クリティカル)

ファイル名: CP047953.md5; CP047953.scexe; deb/firmware-9041739931_1.0.14.1055-

1.1_amd64.deb;rpm/RPMS/x86_64/firmware-9041739931-1.0.14.1055-

1.1.x86_64.compsig;rpm/RPMS/x86_64/firmware-9041739931-1.0.14.1055-1.1.x86_64.rpm

修正

ファームウェアは、ドライブの再構築が実行された後、NS204iアダプターカードを搭載したサーバーでRedfish読み取りが実行されると、新しいドライブでのデータチャンクの再構築をスキップする場合があります。

オンラインファームウェアフラッシュfor Windows - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10+ブートコントローラー

バージョン:1.0.14.1055 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp049340.compsig; cp049340.exe; cp049340.md5

重要な注意!

アップグレード要件を「Critical」に設定する必要がある理由については、SID7544を参照してください。

修正

ファームウェアは、ドライブの再構築が実行された後、NS204iアダプターカードを搭載したサーバーでRedfish読み取りが実行されると、新しいドライブでのデータチャンクの再構築をスキップする場合があります。詳細については、SID7544を参照してください。

拡張

- Windows Server 2022のサポートを追加しました

オンラインROM Flashコンポーネント for ESXi (x86) - HPE Smartアレイ P824i-p MR Gen10

バージョン:24.23.0-0048 (推奨)

ファイル名: CP052319.compsig; CP052319.zip

修正

- 起動時に以前の構成が完全に失われる可能性がある問題を修正しました。この問題は、タイムアウト回復ループに1つ以上の誤動作ドライブがあり、コントローラーFWの初期化中にシステムの電源を再投入すると発生する可能性があります。
- FWがエラーコード0x000000dを報告することがある問題を修正しました。
- 他のドライブとともにマルチスパン/LDドライブからの外部インポートで、FWがクラッシュし、インポートが失敗する問題を修正しました。
- FW例外とコントローラーが検出されない問題を修正しました。複数のドライブがあるエキスパンダー環境で、システムの再起動またはFWのアップグレード中に発生する可能性があります。
- ドライブからの実際完了の前にサニタイズ操作が完了する問題を修正しました。
- StartStopUnitコマンドが終了しようとしているときにドライブのタイムアウトがトリガーされた場合のマシンチェックイベントを修正しました。

拡張

- ドライブのDDFヘッダーにエラーが現在存在している場合、DDF(ディスクデータフォーマット)ヘッダーのアップデートの順序を変更します。これは、アレイ内に誤動作ドライブがある場合にDDFが破損す

る可能性を回避するためです。

- デフォルトでspinupdrivecountを2から4に変更します。これは、システム起動時の大容量HDDの検出を改善するためです。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:1.00 (C) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-9f082dff4-1.00-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-9f082dff4-1.00-3.1.x86_64.rpm

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10 PlusバックプレーンエキスパンダーFW

バージョン:1.27 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-7b5e8400dd-1.27-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-7b5e8400dd-1.27-2.1.x86_64.rpm

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 4200バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:1.79 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f18fdefd0b-1.79-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f18fdefd0b-1.79-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- HPE Apollo 4200 Gen10 Server Backplane Expanderのファームウェアを新たにアップグレードする前に、**SmartアレイFWを4.11以降**にアップデートしてください。
- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

システムの再起動後にドライブが表示されない場合があります。

カスタマーアドバイザリa00098241en_usを参照してください。

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 4200 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:0.39 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f36d4ef431-0.39-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f36d4ef431-0.39-3.1.x86_64.rpm

前提条件

- 0.39(C)にアップグレードする前に、スタンドアロンアップデートアプローチによってまず移行バージョン0.39にフラッシュし、新しいPIDの命名をアクティブにしてください。
- 0.39(B)は、Gen10plus 4200エキスパンダーFWの最小バージョンです。

- **0.39移行バージョンのリンク:** <https://www.hpe.com/global/swpublishing/MTX-6a237b8f0ea248dcae938df67b>

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、E208i-p、E208e-p、E208i-a、P816i-a SR Gen10

バージョン:5.32 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-5.32-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-5.32-2.1.x86_64.rpm

修正

- RAID 50/60のボリュームに障害が発生し、"Heal Array"を使用して回復した場合、暗号化されたデータにアクセスできない問題を修正しました。
- PLDM コマンドのポインターが初期化される前にアクセスされる問題を修正しました。
- UBM3 バックプレーンがフラッシュに失敗する問題を修正しました。
- 予測障害ドライブLE の点滅の問題を修正しました。
- 再有効化された暗号化シングルドライブRAID 0論理ドライブが、システム再起動後にオフラインの状態で報告される問題を修正しました。
- ハングを引き起こす長いSATA SSD TRIMを修正しました。
- エンクロージャの製品IDが正しく表示されない問題を修正しました。
- 故障したドライブのドライブベイ番号が間違っている問題を修正しました。
- コントローラーの内部コネクタに接続されたSESベースのストレージエンクロージャー SEPにリアルタイムクロック(RTC)タイムスタンプが送信されない問題を修正しました。
- ホストがPlatformEventMessageに応答しない場合にイベントが連続して送信される問題を修正しました。
- 4Kn データドライブの使用時にRedfish Volume Createが失敗する問題を修正しました。
- 標準に準拠するように Redfish Drive.Identifiers.DurableNameをアップデートします。
- 標準に準拠するように Redfish Volume.Identifiers.DurableNameをアップデートします。
- Redfishを2021.4スキーマバンドルにアップデートしました。

拡張

- UBM6バックプレーンのサポート
- SEDローカルキー管理のサポートが追加されました。
- 物理ドライブが復旧した、以前に障害が発生したボリュームを再度有効にしようとする新しいHIIメニューが追加されました。
- コントローラーのパスワードがコントローラーベースの暗号化 (CBE) に設定されている場合、HII メニューにコントローラーのロック解除オプションを追加しました。
- Controller Based Encryption (CBE)を構成するための新しいHIIメニューオプションが追加されました。
- SEDローカルキー管理を有効にして構成するための新しいHIIオプションが追加されました。
- 次の Redfish ACTION リクエストのサポートが追加されました。
 - Drive.SecureErase
 - Drive.Reset
 - Storage.ResetToDefaults
- 次のプロパティに対する Redfish PATCH リクエストのサポートが追加されました。
 - Volume.DisplayName
 - Volume.Links.DedicatedSpareDrives
 - Volume.IOPerfModeEnabled
 - Volume.ReadCachePolicy
 - Volume.WriteCachePolicy

- Drive.LocationIndicatorActive
- Drive.WriteCacheEnabled
- StorageController.ControllerRates.ConsistencyCheckRatePercent
- StorageController.ControllerRates.RebuildRatePercent
- StorageController.ControllerRates.TransformationRatePercent
- 次のRedfishアラートが追加されました。
 - DriveOffline
 - DriveMissing
 - DriveOfflineCleared
 - VolumeOffline
 - VolumeOfflineCleared
 - BatteryMissing
 - BatteryFailure
 - BatteryCharging
 - BatteryOK
 - ControllerDegraded
 - ControllerFailure
 - ControllerPreviousFailure
 - ControllerPasswordRequired
 - ControllerPasswordEntered (将来的にControllerPasswordAcceptedに変更)
- MaxMembersをRedfish VolumeCollectionに追加しました
- SEDに使用するRedfish Drive.Operation.OperationNameに'Reverting'を追加しました。
- 'NativeDriveEncryption'(SED)をRedfish Volume.EncryptionTypes に追加しました。
- SEDのRedfish Drive.EncryptionStatus のサポートが追加されました。
- Redfish Drive.Status.Stateは、次の条件でStandbyOfflineに設定されます。
 - SEDは外部です
 - SEDがロックされている (コントローラーが所有するSEDの場合のみ)
 - SEDはコントローラー所有であり、コントローラーは SED アダプターのパスワードを待機しています
- SEDのRedfish Volume.Encryptedのサポートが追加されました。

オンラインROM Flash コンポーネント for Linux (x64) - HPE Smartアレイ P824i-p MR Gen10

バージョン:24.23.0-0048 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-cafee9b6e4-24.23.0_0048-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-cafee9b6e4-24.23.0_0048-1.1.x86_64.rpm

修正

- 起動時に以前の構成が完全に失われる可能性がある問題を修正しました。この問題は、タイムアウト回復ループに1つ以上の誤動作ドライブがあり、コントローラーFWの初期化中にシステムの電源を再投入すると発生する可能性があります。
- FWがエラーコード0x000000dを報告することがある問題を修正しました。
- 他のドライブとともにマルチスパン/LDドライブからの外部インポートで、FWがクラッシュし、インポートが失敗する問題を修正しました。
- FW例外とコントローラーが検出されない問題を修正しました。複数のドライブがあるエキスパンダー環境で、システムの再起動またはFWのアップグレード中に発生する可能性があります。
- ドライブからの実際の完了の前にサニタイズ操作が完了する問題を修正しました。
- StartStopUnitコマンドが終了しようとしているときにドライブのタイムアウトがトリガーされた場合のマシンチェックイベントを修正しました。

拡張

- ドライブのDDFヘッダーにエラーが現在存在している場合、DDF(ディスクデータフォーマット)ヘッダーのアップデートの順序を変更します。これは、アレイ内に誤動作ドライブがある場合にDDFが破損する可能性を回避するためです。
- デフォルトでspinupdrivecountを2から4に変更します。これは、システム起動時の大容量HDDの検出を改善するためです。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェアfor HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン:5.14 (B) (推奨)

ファイル名: CP053178.compsig; CP053178.zip

重要な注意!

- 現在のエキスパンダーが5.10の場合は、FWを以前のバージョンにダウングレードしないでください。すぐに5.12にアップグレードしてください。

拡張

SHA384をサポート

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:1.00 (F) (推奨)

ファイル名: CP052254.compsig; CP052254.zip

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 2000 Gen10 PlusバックプレーンエキスパンダーFW

バージョン:1.27 (B) (推奨)

ファイル名: CP052251.compsig; CP052251.zip

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Apollo 4200バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:1.79 (D) (推奨)

ファイル名: CP052258.zip; CP052258_part1.compsig; CP052258_part2.compsig

重要な注意!

- HPE Apollo 4200 Gen10 Server Backplane Expanderのファームウェアを新たにアップグレードする前に、SmartアレイFWを4.11以降にアップデートしてください。
- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 4200 Gen10

Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:0.39 (C) (推奨)

ファイル名: CP052260.compsig; CP052260.zip

前提条件

- 0.39(C)にアップグレードする前に、スタンドアロンアップデートアプローチによってまず移行バージョン0.39にフラッシュし、新しいPIDの命名をアクティブにしてください。
- 0.39(B)は、Gen10plus 4200エキスパンダーFWの最小バージョンです。
- **0.39移行バージョンのリンク:** <https://www.hpe.com/global/swpublishing/MTX-baec686eb389427aa933bbf9f0>

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:1.56 (G) (推奨)

ファイル名: CP052262.compsig; CP052262.zip

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、E208i-p、E208e-p、E208i-a、P816i-a SR Gen10

バージョン:5.32 (B) (推奨)

ファイル名: CP053855.compsig; CP053855.zip

修正

- RAID 50/60のボリュームに障害が発生し、"Heal Array"を使用して回復した場合、暗号化されたデータにアクセスできない問題を修正しました。
- PLDM コマンドのポインターが初期化される前にアクセスされる問題を修正しました。
- UBM3 バックプレーンがフラッシュに失敗する問題を修正しました。
- 予測障害ドライブLE の点滅の問題を修正しました。
- 再有効化された暗号化シングルドライブRAID 0論理ドライブが、システム再起動後にオフラインの状態で報告される問題を修正しました。
- ハングを引き起こす長いSATA SSD TRIMを修正しました。
- エンクロージャの製品IDが正しく表示されない問題を修正しました。
- 故障したドライブのドライブベイ番号が間違っている問題を修正しました。
- コントローラーの内部コネクタに接続されたSESベースのストレージエンクロージャー SEPにリアルタイムクロック(RTC)タイムスタンプが送信されない問題を修正しました。
- ホストがPlatformEventMessageに応答しない場合にイベントが連続して送信される問題を修正しました。
- 4Kn データドライブの使用時にRedfish Volume Createが失敗する問題を修正しました。
- 標準に準拠するように Redfish Drive.Identifiers.DurableNameをアップデートします。
- 標準に準拠するように Redfish Volume.Identifiers.DurableNameをアップデートします。
- Redfishを2021.4スキーマバンドルにアップデートしました。

拡張

- UBM6バックプレーンのサポート
- SEDローカルキー管理のサポートが追加されました。
- 物理ドライブが復旧した、以前に障害が発生したボリュームを再度有効にしようとする新しいHIIメニューが追加されました。

- コントローラーのパスワードがコントローラーベースの暗号化 (CBE) に設定されている場合、HII メニューにコントローラーのロック解除オプションを追加しました。
- Controller Based Encryption (CBE)を構成するための新しいHIIメニューオプションが追加されました。
- SEDローカルキー管理を有効にして構成するための新しいHIIオプションが追加されました。
- 次の Redfish ACTION リクエストのサポートが追加されました。
 - Drive.SecureErase
 - Drive.Reset
 - Storage.ResetToDefaults
- 次のプロパティに対する Redfish PATCH リクエストのサポートが追加されました。
 - Volume.DisplayName
 - Volume.Links.DedicatedSpareDrives
 - Volume.IOPerfModeEnabled
 - Volume.ReadCachePolicy
 - Volume.WriteCachePolicy
 - Drive.LocationIndicatorActive
 - Drive.WriteCacheEnabled

 - StorageController.ControllerRates.ConsistencyCheckRatePercent
 - StorageController.ControllerRates.RebuildRatePercent
 - StorageController.ControllerRates.TransformationRatePercent
- 次のRedfishアラートが追加されました。
 - DriveOffline
 - DriveMissing
 - DriveOfflineCleared
 - VolumeOffline
 - VolumeOfflineCleared
 - BatteryMissing
 - BatteryFailure
 - BatteryCharging

 - BatteryOK
 - ControllerDegraded
 - ControllerFailure
 - ControllerPreviousFailure
 - ControllerPasswordRequired
 - ControllerPasswordEntered (将来的にControllerPasswordAcceptedに変更)
- MaxMembersをRedfish VolumeCollectionに追加しました
- SEDに使用するRedfish Drive.Operation.OperationNameに'Reverting'を追加しました。
- 'NativeDriveEncryption'(SED)をRedfish Volume.EncryptionTypes に追加しました。
- SEDのRedfish Drive.EncryptionStatus のサポートが追加されました。
- Redfish Drive.Status.Stateは、次の条件でStandbyOfflineに設定されます。
 - SEDは外部です
 - SEDがロックされている (コントローラーが所有するSEDの場合のみ)
 - SEDはコントローラー所有であり、コントローラーは SED アダプターのパスワードを待機していません
- SEDのRedfish Volume.Encryptedのサポートが追加されました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE 12Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン:5.14 (B) (推奨)

ファイル名: cp053176.compsig; cp053176.exe; cp053176.md5

重要な注意!

- 現在のエキスパンダーが5.10の場合は、FWを以前のバージョンにダウングレードしないでください。すぐに5.12にアップグレードしてください。

拡張

SHA384をサポート

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10 バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:1.00 (D) (推奨)

ファイル名: cp052255.compsig; cp052255.exe; cp052255.md5

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware Windows (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10 PlusバックプレーンエキスパンダーFW

バージョン:1.27 (C) (推奨)

ファイル名: cp052252.compsig; cp052252.exe; cp052252.md5

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 4200バック プレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:1.79 (C) (推奨)

ファイル名: cp052256.compsig; cp052256.exe; cp052256.md5

重要な注意!

- HPE Apollo 4200 Gen10 Server Backplane Expanderのファームウェアを新たにアップグレードする前に、**SmartアレイFWを4.11以降**にアップデートしてください。
- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 4200 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:0.39 (C) (推奨)

ファイル名: cp052259.compsig; cp052259.exe; cp052259.md5

前提条件

- 0.39(C)にアップグレードする前に、スタンドアロンアップデートアプローチによってまず移行バージョン0.39にフラッシュし、新しいPIDの命名をアクティブにしてください。
- 0.39(B)は、Gen10plus 4200エキスパンダーFWの最小バージョンです。
- **0.39移行バージョンのリンク:** <https://www.hpe.com/global/swpublishing/MTX-7c4fafc26bfd4fcda15b73bd44>

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10 バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン:1.56 (D) (推奨)

ファイル名: cp052264.compsig; cp052264.exe; cp052264.md5

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、E208i-p、E208e-p、E208i-a、P816i-a SR Gen10

バージョン:5.32 (B) (推奨)

ファイル名: cp053854.compsig; cp053854.exe; cp053854.md5

修正

- RAID 50/60のボリュームに障害が発生し、"Heal Array"を使用して回復した場合、暗号化されたデータにアクセスできない問題を修正しました。
- PLDM コマンドのポインターが初期化される前にアクセスされる問題を修正しました。
- UBM3 バックプレーンがフラッシュに失敗する問題を修正しました。
- 予測障害ドライブLE の点滅の問題を修正しました。
- 再有効化された暗号化シングルドライブRAID 0論理ドライブが、システム再起動後にオフラインの状態で報告される問題を修正しました。
- ハングを引き起こす長いSATA SSD TRIMを修正しました。
- エンクロージャの製品IDが正しく表示されない問題を修正しました。
- 故障したドライブのドライブベイ番号が間違っている問題を修正しました。
- コントローラーの内部コネクタに接続されたSESベースのストレージエンクロージャ SEPにリアルタイムクロック(RTC)タイムスタンプが送信されない問題を修正しました。
- ホストがPlatformEventMessageに応答しない場合にイベントが連続して送信される問題を修正しました。
- 4Kn データドライブの使用時にRedfish Volume Createが失敗する問題を修正しました。
- 標準に準拠するように Redfish Drive.Identifiers.DurableNameをアップデートします。
- 標準に準拠するように Redfish Volume.Identifiers.DurableNameをアップデートします。
- Redfishを2021.4スキーマ バンドルにアップデートしました。

拡張

- UBM6バックプレーンのサポート
- SEDローカルキー管理のサポートが追加されました。
- 物理ドライブが復旧した、以前に障害が発生したボリュームを再度有効にしようとする新しいHIIメニューが追加されました。
- コントローラーのパスワードがコントローラーベースの暗号化 (CBE) に設定されている場合、HII メニューにコントローラーのロック解除オプションを追加しました。
- Controller Based Encryption (CBE)を構成するための新しいHIIメニューオプションが追加されました。
- SEDローカルキー管理を有効にして構成するための新しいHIIオプションが追加されました。
- 次の Redfish ACTION リクエストのサポートが追加されました。
 - Drive.SecureErase
 - Drive.Reset
 - Storage.ResetToDefaults
- 次のプロパティに対する Redfish PATCH リクエストのサポートが追加されました。
 - Volume.DisplayName
 - Volume.Links.DedicatedSpareDrives
 - Volume.IOPerfModeEnabled
 - Volume.ReadCachePolicy
 - Volume.WriteCachePolicy

- Drive.LocationIndicatorActive
- Drive.WriteCacheEnabled
- StorageController.ControllerRates.ConsistencyCheckRatePercent
- StorageController.ControllerRates.RebuildRatePercent
- StorageController.ControllerRates.TransformationRatePercent
- 次のRedfishアラートが追加されました。
 - DriveOffline
 - DriveMissing
 - DriveOfflineCleared
 - VolumeOffline
 - VolumeOfflineCleared
 - BatteryMissing
 - BatteryFailure
 - BatteryCharging
 - BatteryOK
 - ControllerDegraded
 - ControllerFailure
 - ControllerPreviousFailure
 - ControllerPasswordRequired
 - ControllerPasswordEntered (将来的にControllerPasswordAcceptedに変更)
- MaxMembersをRedfish VolumeCollectionに追加しました
- SEDに使用するRedfish Drive.Operation.OperationNameに'Reverting'を追加しました。
- 'NativeDriveEncryption'(SED)をRedfish Volume.EncryptionTypes に追加しました。
- SEDのRedfish Drive.EncryptionStatus のサポートが追加されました。
- Redfish Drive.Status.Stateは、次の条件でStandbyOfflineに設定されます。
 - SEDは外部です
 - SEDがロックされている (コントローラーが所有するSEDの場合のみ)
 - SEDはコントローラー所有であり、コントローラーは SED アダプターのパスワードを待機しています
- SEDのRedfish Volume.Encryptedのサポートが追加されました。

オンラインROM Flashコンポーネント for Windows (x64) - HPE SmartアレイP824i-p MR Gen10

バージョン: 24.23.0-0048 (推奨)

ファイル名: cp052321.compsig; cp052321.exe; cp052321.md5

修正

- 起動時に以前の構成が完全に失われる可能性がある問題を修正しました。この問題は、タイムアウト回復ループに1つ以上の誤動作ドライブがあり、コントローラーFWの初期化中にシステムの電源を再投入すると発生する可能性があります。
- FWがエラーコード0x000000dを報告することがある問題を修正しました。
- 他のドライブとともにマルチスパン/LDドライブからの外部インポートで、FWがクラッシュし、インポートが失敗する問題を修正しました。
- FW例外とコントローラーが検出されない問題を修正しました。複数のドライブがあるエキスパンダー環境で、システムの再起動またはFWのアップグレード中に発生する可能性があります。
- ドライブからの実際完了の前にサニタイズ操作が完了する問題を修正しました。
- StartStopUnitコマンドが終了しようとしているときにドライブのタイムアウトがトリガーされた場合のマシンチェックイベントを修正しました。

拡張

- ドライブのDDFヘッダーにエラーが現在存在している場合、DDF(ディスクデータフォーマット)ヘッダーのアップデートの順序を変更します。これは、アレイ内に誤動作ドライブがある場合にDDFが破損す

る可能性を回避するためです。

- デフォルトでspinupdrivecountを2から4に変更します。これは、システム起動時の大容量HDDの検出を改善するためです。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE 12 Gb/s SASエクスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン:5.14 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1f19a4a64d-5.14-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1f19a4a64d-5.14-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 現在のエクスパンダーが5.10の場合は、FWを以前のバージョンにダウングレードしないでください。すぐに5.12にアップグレードしてください。

拡張

SHA384をサポート

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエクスパンダーファームウェア

バージョン:1.56 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.56-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.56-4.1.x86_64.rpm

拡張

- SHA384でカーネル生成環境をアップデートします
- OSをアップデートします

HPE Gen10 PlusブートコントローラーNS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r用のユニバーサルファームウェアパッケージ

バージョン:1.0.14.1063 (C) (推奨)

ファイル名: HPE_NS204i_Gen10P_1.0.14.1063.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、NS204iコントローラーで使用されます。

iLOを使用して、1.0.14.1055以上のHPE_NS204i_Gen10P_PLDM_XXXX.fwpkgをフラッシュします。継続的にHPEは、.fwpkgファイルのみを介して、PLDM Type5 FWフラッシュを提供します。

以下のリンクで、必要な最小バージョン(1.0.14.1055)を見つけてください。

- Windows <https://support.hpe.com/hpesc/public/swd/detail?swItemId=MTX-1b2c98e9d2594b9db679e89bbe#tab-history>
- Linux <https://support.hpe.com/hpesc/public/swd/detail?swItemId=MTX-207ea7e739f048049a66d61008#tab-history>
- VMware https://support.hpe.com/hpesc/public/swd/detail?swItemId=MTX_141038fe565b457ca9fe4d28de#tab-history

修正

- 起動中のRDEディクショナリの再フラッシュエラーの問題が修正されました

拡張

ビルド環境をSHA512からSHA384にアップデートします

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター - Linux (x64)

バージョン: 2022.09.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2022.09.01-1.20.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2022.09.01-1.20.x86_64.rpm

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulexホストバスアダプター(HBA)を検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|-------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019/2022 x64

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050100.compsig; cp050100.exe

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイ | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

| | | | | | |
|--|------|-------------|-------------|------------|------------|
| バーチャネルホストバスアダプター | | | | | |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: CP050098.compsig; CP050098.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE ファームウェアフラッシュ for Emulex ファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 8.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: CP050120.compsig; CP050120.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.21 | 14.0.499.21 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 14.0.499.20 | 14.0.499.20 | 14.0.499.2 | 14.0.490.0 |

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュ for QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター - Linux (x86_64)

バージョン: 2022.09.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2022.09.01-1.15.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2022.09.01-1.15.x86_64.rpm

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|---------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|----------|----------|------|------|
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

- /var/tmpフォルダーに読み取り/書き込み権限を付与することをお勧めします。/tmpまたは/var/tmpディレクトリで読み取り/書き込み(rw)権限が有効になっていない場合、Service Pack for ProLiant(SPP)を介したファームウェアの展開が失敗する場合があります。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019/2022 (x86_64)

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050129.compsig; cp050129.exe

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター - VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: CP050127.compsig; CP050127.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|---------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホスト | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |

| | | | | | |
|--|------|----------|----------|------|------|
| バスアダプター | | | | | |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター - VMware vSphere 8.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: CP050119.compsig; CP050119.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.77.12 | 9.09.00 | 7.19 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.06.27 | 09.09.00 | 7.28 | 0.0 |

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ファームウェア - システム

[先頭](#)

サーバープラットフォームサービス (SPS)ファームウェア

バージョン:04.04.04.202 (推奨)

ファイル名: cp052878.compsig; cp052878.zip

修正

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

ファームウェアパッケージ - Gen10 NVMe Backplane PICファームウェア

バージョン:1.24 (F) (推奨)

ファイル名: ISS_NVMe_BP_PIC_flashV1B24.fwpkg

前提条件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

ESXi 8.0のサポート

Innovation Engine(IE)ファームウェア

バージョン:1.0.0.22 (推奨)

ファイル名: cp051643.compsig; cp051643.zip

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM1バックプレーンPICファームウェア

バージョン:1.46 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-b303c4dfec-1.46-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-b303c4dfec-1.46-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Windows/Linux/ESXi FWコンポーネントは、HPE SR100i Gen10 Plusコントローラーに接続されている場合のみ、UBMファームウェアのインストールをサポートします。
- インストールされているiLOのバージョンが2.71以上の場合、ユーザーがSmartコンポーネントを介してダウンストリームUBMをアップデートするときは、iLOのリセットが必要になります。

前提条件

- UBM SCコンポーネントへのアップグレードは、インストールされているiLOバージョンが2.65未満の場合に正しく機能します。

拡張

- RHEL9をサポート

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM2バックプレーンPICファームウェア

バージョン:1.20 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-40023de47f-1.20-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-40023de47f-1.20-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- FW Smartコンポーネントは、HPE SR100i Gen10 Plusコントローラー、HPE SR416i-p/SR932i-p Gen10 Plusコントローラー、およびHPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P204i-c、P816i-a、P416ie-m SR Gen10コントローラーに接続されている場合のみUBMファームウェアのインストールをサポートします。
- インストールされているiLOのバージョンが2.71以上の場合、ユーザーがSmartコンポーネントを介してダウンストリームUBMをアップデートするときは、iLOのリセットが必要になります。

前提条件

- UBM SCコンポーネントへのアップグレードは、インストールされているiLOバージョンが2.65未満の場合に正しく機能します。

拡張

- SHA384形式で再構築します
- RHEL9.0をサポート

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM3バックプレーンPICファームウェア

バージョン:1.24 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-ff3fa73ca1-1.24-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-ff3fa73ca1-1.24-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- FW Smartコンポーネントは、HPE SR100i Gen10 Plusコントローラー、HPE SR416i-p/SR932i-p Gen10 Plusコントローラー、およびHPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P204i-c、P816i-a、P416ie-m SR Gen10コントローラーに接続されている場合にのみUBMファームウェアのインストールをサポートします。
- インストールされているiLOのバージョンが2.71以上の場合、ユーザーがSmartコンポーネントを介してダウンストリームUBMをアップデートするときは、iLOのリセットが必要になります。

前提条件

- UBM SCコンポーネントへのアップグレードは、インストールされているiLOバージョンが2.65未満の場合に正しく機能します

拡張

- SHA384形式で再構築します
- RHEL9をサポート

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM4バックプレーンPICファームウェア

バージョン:1.24 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-8586fe2547-1.24-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-8586fe2547-1.24-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- FW Smartコンポーネントは、HPE SR100i Gen10 Plusコントローラー、HPE SR416i-p/SR932i-p Gen10 Plusコントローラーに接続されている場合にのみUBMファームウェアのインストールをサポートします
- インストールされているiLOのバージョンが2.71以上の場合、ユーザーがSmartコンポーネントを介してダウンストリームUBMをアップデートするときは、iLOのリセットが必要になります。

前提条件

- UBM SC/FWPKGコンポーネントへのアップグレードは、インストールされているiLOバージョンが2.65未満の場合に正しく機能します。

拡張

- RHEL9をサポート
- SHA384を再構築

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM1 バックプレーン

PICファームウェア

バージョン:1.46 (B) (推奨)

ファイル名: cp053174.compsig; cp053174.exe; cp053174.md5

重要な注意!

- UBMファームウェアSmartコンポーネントは、HPE SR100i Gen10 Plusコントローラー、またはSmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P204i-c、P816i-a、P416ie-m SR Gen10コントローラーに接続されている場合にのみUBMファームウェアのインストールをサポートします
- インストールされているiLOのバージョンが2.71以上の場合、ユーザーがSmartコンポーネントを介してダウンストリームUBMをアップデートするときは、iLOのリセットが必要になります。

前提条件

- UBM SCコンポーネントへのアップグレードは、インストールされているiLOバージョンが2.65未満の場合に正しく機能します

拡張

SHA384をサポート

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM2 バックプレーン PICファームウェア

バージョン:1.20 (B) (推奨)

ファイル名: cp052829.compsig; cp052829.exe; cp052829.md5

重要な注意!

- FW Smartコンポーネントは、HPE SR100i Gen10 Plusコントローラー、HPE SR416i-p/SR932i-p Gen10 Plusコントローラー、およびHPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P204i-c、P816i-a、P416ie-m SR Gen10コントローラーに接続されている場合にのみUBMファームウェアのインストールをサポートします。
- インストールされているiLOのバージョンが2.71以上の場合、ユーザーがSmartコンポーネントを介してダウンストリームUBMをアップデートするときは、iLOのリセットが必要になります。

前提条件

- UBM SCコンポーネントへのアップグレードは、インストールされているiLOバージョンが2.65未満の場合に正しく機能します。

拡張

- SHA384形式で再構築します

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM3 バックプレーン PICファームウェア

バージョン:1.24 (B) (推奨)

ファイル名: cp052311.compsig; cp052311.exe; cp052311.md5

重要な注意!

- FW Smartコンポーネントは、HPE SR100i Gen10 Plusコントローラー、HPE SR416i-p/SR932i-p Gen10 Plusコントローラー、およびHPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P204i-c、P816i-a、P416ie-m SR Gen10コントローラーに接続されている場合にのみUBMファームウェアのインストールをサポートします。
- インストールされているiLOのバージョンが2.71以上の場合、ユーザーがSmartコンポーネントを介してダウンストリームUBMをアップデートするときは、iLOのリセットが必要になります。

前提条件

- UBM SCコンポーネントへのアップグレードは、インストールされているiLOバージョンが2.65未満の場合に正しく機能します

拡張

- SHA384形式で再構築します

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM4 バックプレーン PICファームウェア

バージョン:1.24 (B) (推奨)

ファイル名: cp053175.compsig; cp053175.exe; cp053175.md5

重要な注意!

- FW Smartコンポーネントは、HPE SR100i Gen10 Plusコントローラー、HPE SR416i-p/SR932i-p Gen10 Plusコントローラーに接続されている場合にのみUBMファームウェアのインストールをサポートします
- インストールされているiLOのバージョンが2.71以上の場合、ユーザーがSmartコンポーネントを介してダウンストリームUBMをアップデートするときは、iLOのリセットが必要になります。

前提条件

- UBM SCコンポーネントへのアップグレードは、インストールされているiLOバージョンが2.65未満の場合に正しく機能します

拡張

SHA384で再構築

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン:04.04.04.202 (オプション)

ファイル名: cp052879.compsig; cp052879.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.04.04.202

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.04.04.062

以前のリビジョン:

04.04.04.062

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、INTEL PLR3に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

改良点:

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、INTEL PLR3に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

**オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Gen10サーバー向け
Server Platform Services(SPS)ファームウェア**

バージョン:04.01.04.804 (B) (オプション)

ファイル名: cp053813.compsig; cp053813.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.804

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.601

以前のリリース:

04.01.04.601

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

広範な再起動テスト中にインテルリファレンスシステムが断続的に電源オンに失敗することが確認された問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーでは報告されていません。このインテルSPSファームウェアのバージョンは、インテル2022.2 IPUの一部としてリリースされました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

広範な再起動テスト中にインテルリファレンスシステムが断続的に電源オンに失敗することが確認された問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーでは報告されていません。このインテルSPSファームウェアのバージョンは、インテル2022.2 IPUの一部としてリリースされました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus

バージョン:05.01.04.600 (オプション)

ファイル名: cp052408.compsig; cp052408.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus Servers

リリースバージョン:

05.01.04.600

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.500

以前のリビジョン:

05.01.04.500

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:**重要な注意:**

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート (IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20 Gen10 Plus

バージョン:06.00.03.200 (B) (推奨)

ファイル名: cp053631.compsig; cp053631.exe

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL20 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200.0

最新の推奨またはクリティカルリリース:

06.00.03.200.0

以前のリリース:

06.00.03.039.0

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10

バージョン:05.01.04.600 (オプション)

ファイル名: cp052405.compsig; cp052405.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10 サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.600

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.500

以前のリビジョン:

05.01.04.500

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - Server Platform Services (SPS)ファームウェア for HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2

バージョン:06.00.03.200 (推奨)

ファイル名: cp051882.compsig; cp051882.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE MicroServer Gen10 Plus v2サーバープラットフォームサービス (SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant ML30 Gen10 Plus

バージョン:06.00.03.200 (B) (推奨)

ファイル名: cp053634.compsig; cp053634.exe

重要な注意!

重要な注意:

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE ML30 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200.0

最新の推奨またはクリティカルリリース:

06.00.03.200.0

以前のリリース:

06.00.03.039.0

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェア for HPE Gen10サーバー

バージョン:0.2.3.0 (C) (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-iegen10-0.2.3.0-3.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-iegen10-0.2.3.0-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver 0.2.3.0(C)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 0.2.3.0と同等です。ファームウェアをバージョン0.2.3.0にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.3.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.2.3.0

以前のリビジョン:

0.2.2.3

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

前提条件

システムROM V1.26以降

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

Ver 0.2.3.0(C)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 0.2.3.0と同等です。ファームウェアをバージョン0.2.3.0にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン:1.0.0.22 (C) (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-iegen10plus-1.0.0.22-3.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-iegen10plus-1.0.0.22-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver 1.0.0.22(C)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.0.22と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.0.22にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

リリースバージョン:

1.0.0.22

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.0.22

以前のリビジョン:

1.0.0.20

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

Ver 1.0.0.22(C)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.0.22と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.0.22にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン:04.04.04.202 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-spsgen10plus-04.04.04.202-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-spsgen10plus-04.04.04.202-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.04.04.202

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.04.04.062

以前のリビジョン:

04.04.04.062

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、INTEL PLR3に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

改良点:

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、INTEL PLR3に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - HPE Gen10向けServer Platform Services(SPS)ファームウェア

バージョン:04.01.04.804 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-spsgen10-04.01.04.804-2.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-spsgen10-04.01.04.804-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.804

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.601

以前のリビジョン:

04.01.04.601

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

広範な再起動テスト中にインテルリファレンスシステムが断続的に電源オンに失敗することが確認された問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーでは報告されていません。このインテルSPSファームウェアのバージョンは、インテル2022.2 IPUの一部としてリリースされました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

改良点:

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

広範な再起動テスト中にインテルリファレンスシステムが断続的に電源オンに失敗することが確認された問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーでは報告されていません。このインテルSPSファームウェアのバージョンは、インテル2022.2 IPUの一部としてリリースされました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Linux - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus

バージョン:05.01.04.600 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-microservergen10plussps-05.01.04.600-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-microservergen10plussps-05.01.04.600-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus Servers

リリースバージョン:

05.01.04.600

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.500

以前のリビジョン:

05.01.04.500

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイドンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

改良点:**重要な注意:**

このバージョンのサーバプラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイドンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services (SPS) ファームウェア for HPE ProLiant DL20 Gen10 Plus

バージョン:06.00.03.200 (B) **(推奨)**

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dl20gen10plus_me-06.00.03.200-2.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-dl20gen10plus_me-06.00.03.200-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にVer 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL20 Gen10 Plusサーバプラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200.0

最新の推奨またはクリティカルリリース:

06.00.03.200.0

以前のリリース:

06.00.03.039.0

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services (SPS) ファームウェア for HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10

バージョン:05.01.04.600 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dl20ml30gen10sps-05.01.04.600-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-dl20ml30gen10sps-05.01.04.600-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10 サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.600

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.500

以前のリビジョン:

05.01.04.500

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

改良点:

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Linux - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus v2

バージョン:06.00.03.200 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-microserverv2gen10plus_me-06.00.03.200-1.1.x86_64.compsig;
RPMS/x86_64/firmware-microserverv2gen10plus_me-06.00.03.200-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE MicroServer Gen10 Plus v2サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

改良点:**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services (SPS) ファームウェア for HPE ProLiant ML30 Gen10 Plus

バージョン:06.00.03.200 (B) (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-ml30gen10plus_me-06.00.03.200-2.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-ml30gen10plus_me-06.00.03.200-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE ML30 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

06.00.03.200.0

以前のリビジョン:

06.00.03.039.0

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正**重要な注意:**

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Windows x64 - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン:0.2.3.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp053637.compsig; cp053637.exe

重要な注意!

重要な注意:

Ver 0.2.3.0(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 0.2.3.0と同等です。ファームウェアをバージョン0.2.3.0にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.3.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.2.3.0

以前のリビジョン:

0.2.2.3

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

前提条件

システムROM V1.26以降

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

Ver 0.2.3.0(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 0.2.3.0と同等です。ファームウェアをバージョン0.2.3.0にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Windows x64 - HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン:1.0.0.22 (C) (推奨)

ファイル名: cp053640.compsig; cp053640.exe

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 1.0.0.22(C)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.0.22と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.0.22にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

リリースバージョン:

1.0.0.22

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.0.22

以前のリビジョン:

1.0.0.20

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

Ver 1.0.0.22(C)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.0.22と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.0.22にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンCにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン:0.2.3.0 (B) (推奨)

ファイル名: IEGen10_0.2.3.0.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 0.2.3.0(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 0.2.3.0と同等です。ファームウェアをバージョン0.2.3.0にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.3.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.2.3.0

以前のリビジョン:

0.2.2.3

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

前提条件

システムROM V1.26以降

iLO 5 v1.20以降

修正**重要な注意:**

Ver 0.2.3.0(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 0.2.3.0と同等です。ファームウェアをバージョン0.2.3.0にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン:1.0.0.22 (B) (推奨)

ファイル名: IEGen10Plus_1.0.0.22.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 1.0.0.22(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.0.22と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.0.22にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

リリースバージョン:

1.0.0.22

最新の推奨またはクリティカルリリース:

1.0.0.22

以前のリリース:

1.0.0.20

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

Ver 1.0.0.22(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.0.22と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.0.22にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン:04.04.04.202 (オプション)

ファイル名: SPSGen10Plus_04.04.04.202.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.04.04.202

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.04.04.202

以前のリビジョン:

04.04.04.062

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、INTEL PLR3に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

改良点:

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、INTEL PLR3に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン:05.01.04.600 (オプション)

ファイル名: DL20ML30Gen10SPS_05.01.04.600.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10 サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.600

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.500

以前のリビジョン:

05.01.04.500

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:

重要な注意:

このバージョンのサーバプラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus

バージョン:05.01.04.600 (オプション)

ファイル名: MicroserverGen10PlusSPS_05.01.04.600.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバプラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus Servers

リリースバージョン:

05.01.04.600

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.500

以前のリビジョン:

05.01.04.500

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2022.2ガイダンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE Gen10サーバー

バージョン:04.01.04.804 (B) (オプション)

ファイル名: SPSGen10_04.01.04.804.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.804

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.601

以前のリビジョン:

04.01.04.601

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

広範な再起動テスト中にインテルリファレンスシステムが断続的に電源オンに失敗することが確認された問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーでは報告されていません。このインテルSPSファームウェアのバージョンは、インテル2022.2 IPUの一部としてリリースされました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2022.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

広範な再起動テスト中にインテルリファレンスシステムが断続的に電源オンに失敗することが確認された問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーでは報告されていません。このインテルSPSファームウェアのバージョンは、インテル2022.2 IPUの一部としてリリースされました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー

バージョン:06.00.03.200 (推奨)

ファイル名: SC_MicroServerv2GEN10Plus_ME_06.00.03.200.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE MicroServer Gen10 Plus v2サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

改良点:**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services (SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー

バージョン:06.00.03.200 (B) **(推奨)**

ファイル名: SC_DL20GEN10Plus_ME_06.00.03.200.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にVer 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE DL20 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス (SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200.0

最新の推奨またはクリティカルリリース:

06.00.03.200.0

以前のリリース:

06.00.03.039.0

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services (SPS)ファームウェア for HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

バージョン:06.00.03.200 (B) **(推奨)**

ファイル名: SC_ML30GEN10Plus_ME_06.00.03.200.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリース(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE ML30 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス (SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.200.0

最新の推奨またはクリティカルリリース:

06.00.03.200.0

以前のリビジョン:

06.00.03.039.0

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

Ver 06.00.03.200(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.200と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.200にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

AC電源再投入なしのSPSファームウェアアップデート後にMCTP PCIeデバイスを検出できない問題に対処しました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

サーバープラットフォームサービス (SPS)ファームウェア

バージョン:05.01.04.600 (推奨)

ファイル名: cp052404.compsig; cp052404.zip

修正

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

Intel C242およびC246 PCHベースのシステム用のサーバープラットフォームサービス(SPS)

ファームウェア

バージョン:05.01.04.600 (推奨)

ファイル名: cp052403.compsig; cp052403.zip

修正

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

サーバープラットフォームサービス管理エンジンファームウェア

バージョン:06.00.03.200 (推奨)

ファイル名: cp052214.compsig; cp052214.zip

修正

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

サーバープラットフォームサービス管理エンジンファームウェアfor MicroServer Gen10 Plus v2

バージョン:06.00.03.200 (推奨)

ファイル名: cp051883.compsig; cp051883.zip

修正

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel C256 PCH based systems

バージョン:06.00.03.200 (推奨)

ファイル名: cp052206.compsig; cp052206.zip

修正

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

AMD PSHEDプラグインサービスfor Microsoft Windows

バージョン:1.0.0.41 (B) (オプション)

ファイル名: cp053108.compsig; cp053108.exe

拡張

- SHA384署名を追加

ソフトウェア - Lights-Outマネジメント

[先頭](#)

HPE Lights-Outオンライン設定ユーティリティfor Linux (AMD64/EM64T)

バージョン:5.7.0-0 (A) (オプション)

ファイル名: hponcfg-5.7.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.7.0-0.x86_64.rpm

前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.20以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。

opensslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/opensslに再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい/意図したopensslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

修正

- iLOがCNSA状態の場合、HPONCFGパッケージがiLOレポジトリへのアップロードに失敗する問題を修正。

HPE Lights-Out オンライン構成ユーティリティfor Windows x64 Editions

バージョン:5.5.0.0 (D) (オプション)

ファイル名: cp052389.compsig; cp052389.exe

前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.30以降

マネジメントインターフェイスドライバーがサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

HPONCFG GUIを起動するには、Microsoft .Net Framework 2.0以降が必要です。

修正

- iLOがCNSA状態の場合、HPONCFG Windowsスマート コンポーネントがiLOレポジトリへのアップロードに失敗する問題を修正。

ソフトウェア - マネジメント

[先頭](#)

HPE Agentless ManagementバンドルSmartコンポーネントon ESXi for Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050760.compsig; cp050760.zip

拡張

Agentless Management Service

- SMAモードのカスタムトラップコミュニティ名を許可する機能が追加されました。
- HPE SmartアレイP824i-p MR Gen10コントローラーのcpqSasLogDrv MIB OIDサポートを追加しました。

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント バンドル Smart コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050934.compsig; cp050934.zip

拡張

- VMware ESXi 7.0 U2およびESXi 7.0 U3をサポートします

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント バンドル Smart コンポーネント for ESXi 8.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp051152.compsig; cp051152.zip

拡張

VMware ESXi 8.0 をサポートします

HPE iLOドライバーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050763.compsig; cp050763.zip

修正

- hponcfgのようなユーザー環境のアプリがiLOと通信できない原因となる、4GB未満の隣接する物理メモリの取得にiLOドライバーが失敗する問題を修正しました。

拡張

- vSphere 8.0 のサポートを追加しました

ソフトウェア - ストレージコントローラー

[先頭](#)

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware7.0

バージョン:2021.04.00 (B) (推奨)

ファイル名: cp053569.compsig; cp053569.zip

拡張

- SHA384形式を追加

HPE Smart Array SRイベント通知サービスfor Windows Server 64-bit Editions

バージョン:1.2.1.67 (B) (推奨)

ファイル名: cp053353.compsig; cp053353.exe

拡張

SHA384をサポート

ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル

[先頭](#)

HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050126.compsig; cp050126.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.com およびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバを含むzipです。

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライババージョン5.1.68.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicファイバーチャネルドライバコンポーネントfor VMware vSphere 8.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp050118.comsig; cp050118.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.com およびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバを含むzipです。

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライババージョン5.3.1.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン:2022.09.01 (推奨)

ファイル名: cp051532.compsig; cp051532.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.com およびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン14.0.543.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネルHBA

[先頭](#)

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - Red Hat Enterprise Linux (RHEL)

バージョン: 4.2-1 (e) (オプション)

ファイル名: fibreutils-4.2-1_rhel.x86_64.compsig; fibreutils-4.2-1_rhel.x86_64.rpm

前提条件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

このパッケージでは、Red Hat Enterprise Linux(RHEL)ディストリビューションのみがサポートされています

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - SuSE Linux Enterprise Server(SLES)

バージョン: 4.2-1 (c) (オプション)

ファイル名: fibreutils-4.2-1_sles.x86_64.compsig; fibreutils-4.2-1_sles.x86_64.rpm

前提条件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

このパッケージでは、SuSE Linux Enterprise Server(SLES)ディストリビューションのみがサポートされています

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットfor ホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 8 サーバー

バージョン:14.0.499.16 (オプション)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.rhel8.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.rhel8.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

バージョン14.0.499.16にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットfor ホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 9 サーバー

バージョン: 14.0.499.16 (b) (オプション)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.rhel9.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.rhel9.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

バージョン14.0.499.16にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン:14.0.499.16 (オプション)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.sles12sp5.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

SuSE Linux Enterprise Server 12 service pack 5で同じEnablement kitバージョンを書き換えるには、--force または --replacepkgs と --nodeps オプションを使用する必要があります。

例: rpm -UvhHPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-<version>.<OS>.<architecture>.rpm --force--nodeps

rpm -UvhHPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-<version>.<OS>.<architecture>.rpm--replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:14.0.499.16 (オプション)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.sles15sp3.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.sles15sp3.x86_64.rpm; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.sles15sp4.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-14.0.499.16-1.sles15sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

SuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック3およびSuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック4での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、--reinstallオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm -UvhHPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-<version>.<OS>.<architecture>.rpm --reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

バージョン14.0.499.16にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE EmulexファイバーチャネルHBA Managerコアキットfor ホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 9 サーバー

バージョン: 14.0.499.16 (b) (オプション)

ファイル名: elxocmcorekit-14.0.499.16-1.rhel9.x86_64.compsig; elxocmcorekit-14.0.499.16-1.rhel9.x86_64.rpm

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン14.0.499.16にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE EmulexファイバーチャネルSmart SANイネーブルメントキットforホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2022 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 (d) (オプション)

ファイル名: cp050105.compsig; cp050105.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー
v14.0.534.0 cp050094.exe

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 1.0.0.0-4 (m) (推奨)

ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.compsig; hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.rpm

重要な注意!

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**Products and Solutions**下の**HP 3PAR Storage**が選択されています。

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

Linux FCドライバーキットfor HPE Branded Emulex FC HBA、バージョン14.0.499.20、for RedHat 8、RedHat 9、およびNovell SUSE 12、SUSE 15

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.0-4にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SANイネーブルメントキットfor Microsoft Windows Server 2016/2019 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 (n) (推奨)

ファイル名: cp050106.compsig; cp050106.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。最新のEmulex FCドライバー14.0.534.0は、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

64Gb FCアダプター:

- HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicファイバーチャネルイネーブルメントキットfor ホストバスアダプターfor Linux

バージョン: 6.0.0.0-18 (c) (推奨)

ファイル名: HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-18.noarch.compsig; HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-18.noarch.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

Linuxイネーブルメントキットは"HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit"から"HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit"に変更されました。以前にリリースされたイネーブルメントキットからのアップグレードがサポートされています。ただし、以前のバージョン"HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit"へのダウングレードは成功しない場合があります、競合が報告される場合があります。

回避策:イネーブルメントキットをアンインストールして、古いバージョンをインストールしてください

SuSE Linux Enterprise Server 12 service pack 5で同じEnablement kitバージョンを書き換えるには、--force または --replacepkgs と --nodeps オプションを使用する必要があります。

例: rpm -Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-<version>.noarch.rpm --force--nodeps

rpm -Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-<version>.noarch.rpm --replacepkgs--nodeps

SuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック3およびSuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック4での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、--reinstallオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm -Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-<version>.noarch.rpm --force--nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

拡張

バージョン6.0.0.0-18にキットをアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SANイネーブルメントキットforファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 (I) (推奨)

ファイル名: cp050134.compsig; cp050134.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。アウトオブボックス(OOB)ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

- HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor QLogic Storportドライバーfor Windows Server 2022 v9.4.6.20、cp050132.exe。

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SANイネーブルメントキットforファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2022 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 (c) (推奨)

ファイル名: cp050133.compsig; cp050133.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。アウトオブボックス(OOB)ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

- HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor QLogic Storportドライバーfor Windows Server 2016 v9.4.6.20、cp050130.exe
- HPE Storage Fibre Channelアダプターキット for QLogic Storportドライバーfor Windows Server 2019 v9.4.6.20、cp050131.exe

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQLogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 3.3-3 (m) (推奨)

ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.rpm

重要な注意!

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](#)

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 8 Server FCドライバーキットfor HPE QLogic HBA、バージョン 10.02.07.00-k1。
- Red Hat Enterprise Linux 9 Server FCドライバーキットfor HPE QLogic HBA、バージョン 10.02.07.00-k1。
- SUSE Linux Enterprise Server 12 FCドライバーキットfor HPE QLogic HBA、バージョン 10.02.07.00-k1。
- SUSE Linux Enterprise Server 15 FCドライバーキットfor HPE QLogic HBA、バージョン 10.02.07.00-k1。

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン3.3-3にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のQlogicファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ソフトウェア - システムマネジメント

先頭

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン:2.7.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.7.0-1724.3.rhel7.x86_64.compsig; amsd-2.7.0-1724.3.rhel7.x86_64.rpm

前提条件

- amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 7.3 Errata 3.10.0.514.6.1

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service – Linuxオペレーティングシステムを実行するGen 10Plusサーバーで、HPE Integrated Lights-Out 5 (iLO 5) に表示されるドライブの位置情報が一致しない問題([a00126283en_us](#))
- SmartpqiドライバーがAHSログに表示されない問題が解決されました

拡張

次の拡張機能が実装されました。

- HPE SN1700Q 64Gb 2ポートファイバーチャネルホストバスアダプターのサポートを追加しました。
- SNMP CPQ-HOSTデータの頻度は、OneViewの情報表示をサポートするために240秒から15秒にアップデートされました。
- Microchipブランドのコントローラーを正しく識別するために、サポートされるパートナーとしてMicrochipを追加しました。

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン:2.7.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.7.0-1724.3.rhel8.x86_64.compsig; amsd-2.7.0-1724.3.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

- amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 8

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service – Linuxオペレーティングシステムを実行するGen 10Plusサーバーで、HPE Integrated Lights-Out 5 (iLO 5) に表示されるドライブの位置情報が一致しない問題([a00126283en_us](#))
- SmartpqiドライバーがAHSログに表示されない問題が解決されました

拡張

次の拡張機能が実装されました。

- HPE SN1700Q 64Gb 2ポートファイバーチャネルホストバスアダプターのサポートを追加しました。
- SNMP CPQ-HOSTデータの頻度は、OneViewの情報表示をサポートするために240秒から15秒にアップデートされました。
- Microchipブランドのコントローラーを正しく識別するために、サポートされるパートナーとしてMicrochipを追加しました。

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 9 Server

バージョン:2.7.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.7.0-1724.3.rhel9.x86_64.compsig; amsd-2.7.0-1724.3.rhel9.x86_64.rpm

前提条件

- **amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 2.1
 - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 9

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service – Linuxオペレーティングシステムを実行するGen 10Plusサーバーで、HPE Integrated Lights-Out 5 (iLO 5) に表示されるドライブの位置情報が一致しない問題([a00126283en_us](#))
- SmartpqiドライバーがAHSログに表示されない問題が解決されました

拡張

次の拡張機能が実装されました。

- HPE SN1700Q 64Gb 2ポートファイバーチャネルホストバスアダプターのサポートを追加しました。
- SNMP CPQ-HOSTデータの頻度は、OneViewの情報表示をサポートするために240秒から15秒にアップデートされました。
- Microchipブランドのコントローラーを正しく識別するために、サポートされるパートナーとしてMicrochipを追加しました。

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン:2.7.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.7.0-1724.3.sles12.x86_64.compsig; amsd-2.7.0-1724.3.sles12.x86_64.rpm

前提条件

- **amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = SuSE Linux Enterprise Server 12 SP2

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service – Linuxオペレーティングシステムを実行するGen 10Plusサーバーで、HPE Integrated Lights-Out 5 (iLO 5) に表示されるドライブの位置情報が一致しない問題([a00126283en us](#))
- SmartpqiドライバーがAHSログに表示されない問題が解決されました

拡張

次の拡張機能が実装されました。

- HPE SN1700Q 64Gb 2ポートファイバーチャネルホストバスアダプターのサポートを追加しました。
- SNMP CPQ-HOSTデータの頻度は、OneViewの情報表示をサポートするために240秒から15秒にアップデートされました。
- Microchipブランドのコントローラーを正しく識別するために、サポートされるパートナーとしてMicrochipを追加しました。

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン:2.7.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.7.0-1724.3.sles15.x86_64.compsig; amsd-2.7.0-1724.3.sles15.x86_64.rpm

前提条件

- **amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = SuSE Linux Enterprise Server 15

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service – Linuxオペレーティングシステムを実行するGen 10Plusサーバーで、HPE Integrated Lights-Out 5 (iLO 5) に表示されるドライブの位置情報が一致しない問題([a00126283en us](#))
- SmartpqiドライバーがAHSログに表示されない問題が解決されました
- SLES15SP4上で表示される誤ったディスク使用率が解決されました

拡張

次の拡張機能が実装されました。

- HPE SN1700Q 64Gb 2ポートファイバーチャネルホストバスアダプターのサポートを追加しました。
- SNMP CPQ-HOSTデータの頻度は、OneViewの情報表示をサポートするために240秒から15秒にアップデートされました。
- Microchipブランドのコントローラーを正しく識別するために、サポートされるパートナーとしてMicrochipを追加しました。
- SLES15 SP4のサポート。

Agentless Management Service for Microsoft Windows x64

バージョン:2.51.2.0 (オプション)

ファイル名: cp053649.compsig; cp053649.exe

重要な注意!

SMAサービスのインストールおよびイネーブルメントについて:

- インタラクティブモードでAMSをインストール中に、選択的にSMAをインストールするように求めるポップアップメッセージが表示されます。
 - [Yes]が選択されている場合は、SMAサービスがインストールされ、実行状態に設定されます。
 - [No]が選択されている場合は、SMAサービスがインストールされますが、サービスは有効化されません。
- サイレントモードでのAMSのインストール中に、SMAがインストールされますが、サービスは有効化されません。
- 後でSMAサービスを有効にするには、次のフォルダーに移動します。
%ProgramFiles%\OEM\AMS\Service¥ (通常はc:\Program Files\OEM\AMS\Service)を実行し、「EnableSma.bat /f」を実行します
- 重要:SNMPサービスコミュニティ名および権限も設定する必要があります。これは、EnableSma.batでは実行されません。
- 有効にした後でSMAを無効にするには、次のフォルダーに移動します。SMAが有効になっているときに無効化するには、%ProgramFiles%\OEM\AMS\Service¥(通常は、c:\Program Files\OEM\AMS\Service)フォルダーにアクセスして"DisableSma.bat /f"を実行します
- Windowsオペレーティングシステムをインストールしたあとは、すべてのMicrosoftアップデートがダウンロードおよびインストールされていることを確認してください(wuapp.exeを起動してアップデートプロセスを開始できます)。これを完了していないと、Windowsイベントログに深刻なエラー「The Agentless Management Service terminated unexpectedly.」が報告されることがあります。

AMSコントロールパネルアプレット:

- AMSコントロールパネルのアプレットUIのシステムでの表示が最適となるのは、画面解像度が1280 × 1024ピクセル以上、テキストサイズが100%のときです。
- AMSコントロールパネルアプレットから生成されたテストトラップには、iLO5ファームウェアバージョン2.10以降が必要です。
- iLO5高セキュリティモード(FIPSモードなど)の場合、MD5認証プロトコルは表示されません。

前提条件

このコンポーネントの前に、*Channel Interface Driver for Windows X64*をインストールする必要があります。

SMA(System Management Assistant)を有効化している場合は、Microsoft SNMP Serviceを有効化する必要があります。

修正

- 誤った温度が原因でWindowsがシャットダウンする問題を修正しました。
- OSにインストールされている特定のファームウェアが検出されない問題を修正しました。
- P824i-p MRでドライブの場所のSNMPデータが欠落していたのを修正しました。
- Intel Icelake Xeon(第3世代)ドライバーがiLOソフトウェアインベントリに表示されない問題を修正しました。
- 使用できないサブシステムがMIBヘルスステータスアレイに"Other"と表示される問題を修正しました。
- VROCモードでの異常なSATAドライブの欠落を修正しました。
- システムが内部SDカードスロットを有効にすると、AMSがクラッシュする問題を修正しました。

拡張

- MILLBURYファイバーチャネルホストアダプターカード1Pおよび2Pのサポートが追加されました。
- サポートされているAzure Stack HCI 22h2タイプが識別されます。

HPE Agentless Management Bundle for ESXi for HPE Gen10およびGen10 Plusサーバ

バージョン:701.11.8.5 (推奨)

ファイル名:amsdComponent_701.11.8.5.22-1_20314731.zip

拡張

Agentless Management Service

- SMAモードのカスタムトラップコミュニティ名を許可する機能が追加されました。
- HPE SmartアレイP824i-p MR Gen10コントローラーのcpqSasLogDrv MIB OIDサポートを追加しました。

HPEファイバーチャネルおよびストレージイネーブルメントコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン:3.9.0 (推奨)

ファイル名:fc-enablement-component_700.3.9.0.4-1_20266032.zip

拡張

- VMware ESXi 7.0 U2およびESXi 7.0 U3をサポートします

HPEファイバーチャネルおよびストレージイネーブルメントコンポーネント for ESXi 8.0

バージョン:3.9.0 (推奨)

ファイル名:fc-enablement-component_800.3.9.0.30-1_20300413.zip

拡張

VMware ESXi 8.0 をサポートします

HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA) for Linux 64-bit

バージョン:7.016.16.0 (C) (推奨)

ファイル名: HPE_Linux_64_readme.txt; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64.rpm; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64_part1.compsig; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64_part2.compsig

前提条件

SLES15以降のプラットフォームの場合、インストール/アンインストール中に、依存しているrpmの1つである'insserv-compat'が必要です。これはMRSA起動スクリプトがSysV/initスクリプトに基づいているために必要なものであり、insservをSysV/initスクリプトとsystemctlの間のブリッジとして追加します。

拡張

- SHA384形式を追加

HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA) Windows 64-bit

バージョン:7.16.16.0 (D) (推奨)

ファイル名: cp053565.exe; cp053565_part1.compsig; cp053565_part2.compsig

拡張

- SHA384形式を追加

HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA) StorCLI for Windows 64-bit

バージョン:1.25.12 (オプション)

ファイル名: LINUX_Readme.txt; storcli-1.25.12-1.noarch.compsig; storcli-1.25.12-1.noarch.rpm

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA) StorCLI for Windows 64-bit

バージョン:007.1616.0000.0000 (C) (推奨)

ファイル名: storcli-007.1616.0000.0000-1.x86_64.compsig; storcli-007.1616.0000.0000-1.x86_64.rpm

拡張

- SHA384形式を追加

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware

バージョン: 1.25.12 (**オプション**)

ファイル名: vmware-esx-storcli-1.25.12.vib; VMWARE_MN_NDS_Readme.txt

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware

バージョン: 007.1616.0000.0000 (**推奨**)

ファイル名: BCM-vmware-storcli64_007.1616.0000.0000-01_17650073.zip

拡張

ESXi OS 7.0 64ビットでサポート

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Windows 64-bit

バージョン: 7.16.16.0 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp053567.compsig; cp053567.exe

拡張

- SHA384形式を追加

Integrated Smart Update Tools for VMware ESXi 7.0

バージョン: 701.3.0.0 (**推奨**)

ファイル名: sutComponent_701.3.0.0.13-0-signed_component-20268559.zip

重要な注意!

ESXi 7.0用統合Smart Update Toolsは、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします

修正

今回のリリースで解決した問題については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

拡張

今回のリリースでの機能強化内容については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

VMware ESXi 8.0用統合Smart Update Tools

バージョン: 800.3.0.0 (**推奨**)

ファイル名: sutComponent_800.3.0.0.14-0-signed_component-20341487.zip

重要な注意!

Integrated Smart Update Tools for ESXi 8.0は、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします

修正

今回のリリースで解決した問題については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

拡張

今回のリリースでの機能強化内容については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

Microsoft Windows 64ビット用NVMe Drive Eject NMI Fix forインテルXeonプロセッサ ースケラブルファミリ

バージョン:1.1.0.0 (D) (オプション)

ファイル名: cp053103.compsig; cp053103.exe

拡張

- SHA384署名を追加

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for Linux 64-bit for Gen10/Gen10 Plusコ ントローラー

バージョン:6.10.14.0 (推奨)

ファイル名: ssacli-6.10-14.0.x86_64.compsig; ssacli-6.10-14.0.x86_64.rpm; ssacli-6.10-14.0.x86_64.txt

修正

- ユーザーが1つのSSACLIコマンドを使用して2つの物理ドライブの書き込みキャッシュを無効にできない問題を修正しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for Windows 64-bit for Gen9/Gen10/Gen10 Plusコントローラー

バージョン:6.10.14.0 (推奨)

ファイル名: cp051276.compsig; cp051276.exe

修正

- ユーザーが1つのSSACLIコマンドを使用して2つの物理ドライブの書き込みキャッシュを無効にできない問題を修正しました。

Smart Storage Administrator (SSA) for Linux 64-bit for Gen9/Gen10/Gen10 Plus コントローラー

バージョン:6.10.14.0 (推奨)

ファイル名: ssa-6.10-14.0.x86_64.compsig; ssa-6.10-14.0.x86_64.rpm; ssa-6.10-14.0.x86_64.txt

前提条件

Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにSystem Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。サーバーにSystem Management Homepageソフトウェアがインストールされていない場合、Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: SSA (GUI)for Linuxは、System Management Homepageを必要とせず、実行することができます。SSAはLinux用のローカルアプリケーションモードをサポートします。System Management Homepageは引き続きサポートされていますが、SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでSSAを開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、SSAは自動的に終了します。これは、ループバックインターフェイスだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

拡張

- Controller Based Encryption (CBE) UEFI/KMSのサポートが追加されました。暗号化がUEFI KMSリモートキー管理を使用している場合、再起動確認メッセージが追加されました。
- マネージドSED (自己暗号化ドライブ)のサポートが追加されました。

Smart Storage Administrator (SSA) for Windows 64-bit for Gen9/Gen10/Gen10 Plusコントローラー

バージョン:6.10.14.0 (推奨)

ファイル名: cp051275.compsig; cp051275.exe

拡張

- Controller Based Encryption (CBE) UEFI/KMSのサポートが追加されました。暗号化がUEFI KMSリモートキー管理を使用している場合、再起動確認メッセージが追加されました。
- マネージドSED (自己暗号化ドライブ)のサポートが追加されました。

Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (SSADU) CLI for Linux 64-bit for Gen9/Gen10/Gen10 Plusコントローラー

バージョン:6.10.14.0 (推奨)

ファイル名: ssaduccli-6.10-14.0.x86_64.compsig; ssaduccli-6.10-14.0.x86_64.rpm; ssaduccli-6.10-14.0.x86_64.txt

修正

- ユーザーが1つのSSACLIコマンドを使用して2つの物理ドライブの書き込みキャッシュを無効にできない問題を修正しました。

Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (SSADU) CLI for Windows 64-bit for Gen9/Gen10/Gen10 Plusコントローラー

バージョン:6.10.14.0 (推奨)

ファイル名: cp051277.compsig; cp051277.exe

重要な注意!

Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、Smart Storage Administrator(SSA)を使用してください。

修正

- ユーザーが1つのSSACLIコマンドを使用して2つの物理ドライブの書き込みキャッシュを無効にできない問題を修正しました。
-